令和８年度

教育要覧

高松市教育委員会

目　　次

Ⅰ　高松市の概要

1　高松市の沿革……　1
2　世帯数・人口の推移……　1

Ⅱ　教育行財政

1　教育委員会……　3
2　教育委員会のあゆみ……　3
3　教育振興基本計画（教育に関する「大綱」）
……　7
4　総合教育会議……　8
5　教育財政の主な重点取組事業及び
新規・拡充事業……　9
6　教育費歳入歳出予算概要……　１４
7　教育委員会の機構・事務分掌及び
人員数……　１６
8　各種審議会・協議会一覧……　１８
9　高松市教育文化振興会……　１８

Ⅲ　学校教育

1　市立学校の概要……　２０
2　研究指定校……　２５
3　特別支援教育……　２５
4　生徒指導……　２７
5　教職員の研修……　３０
6　高等学校教育……　３１
7　奨学制度……　３２
8　学校（園）備品等の充実……　３４
9　学校体育の概要……　３４
10　学校保健の概要……　３５
11　学校給食の概要……　３６

Ⅳ　生涯学習

1　生涯学習推進体制の整備……　３９
2　少年教育の推進……　３９
3　青年教育の推進……　３９
4　家庭・地域の教育の推進……　４０
5　社会教育関係団体への支援……　４０
6　学び直しの支援……　４０
7　ふれあい創作館……　４０
8　学校体育施設開放事業……　４１

Ⅴ　人権教育

1　学校人権教育の推進……４３
2　社会人教育の推進……　４４

Ⅵ　図書館

1　施設等の概要……　４６
2　運営機構……　４６
3　事業概要……　４７
4　資料利用状況……　４９
5　広報紙の発行……　５１
6　視聴覚ホール利用状況……　５１
7　その他事業……　５１

Ⅶ　総合教育センター

1　概要……　５３
2　運営機構……　５３
3　事業概要……　５３

Ⅷ　少年育成センター

1　概要……５７
2　運営機構……５７
3　令和７年度の重点施策……５７
4　令和６年度活動状況……５８
5　関係団体……６０

Ⅸ　生涯学習センター

1　施設等の概要……６１
2　運営機構……６１
3　事業概要……６１

Ⅹ　文化財

1　文化財の保護……６４
2　歴史資料館……６８
3　菊池寛記念館……７３

Ⅺ　美術館

1　施設等の概要……７５
2　運営機構……７５
3　高松市美術館事業概要……７５
4　高松市塩江美術館事業概要……８９

Ⅰ　高松市の概要

1　高松市の沿革

本市のまちづくりは、天正 16 年（1588 年)、豊臣秀吉の臣、生駒親正が玉藻の浦に築城を開始して「高松城」と名づけたことに始まる。以後、城下町として栄え、寛永 19 年（1642 年)、松平頼重が入府し、以後、松平家は幕府の親藩として 11 代 228 年続き、明治維新を迎える。

明治維新の廃藩置県後、数回にわたる所属県の変遷を経て香川県庁の所在地となり、明治 23 年（1890 年）２月 15 日に市制を施行、全国で 40 番目の市として誕生した。その後、順調な発展を続けてきたが、昭和 20 年（1945 年）７月４日の空襲により市街地の約 80%が消失し、これまで集積したすべての機能が一夜にして壊滅の状態となった。

しかし、戦後、市民と関係者の努力により戦災復興事業も積極的に進められ、経済の復興とともに、25 年（1950 年）には戦前を上回る市勢に回復した。

大正、昭和を通じ、６回にわたる合併で都市規模は拡大を続け、平成 11 年４月には、中核市へ移行するなど、四国の中枢管理都市として発展を遂げ、17 年９月に塩江町と、また 18 年１月には牟礼町・庵治町・香川町・香南町・国分寺町の近隣５町と合併し、人口約 42 万人を擁する新しい高松市が誕生した。

現在、「人がつどい　未来に躍動する　世界都市・高松」を目指して、暮らす人、訪れる人がウエルビーイングな心地よさを感じ国内だけでなく、国外からも認知され、注目されるまちづくりを進めている。

2　世帯数・人口の推移

年　次	世帯数(世帯)	人　口			摘　要
		総　数(人)	男(人)	女(人)	
昭和 35 年	57,897	243,538	117,075	126,463	第 9 回国勢調査
45 年	78,565	274,367	131,304	143,063	第 11 回　〃
55 年	101,378	316,661	153,397	163,264	第 13 回　〃
平成 2 年	114,809	329,684	159,311	170,373	第 15 回　〃
12 年	131,370	332,865	161,378	171,487	第 17 回　〃
17 年	137,944	337,902	163,509	174,393	第 18 回　〃
22 年	174,278	419,429	203,312	216,117	第 19 回　〃
24 年	176,199	418,528	202,624	215,904	4 月 1 日推計
25 年	177,880	418,523	202,624	215,899	〃
26 年	179,881	419,011	202,875	216,136	〃
27 年	181,727	419,381	203,181	216,200	〃
28 年	182,137	419,252	204,063	215,189	〃
29 年	183,690	418,756	203,992	214,764	〃
30 年	185,169	418,122	203,812	214,310	〃
31 年	186,977	417,606	203,638	213,968	〃

年　次	世帯数(世帯)	人　口			摘　要
		総　数(人)	男(人)	女(人)	
令和　2 年	188,859	416,650	203,288	213,362	〃
3 年	187,524	415,943	201,058	214,885	〃
4 年	188,397	413,337	199,830	213,507	〃
5 年	189,653	411,006	198,686	212,320	〃
6 年	191,209	409,341	198,009	211,242	〃
7 年	192,790	407,498	197,159	210,339	〃
8 年	193,844	405,566	196,210	209,356	〃

Ⅱ　教　育　行　財　政

1　教育委員会

高松市教育委員会は教育長と５人の委員で組織している合議制の執行機関である。

教育長は市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するもののうちから市長が議会の同意を得て任命する。教育委員は市長の被選挙権を持ち、人格高潔で教育、学術及び文化に関して高い見識を持つ者の中から市長が議会の同意を得て任命する。教育長の任期は３年、委員の任期は４年である。

教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。

（１）教育長及び教育委員一覧

（８．４．１現在）

役職名	氏　名	就任年月日
教育長	小柳　和代	令和７年４月１日（２期）
教育委員 （教育長職務代理者）	塩見　勝彦	令和６年10月１日（１期）
教育委員	富家　佐也加	令和４年７月１日（２期）
教育委員	和泉　憲	令和５年10月１日（１期）
教育委員	谷　正子	令和７年10月１日（１期）
教育委員	西本　佳代	令和８年４月１日（１期）

（２）委員会の活動状況

（７年）

区　分	開催回数	案　件	議決件数
定例会	12	19	19
臨時会	0	0	0

2　教育委員会のあゆみ

昭和24年	４月	・高松第一高等学校（前身、高松市立第一中学校、香川県高松第一中学校）と高松第二高等学校（前身、高松市立実科高等女学校、高松市立高等女学校）を統合して、高松第一高等学校と改称
		・太田中学校を桜町中学校に統合
		・高松市文化会館を設立
		・二番丁中学校を紫雲中学校に統合
	６月	・高松市文化会館を市公民館と改称
	12月	・観光高松博覧会の科学館を市立美術館に、国産館を市立体育館に改装
25年	２月	・木太中学校と花園中学校を統合し玉藻中学校と改称
	10月	・市立図書館落成
27年	６月	・松島中学校を光洋中学校と改称
	11月	・高松市教育委員会発足 教育委員会事務局は委員会室、総務課、学校教育課、社会教育課の１室３課で発足

29 年	4 月	・ 市立美術館に美術研究所開設
	9 月	・ 古高松中学校を屋島中学校に統合
30 年	7 月	・ 市立図書館に新修高松市史編さん室設置
31 年	4 月	・ 城内中学校新設開校
	9 月	・ 周辺 15 町村合併 （これに伴い小学校 16 校、中学校 15 校、幼稚園 13 園、公民館 8 館が市に編入され、小学校 30 校、中学校 22 校となり、市公民館は中央公民館となった。）
	10 月	・ 市立図書館に菊池寛文庫再設 ・ 菊池寛立像、中央公園内に完成
33 年	3 月	・ 女木中学校を城内中学校に統合
34 年	12 月	・ 市立庭球場を亀岡町に設置
36 年	3 月	・ 市民会館完成、同会館内に中央公民館の事務所を移設 ・ 下笠居小学校亀水分校廃校
	4 月	・ 前田中学校を協和中学校に統合 ・ 多肥中学校、三渓中学校、仏生山中学校を統合して、龍雲中学校と改称
	5 月	・ 市立図書館が自動車文庫による巡回貸出開始
37 年	3 月	・ 屋島小学校浦生分校、下笠居小学校青峰分校廃校
	4 月	・ 弦打中学校、鬼無中学校、香西中学校を統合して、勝賀中学校と改称
38 年	4 月	・ 小学校第一学年に全教科書無償配布
	12 月	・ 高松市学校給食会設立
40 年	4 月	・ 円座中学校、川岡中学校、檀紙中学校を統合して、香東中学校と改称
41 年	4 月	・ 小学校全学年に教科書無償配布
	5 月	・ 日新小に留守家庭児童会を設置
	6 月	・ 花園小に留守家庭児童会を設置
	7 月	・ 木田郡山田町を合併（小学校 34 校、中学校 15 校、幼稚園 13 園となる。）
47 年	7 月	・ 市民文化センター完成（管理課、事業課の 2 課で発足） ・ 市立図書館を市民文化センター内へ移転
49 年	4 月	・ 中央小学校新設開校
50 年	3 月	・ 財団法人高松学校建設公社設立
51 年	4 月	・ 太田南小学校新設開校 ・ 木太地区の自治会立幼稚園を公立化し、木太幼稚園として新設開園
	5 月	・ 事務局に市民スポーツ課新設
	9 月	・ 市庁舎建設のため、事務局 5 課（総務課、学校教育課、保健体育課、社会教育課、市民スポーツ課）、中央公民館及び少年育成センターを市民文化センターの仮庁舎へ移転
52 年	4 月	・ 木太南小学校新設開校 ・ 山田幼稚園新設開園
	6 月	・ 高松勤労者体育センター（50mプール）完成
53 年	3 月	・ 市民プール（レジャープール）完成
	4 月	・ 屋島地区の自治会共立檀之浦幼稚園を公立化し、檀浦幼稚園として新設開園
	7 月	・ 事務局に文化振興課を新設
54 年	1 月	・ 事務局 6 課（総務課、学校教育課、保健体育課、社会教育課、市民スポーツ課、文化振興課）及び少年育成センターを新庁舎に移転
	4 月	・ 高松第一高等学校に音楽科を設置
	6 月	・ 事務局に同和教育課を新設
55 年	4 月	・ 古高松南小学校新設開校 ・ 古高松地区の自治会共立春日幼稚園を公立化し、春日幼稚園として新設開園
	9 月	・ 国民健康・体力つくり運動協会主催の昭和 55 年度体力つくり優秀組織表彰で、本市が内閣総理大臣賞を受賞
	10 月	・ 教育次長 2 人制を教育部長、教育部次長制とした。
56 年	4 月	・ 木太北部幼稚園新設開園
57 年	4 月	・ 高松市教育研究所を廃止し、高松市教育文化研究所として発足 ・ 太田中学校新設開校 ・ 屋島小学校分校を独立させ、屋島東小学校として開校
58 年	4 月	・ 屋島西小学校新設開校
59 年	4 月	・ 古高松中学校新設開校
60 年	3 月	・ 高松第一高等学校定時制課程を廃止
	5 月	・ 事務局保健体育課を学校教育課に統合

61 年	4 月	・ 木太中学校新設開校
	11 月	・ 高松市総合体育館開館
63 年	5 月	・ 美術館を 2 課制（管理課、学芸課）とした。
	8 月	・ 高松市美術館開館
平成元年	4 月	・ 国体準備室を新設
	8 月	・ 平成元年度全国高等学校総合体育大会を開催（高松市で 5 種目）
2 年	4 月	・ 国体準備室を市長部門へ組織替え
		・ 木太北部小学校新設開校
3 年	4 月	・ 適応指導教室「虹の部屋」を花園小学校内に開設
4 年	4 月	・ 文化部を設け、2 部制とした。
		・ 歴史資料館及び菊池寛記念館の組織を設け、開館に備えた。
		・ 幼稚園 3 年保育を開始（2 園）
		・ 適応指導教室「虹の部屋」を校外の民間ビル内に開設
	9 月	・ 学校週 5 日制実施（第 2 土曜日）
	11 月	・ 高松市図書館、高松市歴史資料館及び菊池寛記念館開館
5 年	11 月	・ 菊池寛全集発刊、配本開始
7 年	4 月	・ 学校週 5 日制拡大（第 2・4 土曜日）
	7 月	・ 平和記念室開館
	10 月	・ 第 1 回スポーツフェスティバルを開催
	11 月	・ 第 3 子以降の幼稚園園児の授業料減免を開始
8 年	4 月	・ 幼稚園 3 年保育を全 18 園で実施
		・ 院内学級を中央病院、高松赤十字病院の 2 院で開始
	9 月	・ 高松第一高等学校音楽科棟完成
9 年	4 月	・ 県教委高松出張所の県教委高松讃岐教育事務所への組織変更に伴い、学校教育課教職員係を廃止
	8 月	・ 平成 9 年度全国中学校体育大会を開催（高松市で 3 競技）
	10 月	・ 第 12 回国民文化祭・かがわ’97 を開催
10 年	4 月	・ 施設内学級を若竹学園に開設
		・ 新市民会館整備室を名称変更し、市長部門から文化部へ組織替え
	8 月	・ 平成 10 年度全国高等学校総合体育大会を開催（高松市で 5 競技）
11 年	4 月	・ 高松市が中核市へ移行
		・ 組織機構の再編成、統廃合の実施に伴い新市民会館整備室を新市民会館整備課に、美術館管理課、学芸課を美術課にそれぞれ改正
12 年	4 月	・ 地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律により、中核市に県費負担教職員の研修の権限が委譲されるなどした。
13 年	4 月	・ 高松市立中央公民館を廃止するとともに、社会教育課内に新たに生涯学習センター開設準備室を設置
14 年	4 月	・ 市民スポーツ課内に全国スポレク祭推進室を設置
		・ 完全学校週 5 日制の実施
		・ 同和教育課を人権教育課に名称変更
	5 月	・ 高松市生涯学習センター開館
15 年	4 月	・ 新市民会館整備課を文化芸術ホール整備課に名称変更
	11 月	・ 第 16 回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催（高松市で 4 競技）
16 年	4 月	・ 文化芸術ホール整備課を廃止し、文化振興課内に文化施設管理係を設置
	5 月	・ 文化芸術ホール（サンポートホール高松）開館
17 年	4 月	・ 総務課内に新設統合校整備室を設置
		・ 女木小学校休校
	9 月	・ 塩江町合併 （これに伴い小学校 3 校、中学校 1 校、公民館 1 館、美術館 1 館が市に編入され、小学校 44 校、中学校 19 校、公民館 43 館、美術館 2 館となった。編入された小学校 1 校に 1 分校があるが、休校中。）
18 年	1 月	・ 牟礼町・庵治町・香川町・香南町・国分寺町合併 （これに伴い小学校 11 校、中学校 5 校、幼稚園 11 園、公民館 14 館が市に編入され、小学校 55 校、中学校 24 校、幼稚園 29 園、公民館 57 館となり、その他教育文化等施設 29 施設が市に編入された。）
	4 月	・ 公民館 41 館が、コミュニティセンターへ移行
		・ 男木中学校休校
	8 月	・ 平成 18 年度全国中学校体育大会を開催（高松市で 2 競技）

19 年	4 月	・ 歴史資料館及び菊池寛記念館を事務局文化振興課に統合 ・ 高松市香川図書館開館 ・ 庵治第二小学校休校 ・ 鶴尾中部管理公民館を廃止
20 年	4 月	・ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、スポーツに関すること（学校における体育に関することを除く）、文化に関すること（文化財の保護に関することを除く）を市長部門に移管 ・ 組織機構の見直しに伴い、1 部 4 課（文化部、文化振興課・美術館美術課・市民文化センター・市民スポーツ課）を廃止、2 課（保健体育課・文化財課）を新設、中央図書館を教育部に移管 ・ 社会教育課を生涯学習課へ、教育文化研究所を教育研究所に名称変更 ・ 男木中学校再開 ・ 男木小学校休校 ・ 東植田小学校菅沢分校休校 ・ 公民館 2 館が、コミュニティセンターへ移行
	9 月	・ 朝日新町学校給食センター稼動
21 年	4 月	・ 光洋・城内中学校を統合し、高松第一中学校を開校 ・ 公民館 3 館が、コミュニティセンターへ移行
22 年	4 月	・ 日新・二番丁・四番丁小学校を統合し、新番丁小学校を開校 ・ 松島・築地・新塩屋町小学校を統合し、高松第一小学校を開校 ・ 庵治第二小学校再開 ・ 公民館 5 館が、コミュニティセンターへ移行
	5 月	・ 適応指導教室「虹の部屋」を新塩屋町小学校跡地に移転し「新塩屋町　虹の部屋」と改称する。合わせて、適応指導教室「みなみ」を「香川町　みなみ」と改称する。
23 年	4 月	・ 男木中学校休校 ・ 塩江幼稚園開園し、高松市塩江こども園として幼保混合保育を開始する。 ・ 子ども・子育てに関する施策を一元的に提供するため、幼稚園に関すること・留守家庭児童会・放課後こども教室に関することなどを市長部局所管とする。 ・ 高松市機構改革により、高松市教育研究所を高松市総合教育センターと改称し、総務係、研修係の 2 係を設置
	7 月	・ 高松市総合教育センター規則施行に伴い、高松市末広町 5 番地に移転
24 年	3 月	・ 高松市市民文化センターの廃館に伴い、松島図書館を休館
	4 月	・ 高松市機構改革により、教育部を教育局に名称変更 ・下笠居・原・庵治・香南幼稚園にて、高松市こども園として幼保混合保育を開始する。
	8 月	・ 旧四番丁小学校跡地に四番丁スクエアを開館し、同施設内に埋蔵文化財センターを開所
25 年	4 月	・ 組織機構の見直しにより、文化財課を市長部門に移管 ・ 牟礼公民館がコミュニティセンターへ移行し、公民館が全廃
	10 月	・ 第 4 回古代山城サミット高松大会開催
26 年	4 月	・ 男木小学校・男木中学校再開
27 年	3 月	・ 総務課新設統合校整備室を廃止
	4 月	・ 安原・上西・塩江小学校を統合し、新塩江小学校を開校 ・ 下笠居・原・庵治・香南・塩江幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として下笠居・はら・庵治・香南・塩江こども園を開園する。
	10 月	・ 瓦町ＦＬＡＧ8 階（市民交流センターＩＫＯＤＥ瓦町）内に、中央図書館瓦町サテライトを開設
28 年	4 月	・ 亀阜小学校みねやま分校、紫雲中学校みねやま分校を開校
	11 月	・ たかまつミライエ(松島図書館跡地)2 階に、夢みらい図書館を開館
29 年	4 月	・ 檀浦幼稚園を休園 ・ 川東幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として川東こども園を開園する。 ・ 組織機構見直しにより、高松市総合教育センター内に新たに支援係を設置
30 年	4 月	・ 庵治第二小学校休校 ・ 幼稚園一時預かり事業 試行実施（2 園）
31 年	4 月	・ 総務課内に学校施設整備室を設置
令和 2 年	4 月	・ 檀浦幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として屋島こども園を開園する。 ・ 林幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として林こども園を開園する。 ・ 田井幼稚園を休園 ・ 幼稚園一時預かり事業 試行実施（5 園）

		・ 組織機構の見直しにより、高松市総合教育センター内に新たに幼児教育係を設置 ・ 六条町学校給食センター稼動
令和３年	３月 ４月 ９月	・ 鶴尾中学校を廃校 ・ 山田幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として川島こども園を開園する。 ・ 浅野幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として浅野こども園を開園する。 ・ 高松市総合教育センター内にＩＣＴ教育推進室を設置 ・ こども園総務課及びこども園運営課を統合し、こども保育教育課を設置。同課内に施設対策室及び運営支援室を設置 ・ 高松第一高等学校新校舎棟の供用開始
令和４年	４月	・ 組織機構の見直しにより、保健体育課学校給食係を学校給食運営係に改称し、また、新たに学校給食総務係を設置 ・ 幼稚園一時預かり事業　本格実施(8 園)
令和５年	４月	・ 下笠居小学校五色台分校、下笠居中学校五色台分校を開校
令和６年	３月 ４月 ９月	・ 春日幼稚園を廃園 ・ 幼稚園一時預かり事業　(10 園) ・ 大町幼稚園を田井保育所の施設へ移転 ・ 香南小学校校舎等を香南中学校敷地内に改築し、供用開始
令和７年	４月	・ 田井・大町幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として田井こども園を開園する。
令和９年	３月 ４月	・ 川岡幼稚園を廃園 ・ 弦打幼稚園を廃園し、幼保連携型認定こども園として弦打こども園を開園する。

３　教育振興基本計画（教育に関する「大綱」）

平成22年３月に「高松市教育振興基本計画」、28年３月に「第２期高松市教育振興基本計画」を策定し、令和２年２月に見直しを行い、学校・家庭・地域及び関係団体と一体となって教育施策に取り組んできた。さらには、社会情勢の変化や国の動向等を踏まえ、第２期計画までの教育の成果と課題を整理し、多様な教育ニーズへの対応等、これからの教育の施策の方向性を示すため、６年２月に「第３期高松市教育振興基本計画」を策定した。

なお、同計画は、平成27年４月から施行された新教育委員会制度において、地方公共団体の長に策定が義務付けられた、教育の振興に関する施策の大綱として位置付けている。

（１）計画期間（第３期計画）

令和６年度から令和13年度までの８年間

（２）基本理念

◎「高松を愛し　夢と志を持って　一人ひとりが輝く教育」

子どもたちがふるさとへの愛着や誇りを人生の揺るぎない礎とし、自らの良さや可能性に気づき、夢と志を持って未来を見つめ、また、多様な人々との関わりの中で、未来を切り拓く力を育めるよう教育の推進・充実に取り組む。

（３）施策体系

ア　生きる力を育む学校教育の充実

□　確かな学力と個性を伸ばす教育の推進　□　豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

□　ふるさとの未来を支える教育の推進

イ　安全・安心で魅力ある教育環境の充実

□　学校教育環境の整備・充実　□　多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実

□　教員の資質向上と教育指導体制の充実　□　安全で安心な教育環境の充実

ウ　家庭・地域とともに育む教育力の向上

□　家庭・地域の教育力の向上　　□　学校・家庭・地域の連携・協働の推進

□　青少年の健全育成の推進

エ　生涯にわたり心豊かに学べる環境づくり

□　多様な学習機会の充実　　□　生涯学習施設・機能の充実

４　総合教育会議

平成27年度からの新しい教育委員会制度では、合議体として存続する教育委員会に、引き続き、執行権限を残しつつ、地方公共団体の長と教育委員会で構成する「総合教育会議」を新設し、教育の振興に関する施策の大綱の策定を初め、教育の条件整備など地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策や、児童生徒の生命又は身体の保護等、緊急事態への対処などについて、協議を行うこととなった。

（１）　令和７年度開催状況

ア　第１回　令和７年７月23日（水）

協議事項

・二十歳のつどいの機会を活用した更なるシビック・プライドの醸成について

・文化・スポーツ施策の推進状況について

イ　第２回　令和７年11月19日（水）

協議事項

・部活動の地域展開に向けた体制づくり～子どもたちの成長を地域全体で支えるために～

５　教育財政の主な重点取組事業及び新規・拡充事業

（単位：千円）

科　　目	令和7年度		令和8年度		比 較 増 減	
	当初予算額 A	構成比 %	当初予算額 B	構成比 %	金 額 B−A	前年度比 B/A %
1　議 会 費	728,473	0.4	720,282	0.4	△ 8,191	98.9
2　総 務 費	15,559,164	8.4	20,099,647	10.4	4,540,483	129.2
3　民 生 費	83,603,556	45.3	88,244,496	45.8	4,640,940	105.6
4　衛 生 費	19,017,996	10.3	16,781,750	8.7	△ 2,236,246	88.2
5　労 働 費	338,331	0.2	182,388	0.1	△ 155,943	53.9
6　農林水産業費	2,926,777	1.6	2,596,302	1.3	△ 330,475	88.7
7　商 工 費	4,009,744	2.2	3,476,697	1.8	△ 533,047	86.7
8　土 木 費	15,714,168	8.5	15,552,118	8.1	△ 162,050	99.0
9　消 防 費	5,515,599	3.0	5,885,862	3.0	370,263	106.7
10　教 育 費	19,492,216	10.6	21,945,188	11.4	2,452,972	112.6
11　災害復旧費	10,353	0.0	10,000	0.0	△ 353	96.6
12　公 債 費	17,167,723	9.3	17,050,270	8.8	△ 117,453	99.3
13　諸支出金	215,900	0.1	155,000	0.1	△ 60,900	71.8
14　予備費	100,000	0.1	100,000	0.1	0	100.0
合　　計	184,400,000	100.0	192,800,000	100.0	8,400,000	104.6

（★：重点取組事業、新：新規事業、拡：拡充事業）

★ ・ **外国人児童生徒等支援事業【学校教育課】**　［11,172 千円］

- 日本語初期指導教室「ひまわり」
  - 編入後間もない、日本語指導が必要な児童生徒に対し、
    初歩的な日本語指導を集中的に実施
    場　所：高松第一小・中学校内　日本語初期指導教室「ひまわり」
    対象者：高松第一小・中学校に在籍する初歩的な日本語指導が必要な児童生徒
    定員５名
- 日本語教育指導者派遣事業
  - 日本語指導を必要としている外国人児童生徒等に対し、
    学習や生活についての指導援助を行う指導者を派遣
    対象者：日本語指導が必要な児童生徒
    原則、１回２時間　隔週で１回程度（年間 20 回）

★ 拡 **子どものシビックプライド醸成事業 【学校教育課】** [2,684 千円]

拡 高松プライドプロジェクト

新 市内事業者から講師を募り、各自が企画・運営するブースにおいて、参加者が自ら興味のあるものを選択し、職業体験を行う「ゆめマルシェ」を実施

- 高松の魅力・良さを伝えるＰＲ動画（ショートムービー）の放映

- 高松魅力発見プロジェクト
  - 高松まるっとマップウェブサイトの運用

拡 学校給食費管理事業 【保健体育課】 [1,746,970 千円]

拡 小学校給食費の公費負担

新 国・県による市立小学校給食費の抜本的負担軽減　一人当たり月額 5,200 円

新 学校給食食材費の上記負担軽減額超過分を公費負担

新 附属高松小学校の給食食材費無償化の実施

新 学校給食非喫食者支援

拡 中学校給食費の公費負担

拡 第１学期分の給食費の無償化

拡 第１学期分のアレルギー対応等のため弁当を持参する生徒に対する補助

拡 第２学期以降、学校給食食材費の物価高騰分を公費負担

- 第３子以降の給食費無償化

拡 生徒等健康診断事業 【保健体育課】 [10,416 千円]

拡 脊柱側弯症検診を新たに実施

- 対象：市立中学校１年生

★ 新 **つながる心と学びサポート事業 【総合教育センター】** [58,802 千円]

- 教育支援センターの運営（新塩屋町虹の部屋）
  - 低・中学年（小学校１～４年）支援教室（なないろ）
  - 高学年（小学校５・６年）、中学生個別支援教室（しずく）
- 校内サポートルームへの支援員の配置
  - 不登校児童生徒のための、校内サポートルームに１校当たり１名を配置（小・中学校：11 校）
- 民間フリースクール等への助成
  - 一団体当たり最大 15 万円
    - 教育相談事業、学習及び体験活動等の実施に係る費用　上限５万円
    - 児童生徒受入実績に応じた加算　上限 10 万円（出席１回につき 500 円）
- 幼保小の架け橋プログラム推進事業

・　推進会議、保こ幼・小合同研修会の開催など

拡　小・中学校施設老朽化対策事業　［614,318 千円］

【教育局総務課　学校施設整備室】

拡　植田小学校：北棟校舎長寿命化改修工事等

拡　太田小学校：代替運動場造成設計等

拡　花園小学校：南棟校舎長寿命化改修工事等

拡　協和中学校：東棟校舎改築に伴う仮設校舎賃貸借

拡　香川第一中学校：北・中棟長寿命化改修実施設計

拡　玉藻中学校：校舎等改築基本設計

・　環境測定（アスベスト調査）等

・　境界確定業務

新　学校施設長寿命化計画の作成支援業務

★　・　小・中学校バリアフリー整備事業　［7,082 千円］

【教育局総務課　学校施設整備室】

・　児童生徒が、学校施設を安全かつ円滑に利用できるよう、小学校に
　エレベーターを設置（小学校２校）

★　拡　小・中学校体育館空調設備設置事業　［182,652 千円］

【教育局総務課　学校施設整備室】

拡　熱中症対策や避難所機能の向上等を図るため、小・中学校の体育館に空調設備を設置

・　ＰＦＩ方式の発注に向けたアドバイザリー業務委託

・　古高松・古高松南小学校を洪水災害時に最初の避難所として開設するため
　先行整備の実施

拡　空調設備整備工事

拡　学校給食調理場整備事業【保健体育課】　［274,288 千円］

・　高松市学校給食共同調理場整備検討委員会の開催

拡　朝日新町学校給食センター炊飯ラインオーバーホール等

拡　朝日新町学校給食センター空調設備更新工事等

・　朝日新町学校給食センター外壁改修工事

新　香川学校給食共同調理場受水槽更新工事

新　調理場空調設備設置事業

・ 在来工事の設計業務及びリース契約

新 香西学校給食共同調理場・香川学校給食共同調理場真空冷却器更新等

拡 <u>高等学校管理運営事業【高松第一高等学校事務局】</u> [142,736 千円]

・ 高松第一高等学校音楽科棟等保全計画に基づく、改修・更新等

・ 昇降機改修工事等

・ 屋上防水等改修工事

新 体育館空調設備設置に向けた実施設計業務

★ 拡 <u>教育ICT整備・活用推進事業</u> [178,745 千円]

<u>【総合教育センター ICT教育推進室】</u>

拡 １人１台端末や電子黒板などのＩＣＴ機器を活用し、授業改善を推進

拡 電子黒板の整備

新 小・中学校の特別支援学級へ電子黒板を設置

・ ＩＣＴ支援員の配置

★ 拡 <u>部活動の地域展開推進事業【学校教育課、保健体育課】</u> [61,249 千円]

拡 中学校部活動の地域展開に向けた実証事業の実施

・ 地域部活動展開のための検討委員会の開催

拡 モデル校活動支援（運動部）

新 市内をブロックに分け、ブロック毎に地域クラブ活動を実施

・ 部活動地域展開支援コーディネーターの配置

・ 部活動指導員の配置支援（運動部） 30 人

新 部活動指導員の配置支援（文化部） ５人

新 専用ホームページを構築し、地域展開に関する情報発信の実施

新 地域クラブ募集に係る事務を業務委託

★ ・ <u>地域学校協働活動推進事業【生涯学習課】</u> [834 千円]

・ 「学校を核とした地域づくり」を推進

・ モデル校の実践支援

・ 地域等への周知啓発及び研修会の開催

・ 小・中学校への個別訪問

拡 <u>二十歳のつどい開催事業【生涯学習課】</u> [6,447 千円]

拡 二十歳のつどい式典開催経費

新 あなぶきアリーナ香川での式典開催

★ ・ **サンクリスタル高松リニューアル事業【中央図書館】** ［1,831,758 千円］

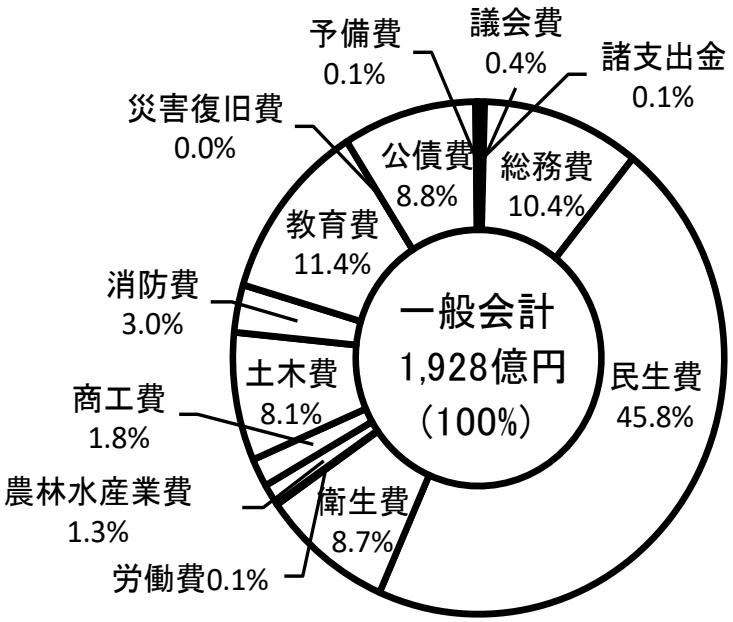
- サンクリスタル高松リニューアル事業
  - 大規模改修工事
  - 新図書館システム運用経費・ＩＣタグ購入等

6　教育費歳入歳出予算概要

令和８年度高松一般会計予算額は、1,928 億円で、前年度当初予算額対比 104.6%、金額にして 84 億円の増加となっている。このうち、教育費予算は、219 億 4,518 万 8 千円で、本市一般会計予算に占める割合は 11.4%となっている。

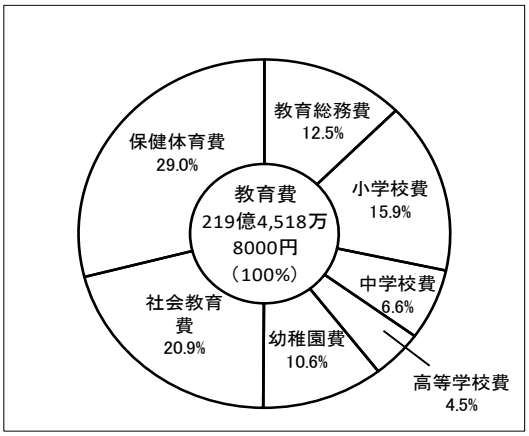
（１）一般会計予算

科　目	予算額(千円)	構成比(%)
	千円	%
議会費	720,282	0.4
総務費	20,099,647	10.4
民生費	88,244,496	45.8
衛生費	16,781,750	8.7
労働費	182,388	0.1
農林水産業費	2,596,302	1.3
商工費	3,476,697	1.8
土木費	15,552,118	8.1
消防費	5,885,862	3.0
教育費	21,945,188	11.4
災害復旧費	10,000	0.0
公債費	17,050,270	8.8
諸支出金	155,000	0.1
予備費	100,000	0.1
計	192,800,000	100.0

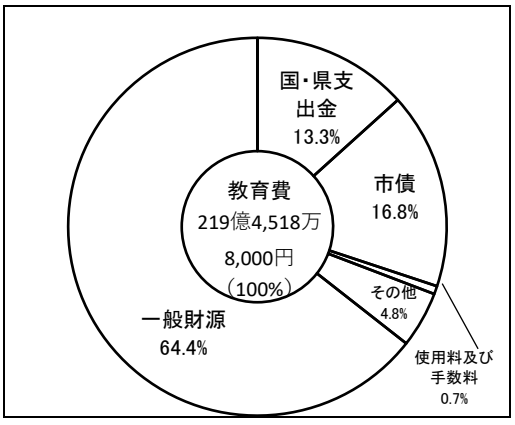


（２）教育費予算

（目的別内訳）



（財源内訳）



区　分	予算額(千円)	構成比(%)
教育総務費	2,733,281	12.5
小学校費	3,488,777	15.9
中学校費	1,457,157	6.6
高等学校費	980,846	4.5
幼稚園費	2,324,369	10.6
社会教育費	4,586,216	20.9
保健体育費	6,374,542	29.0
計	21,945,188	100.0

区　分	予算額(千円)	構成比(%)
国・県支出金	2,927,937	13.3
市債	3,680,900	16.8
使用料及び手数料	160,236	0.7
その他	1,051,875	4.8
一般財源	14,124,240	64.4
計	21,945,188	100.0

（３）教育費の推移（当初予算）

（単位　千円）

		４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
教育費	（教育総務費）	2,139,618	2,211,958	2,378,284	2,473,277	2,733,281
	（小学校費）	2,711,442	4,289,048	4,138,231	3,461,579	3,488,777
	（中学校費）	2,624,419	2,083,292	1,307,493	1,585,103	1,457,157
	（高等学校費）	2,666,283	3,201,059	812,621	835,620	980,846
	（幼稚園費）	2,358,425	2,491,401	2,851,165	3,153,405	2,324,369
	（社会教育費）	3,061,834	6,337,451	3,082,572	2,932,278	4,586,216
	（保健体育費）	2,304,410	4,325,759	4,801,552	5,050,954	6,374,542
	総　額	17,866,431	24,939,968	19,371,918	19,492,216	21,945,188
人　口		424,258	424,258	420,545	418,381	414,534
人口一人当たり教育費		42	42	59	46	53

（４）小・中学校建設費の年度別推移（決算）

（単位　千円）

	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
小学校	2,925	49,806	1,086,780	722,165	7,539
中学校	688,130	1,174,484	357,912	0	0
合　計	691,055	1,224,290	1,444,692	722,165	7,539
教育費に占める割合（%）	3.87	6.85	5.79	3.73	0.01

（５）学校管理費の年度別推移（当初予算）

（その１）　（単位　千円）

	４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
小学校費	2,363,751	3,931,170	3,603,035	3,098,533	3,280,823
中学校費	2,327,650	1,772,940	1,016,952	1,206,238	1,189,332
高等学校費	2,619,123	3,145,060	750,257	772,394	911,559
幼稚園費	990,515	1,097,649	1,249,580	1,237,715	861,950

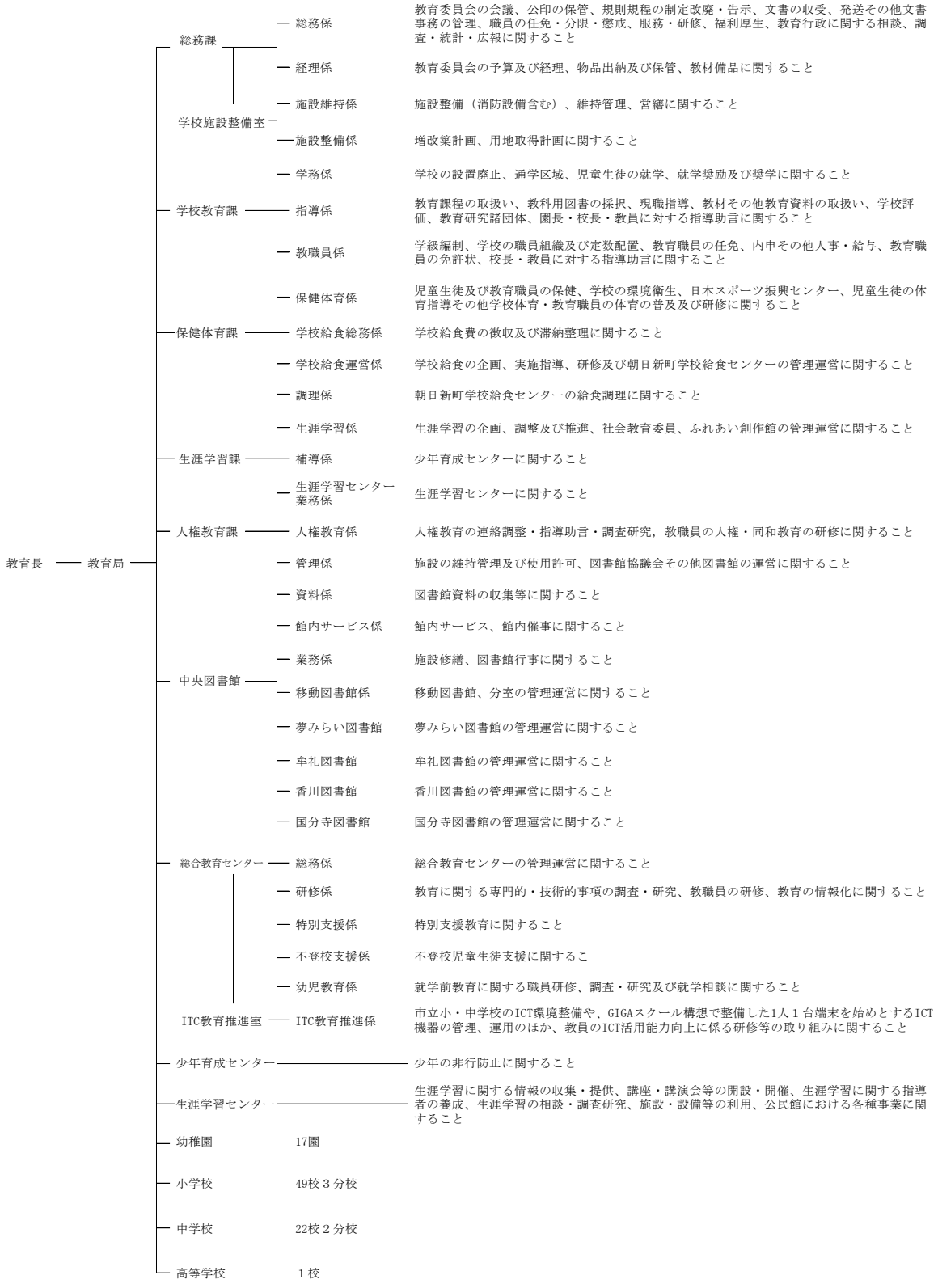
（その２）　（単位　千円）

		４年度	５年度	６年度	７年度	８年度
小学校	学校当たり	50,293	83,642	76,660	65,926	69,805
	学級当たり	2,496	4,049	3,761	3,251	3,464
	児童１人当たり	108	181	170	150	165
中学校	学校当たり	105,802	80,588	46,225	54,829	54,061
	学級当たり	5,582	4,367	2,511	2,928	2,805
	生徒１人当たり	213	166	96	115	114
高等学校	学校当たり	2,619,123	3,145,060	750,257	772,394	911,559
	学級当たり	119,051	149,765	34,103	35,109	43,408
	生徒１人当たり	3,144	4,001	956	984	1,173
幼稚園	園当たり	52,132	57,771	69,421	72,807	50,703
	学級当たり	17,377	19,957	24,502	24,269	16,901
	園児１人当たり	1,711	2,296	2,947	3,133	2,513

7　教育委員会の機構・事務分掌及び人員数

高松市教育委員会の機構・事務分掌

（８．４．１現在）



教育委員会現員表

（８．４．１現在）

課名＼職名		事務職・技術職等											技能職					社会教育主事	合計			教員等（指導主事は除く）					兼務等（のべ人数）	県費教員（補導主事等）	再任用（短時間）	派遣
		局長級	局次長級	課長級	補佐級	係長級	指導主事	主任主事（主事）	主任技師（技師）	主任栄養士（栄養士）	再任用（フルタイム）	計	運転手	気かん手	用務員	調理員	計		男	女	計	男	女	男（併任）	女（併任）	計				
事務局	総務課	1	1	1	3	12		7	9			34						(1)	22	12	34								1	
	学校教育課			1	2	4	13	5				25							13	12	25						2			
	保健体育課			2	3	9	2	5		2		23				17	17		20	20	40									
	生涯学習課		1	2	3	4		5			2	17						(1)	9	8	17									
	人権教育課			1	1	1	2	1				6							4	2	6									
	計	1	2	7	12	30	17	23	9	2	2	105				17	17		68	54	122						2		1	
その他の教育機関	中央図書館	1		1	1	14		10	1			28							17	11	28								4	
	総合教育センター			2	3	8	5				1	19							7	12	19						2			
	少年育成センター																										4			
	生涯学習センター																										7			
	小学校														5	87	92		29	63	92								3	
	中学校														3	17	20		9	11	20									
	高松一高			1	1	2		1				5			1		1		4	2	6	33	27			60				
	幼稚園																							1	77	78				
	計	1		4	5	24	5	11	1		1	52			9	104	113		66	99	165	33	27	1	77	138	13		7	
合　計		2	2	11	17	54	22	34	10	2	3	157			9	121	130	(2)	134	153	**287**	33	27	1	77	**138**	15		8	

※少年育成センター、生涯学習センターは生涯学習課職員が兼務
※再任用職員のうち、フルタイム勤務は定数内、短時間勤務は定数外
※県への派遣は枠外

8　各種審議会・協議会一覧

会　議　名	定　数	任　期	設　置　根　拠　条　例
高松市小中学校校区審議会	10 人以内	2 年	高松市小中学校校区審議会条例
高松市奨学生等選考委員会	4 人以内	委嘱の日から 3月31 日まで	高松市奨学生等選考委員会条例
高松市教育支援委員会	12 人以内	2 年	高松市教育支援委員会条例
高松市学校結核対策審議会	12 人以内	2 年	高松市学校結核対策審議会条例
高松市社会教育委員会議	10 人以内	2 年	高松市社会教育委員設置条例
高松市生涯学習センター等運営協議会	12 人以内	2 年	高松市生涯学習センター条例
高松市少年育成センター運営協議会	15 人以内	2 年	高松市少年育成センター条例
高松市文化財保護審議会	10 人以内	2 年	高松市文化財保護条例
高松市歴史資料館等協議会	11 人以内	2 年	高松市歴史民俗分野及び美術分野 社会教育施設協議会条例
高松市図書館協議会	13 人以内	2 年	高松市図書館条例
高松市美術館協議会	15 人以内	2 年	高松市歴史民俗分野及び美術分野 社会教育施設協議会条例
高松市美術品等収集審査会	8 人以内	2 年	高松市美術品等収集審査会条例

9　高松市教育文化振興会

本会の前身であった百十四教育文化振興会では、昭和 46 年３月の設置以来、百十四グループからの寄附金を原資とし、功労者等に対する表彰事業等を行なってきたが、平成７年４月、藤澤 健 氏からの寄附金 4,000 万円を交付金として受け入れることに伴い、本会の名称を高松市教育文化振興会に変更した。以後、本会の資産は、個人等からの寄附金により現在約 3,280 万円となっており、その運用益等により、高松市の教育文化の振興を図ることを目的として、各種事業を実施している。

（１）　令和７年度実施事業

ア　教育文化功労者表彰

丹羽　佑一

イ　全国的な大会等で優秀な成績をあげた児童・生徒に対する表彰

文化系　　個人　20 人・１団体　　スポーツ系　個人　26 人・４団体

ウ　児童生徒科学賞受賞者

最優秀賞　　（個人　１人）
優秀賞　　（個人　４人）
審査員特別賞　（個人　３人）

エ　学校優秀教職員受賞者（７人）

オ　特色ある学校づくり事業に要する経費に対する助成（10 校）

新番丁小学校	「新番キッズ！体力アップ大作戦プロジェクト」事業
鶴尾小学校	「ふるさとの偉人かんげんさんのように　賢く、そしてやさしい人に～基礎学力の向上とふるさとを愛する心の育成～」事業
木太小学校	「アートでつながる：なかまとともに楽しむ造形活動」事業
屋島東小学校	「屋島東の未来をつくるプロジェクト」事業
塩江小学校	「誇れ！愛する塩江の町プロジェクト」事業
庵治小学校	「庵治の未来を創る ～次代を担う子どもを地域とともに育む～」事業
浅野小学校	「もっと浅野を知ろう、もっと浅野を知ってもらおうプロジェクト」事業
塩江中学校	「雪月花～local　specialty　in　しおのえ～」事業
庵治中学校	「庵治中発！～地域でふれ合い隊～文化交流」事業
弦打幼稚園	「笑顔いっぱい花いっぱい」事業

Ⅲ　学　校　教　育

1　市立学校の概要

（１）小学校の児童・教職員数

（８．５．１現在）

区分 / 学校名	学級数				児童数			教職員数					
								本務教員数			本務職員数		
	計	単式	複式	特別支援	計	男	女	計	男	女	計	男	女
新番丁	27	20		7	615	301	314	43	13	30	3		3
亀阜　本校	23	15		8	456	242	214	45	13	32	8	3	5
みねやま分校	1		1					1		1			
栗林	40	32		8	1,011	508	503	61	16	45	4	1	3
花園	10	8		2	203	106	97	16	7	9	3	1	2
高松第一	27	17		10	548	313	235	41	12	29	2		2
鶴尾	10	6		4	135	70	65	21	10	11	6		6
太田	28	20		8	639	336	303	41	11	30	5	2	3
木太	21	12		9	425	213	212	31	14	17	4		4
古高松	21	16		5	457	222	235	33	10	23	5	4	1
屋島	15	12		3	282	162	120	23	8	15	4	1	3
前田	9	6		3	169	84	85	18	8	10	4		4
川添	26	18		8	529	271	258	36	14	22	1		1
林	36	26		10	864	439	425	51	14	37	3		3
三渓	24	18		6	509	267	242	33	11	22	5		5
仏生山	26	19		7	596	333	263	36	8	28	5	1	4
香西	22	14		8	422	229	193	35	15	20	5	1	4
一宮	30	19		11	568	282	286	45	13	32	7	4	3
多肥	47	36		11	1,248	601	647	69	20	49	4		4
川岡	16	10		6	249	129	120	25	9	16	5		5
円座	28	22		6	699	359	340	43	11	32	6	2	4
檀紙	26	19		7	583	291	292	33	9	24	5	1	4
弦打	20	15		5	453	232	221	29	8	21	5	2	3
鬼無	13	11		2	256	137	119	19	6	13	4	1	3
下笠居	10	6		4	180	87	93	17	8	9	4	1	3
五色台分校	1			1	2	1	1	2	1	1			
女木(休校)													
男木	3		2	1	6	4	2	6	3	3	1		1
川島	20	13		7	420	217	203	29	9	20	1		1
十河	18	14		4	412	199	213	25	9	16	1		1
東植田　本校	5	2	2	1	20	10	10	8	3	5	1		1
菅沢分校(休校)													
植田	8	6		2	64	31	33	13	4	9	1	1	
中央	33	25		8	798	396	402	49	15	34	6	1	5
太田南	38	28		10	907	455	452	52	16	36	8	3	5
木太南	23	17		6	526	267	259	31	6	25	5		5
古高松南	31	23		8	709	386	323	39	12	27	5	4	1
屋島東	11	6		5	65	27	38	15	4	11	3	3	
屋島西	15	11		4	264	116	148	26	7	19	4	1	3
木太北部	18	12		6	346	170	176	26	8	18	6	1	5
塩江	8	6		2	36	18	18	12	5	7	2		2
牟礼	15	10		5	239	132	107	27	5	22	1		1
牟礼北	18	13		5	394	207	187	26	10	16	1		1
牟礼南	9	6		3	148	74	74	14	6	8	1		1
庵治	8	6		2	102	53	49	15	7	8	1		1
庵治第二(休校)													
大野	20	14		6	433	219	214	28	9	19	2	1	1
浅野	12	9		3	240	117	123	19	7	12	1		1
川東	12	10		2	227	113	114	18	6	12	1		1
香南	14	11		3	268	148	120	22	10	12	2		2
国分寺北部	25	18		7	576	304	272	35	13	22	5		5
国分寺南部	26	18		8	602	315	287	42	15	27	5	1	4
計 52 校 うち 3 分校	947	675	5	267	19,900	10,193	9,707	1,424	458	966	171	41	130

（２）小学校施設の現況

（８．５．１現在）

学校名	所在地	創立年月	建物面積（㎡）						敷地面積（㎡）
			校舎		屋内運動場		給食場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
新番丁	錦町 2-14-1	H22. 4		8,132		2,398			13,220
亀阜　本校	亀岡町 10-1	M 5. 4		6,744		950			15,919
みねやま分校	西宝町 2-6-9	H28. 4							
栗林	栗林町 2-10-7	M17. 6		12,107		1,032			10,270
花園	花園町 2-7-7	S17. 9		5,097		770			14,876
高松第一	松島町 2-14-5	H22. 4		7,463		1,436			18,098
鶴尾	松並町 636-1	M39. 9		5,426		866			17,903
太田	伏石町 845-1	M30. 4		6,180		1,053		123	15,657
木太	木太町 3480-1	M19.		7,202		1,038		256	19,527
古高松	高松町 398	M 5.		6,697		1,052			21,434
屋島	屋島西町 1205-1	M20. 4	23	6,697		1,038			19,622
前田	前田東町 819-3	M20. 4		4,292		879		201	13,722
川添	東山崎町 207-1	M20. 4		6,787		1,050			16,576
林	林町 1108-1	M25. 9		9,070		863			16,578
三渓	三谷町 2173-1	M33. 5		4,239		662		162	11,850
仏生山	仏生山町甲 2461	M25. 4		4,816		1,038		201	17,909
香西	香西南町 703-1	M20. 4		5,852		1,066			14,474
一宮	一宮町 672-1	M34.12	10	6,367		1,050			13,205
多肥	多肥上町 902-2	M25. 4	65	9,860		863			23,145
川岡	川部町 1552	M20. 4		3,067		863		162	13,974
円座	円座町 1630-2	M20. 4		5,091		845			11,573
檀紙	御厩町 816	M20. 4		4,842		1,050		201	15,331
弦打	鶴市町 374-1	M25. 7		4,955		1,050		201	14,491
鬼無	鬼無町佐藤 607-1	M25. 9		3,721		863		235	13,280
下笠居	生島町 345	M20. 4		4,294		878			14,047
五色台分校	中山町 1501-192	R 5. 4							
女木(休校)	女木町 236-2	M 5.		953		681		45	2,900
男木	男木町 1988	M17.11		544					7,349
川島	川島東町 864-1	M26. 2		4,865		883			11,465
十河	十川西町 366-5	M20. 3		4,917		863			11,966
東植田本校	東植田町 2008	M20. 4		1,741		736			9,371
菅沢分校(休校)	菅沢町 339	M45. 4		497		464		45	3,850
植田	西植田町 2337	M18. 9		2,137		642			16,669
中央	松縄町 1138	S49. 4		6,955		845		251	17,647
太田南	太田下町 1823-1	S51. 4		6,665		1,053			19,290
木太南	木太町 1530-1	S52. 4		6,341		1,053		235	18,218
古高松南	新田町甲 2605	S55. 4		4,935		1,050		202	16,349
屋島東	屋島東町 942-1	S57. 4		2,307		681		162	9,167
屋島西	屋島西町 2469	S58. 4		5,767		933		201	19,732
木太北部	木太町 2613	H 2. 4		5,577		888			16,030
塩江	塩江町安原上 231 - 1	H27. 4		3,036		1,630			10,493
牟礼	牟礼町大町 1560	M 8. 2	15	3,925		1,011			13,181
牟礼北	牟礼町牟礼 2900-1	S51. 4		5,283		860			14,482
牟礼南	牟礼町大町 1115-1	S55. 4		3,448		665			15,876
庵治	庵治町 790-1	M 5.10		4,736		2,344			28,987
庵治第二(休校)	庵治町 6034-1	M39. 4		533		522			2,176
大野	香川町大野 1045-1	M 5. 6		4,278		800			17,508
浅野	香川町浅野 3088	M 3. 2		4,713		855			22,898
川東	香川町川東上1865-8	M29. 6		4,440		840			17,563
香南	香南町横井 801	S39. 4		4,398		727			20,795
国分寺北部	国分寺町新居 1880	M25. 4		5,722		1,262		258	15,874
国分寺南部	国分寺町福家甲3005	M25. 4		6,195		1,215		268	17,538
計 52 校 うち 3 分校			113	253,906		48,156		3,409	754,035

※　高松第一小学校の敷地は高松第一中学校と、男木小学校の敷地は男木中学校と、
塩江小学校の敷地は塩江中学校と併用。みねやま分校の建物及び敷地は県所管。
五色台分校の建物及び敷地は社会福祉法人四恩の里所有。

（３）中学校の生徒・教職員数

（８．５．１現在）

区分 / 学校名	学級数				生徒数			教職員数					
								本務教員数			本務職員数		
	計	単式	複式	特別支援	計	男	女	計	男	女	計	男	女
桜　　町	29	23		6	794	394	400	62	30	32	2	1	1
紫雲　本校	26	20		6	677	356	321	47	23	24	3	1	2
みねやま分校	2	1	1		7	6	1	5	4	1			
玉　　藻	19	15		4	489	231	258	34	15	19	3	1	2
高松第一	13	9		4	289	146	143	29	13	16	2	1	1
屋　　島	16	11		5	346	195	151	30	17	13	2		2
協　　和	30	22		8	760	379	381	53	31	22	3		3
龍　　雲	40	32		8	1,097	541	556	71	32	39	3	1	2
勝　　賀	24	18		6	614	331	283	37	20	17	3	1	2
一　　宮	13	11		2	309	159	150	27	14	13	1		1
香　　東	32	23		9	827	403	424	57	29	28	3	2	1
下 笠 居	6	5		1	103	51	52	12	4	8	1		1
五色台分校	1			1	6	4	2	5	4	1			
男　　木	1		1		2	1	1	3	3		1		1
山　　田	23	15		2	503	279	224	39	16	23	3	1	2
太　　田	23	19		4	619	306	313	39	20	19	3	2	1
古 高 松	22	17		5	561	280	281	40	25	15	2	1	1
木　　太	24	21		3	716	368	348	44	23	21	2		2
塩　　江	5	3		2	23	12	11	12	3	9	5	2	3
牟　　礼	16	12		4	387	180	207	29	13	16	1		1
庵　　治	6	3		3	58	30	28	14	8	6	1	1	
香川第一	21	16		5	537	270	267	39	19	20	2		2
香　　南	9	6		3	143	75	68	19	9	10	2		2
国 分 寺	23	18		5	598	282	316	40	22	18	4	3	1
計 24 校 うち 2 分校	424	320	2	102	10,465	5,279	5,186	787	397	390	52	18	34

（４）中学校施設の現況

（８．５．１現在）

学校名	所在地	創立年月	建物面積（㎡）						敷地面積（㎡）
			校舎		屋内運動場		武道場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
桜　　町	桜町 2-12-4	S22. 5	10	7,378		1,077		350	18,259
紫雲　本校	紫雲町 8-25	S22. 4		8,621		1,862		450	21,955
みねやま分校	西宝町 2-6-9	H28. 4							
玉　　藻	上福岡町 714-1	S25. 2		8,184		2,082			28,883
高松第一	松島町 2-14-5	H21. 4		6,298		1,866		450	15,204
屋　　島	屋島中町 295	S22. 4		6,553		1,952		350	17,414
協　　和	元山町 88-2	S28. 4		6,087		909		350	19,456
龍　　雲	出作町 331-2	S36. 4		7,898		1,072		350	21,402
勝　　賀	香西南町 565	S37. 4		7,214		1,049		350	22,162
一　　宮	一宮町 1185-1	S22. 4	45	5,112		904		350	23,091
香　　東	円座町 771	S40. 4		7,699		1,073		350	21,547
下 笠 居	生島町 372-1	S22. 5		2,906		915		350	13,104
五色台分校	中山町 1501-192	R 5. 4							
男　　木	男木町 1988	S22. 5	349	252		686			498
山　　田	川島東町 1257-1	S32. 4		8,283		1,709		712	21,668

学校名	所在地	創立年月	建物面積（㎡）						敷地面積（㎡）
			校舎		屋内運動場		武道場		
			木造	非木造	木造	非木造	木造	非木造	
太　田	太田下町 1800	S57. 4		6,307		1,164		350	18,613
古高松	新田町甲 190-1	S59. 4		6,962		1,154		350	25,913
木　太	木太町 5059-3	S61. 4		6,494		1,154		350	27,295
塩　江	塩江町安原上231-1	S31. 9		2,504		1,026			11,214
牟　礼	牟礼町牟礼 46-2	S22. 4		7,213		1,055		545	31,023
庵　治	庵治町 691-1	S22. 5		3,868		1,491		727	21,105
香川第一	香川町浅野 1188	S33. 4		7,214		1,914		672	46,884
香　南	香南町横井 801	S27. 2		4,268		3,352			20,296
国分寺	国分寺町新居1131-1	S36. 5		7,277		1,920			25,093
計 24 校 うち 2 分校			404	134,592		31,386		7,406	472,079

※　高松第一中学校の敷地は高松第一小学校と、男木中学校の敷地は男木小学校と、塩江中学校の敷地は塩江小学校と併用。みねやま分校の建物及び敷地は県所管。五色台分校の建物及び敷地は社会福祉法人四恩の里所有。

（５）高等学校の生徒・教職員数

（８．５．１現在）

区分／学校名	学級数	生徒数	教職員数											
			校長	教頭	教諭	常勤講師	代替講師常勤	養教助教・養	実習助手指導	時間講師	事務	用務	会計任年用度	計
高松第一高等学校	21	777	1	2	55	3	0	2	1	35	5	1	6	111

（６）高等学校施設の現況

（８．５．１現在）

学校名	所在地	創立年月	建物面積（㎡）				敷地面積（㎡）
			校舎		屋内運動場		
			木造	非木造	木造	非木造	
高松第一高等学校	桜町二丁目 5 番 10 号	S 3. 4		14,871		6,446	42,324

（７）幼稚園の園児・教職員数、施設の現況

（８．５．１現在）

区分／園名	所在地	面積（㎡）		学級数	園児数	3歳児入園数（再掲）	園長			教諭	講師	事務	用務	計
		園舎	敷地				本務	嘱託	兼務					
前　田	前田東町 788-1	691	1,525	3	13	2	1			3	1			5
川　添	東山崎町 601	969	4,055	3	19	5	1			5	3	1		10
三　渓	三谷町 2316-2	520	1,966	3	15	3	1			4	3			8
香　西	香西西町 59-1	958	3,454	3	19	2	1			3	3			7
一　宮	一宮町 1233-2	804	2,144	3	14	3	1			3	2			6
多　肥	多肥上町 990-2	620	1,702	3	33	5	1			4	5	1		11
川　岡	川部町 524-3	480	2,017	3	4	2	1			2	1			4
円　座	円座町 125-2	571	2,285	3	13	5		1		4	2			7
檀　紙	御厩町 776-1	566	2,203	3	23	6	1			3	3			7
弦　打	鶴市町 360	546	2,353	3	9	3	1			4	2			7
鬼　無	鬼無町佐藤 128-1	593	2,112	3	5	0	1			2	1			4
木　太	木太町 3901-1	991	2,458	3	35	8	1			4	6	1		12
木太北部	木太町 2604-5	889	2,638	3	20	9	1			4	2			7
栗　山	牟礼町牟礼 3028	590	1,841	3	16	1	1			5	2	1		9
大　野	香川町大野1331-1	642	2,815	3	15	6	1			4	1			5
国分寺北部	国分寺町新居1870-2	1,183	2,991	3	39	5	1			3	4	1		9

区分／園名	所在地	面積（㎡）		学級数	園児数	3歳児入園数（再掲）	園長			教諭	講師	事務	用務	計
		園舎	敷地				本務	嘱託	兼務					
国分寺南部	国分寺町福家甲3123-1	1,694	5,645	4	51	17	1			6	5	1		13
計 17 園		13,307	44,204	52	343	82	16	1	0	63	46	6	0	131

（８）学校施設の維持管理

維持管理のうち、原状復旧的なものについては修繕事業（需用費）、改造・改修等については改造改修事業（工事請負費）により行っている。

また、屋内運動場屋根改修、プール改修については定期的に行っている。

ア　修繕事業（当初予算）

（単位　千円）

区　分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	計
校（園）数	49(その他１分校)	22	1	17	89(その他１分校)
当初予算額	90,422	42,386	2,500	7,961	136,958

イ　改造改修事業（当初予算）

（ア）小学校

（単位　千円）

区　分	校舎改修	屋内運動場改修	プール施設関係	給食場整備	運動場等整備	屋外付帯施設整備	計
当初予算額	26,559	27,537	81,048	0	735	5,113	140,992

（イ）中学校

（単位　千円）

区　分	校舎改修	屋内運動場改修	プール施設関係	給食場整備	運動場等整備	屋外付帯施設整備	計
当初予算額	23,074	22,938	1,440	0	315	8,205	55,972

（ウ）高等学校

（単位　千円）

区　分	校舎改修	校舎等建設	計
当初予算額	142,736	0	0

（エ）幼稚園

（単位　千円）

区　分	園舎等改修
当初予算額	189,399

2　研究指定校

指定区分	学校名	指定年度	研　究　分　野
国	高松第一高等学校	R7～R11	スーパーサイエンスハイスクール研究事業
国	花園小学校	R8～R9	教育課程柔軟化サキドリ研究校事業
国	桜町中学校 栗林小学校 太田小学校 鶴尾小学校	R8	人権教育研究推進事業（人権教育総合推進地域事業）
県	三渓小学校	R8	学力向上モデル校事業（全国学力・学習状況調査の結果を活用した検証改善サイクルモデル校事業）
〃	牟礼中学校	R8	道徳教育地域支援委託事業
〃	太田中学校	R8	明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト事業
〃	桜町中学校 太田小学校 国分寺南部小学校	R8	校内サポートルーム(KSR)研究指定校事業
〃	川東小学校	R8	NIE（教育に新聞を）推進事業
〃	屋島小学校	R8	学びの場（特別支援学級等）レベルアップ事業

3　特別支援教育

高松市の特別支援教育は、昭和 28 年花園小学校に知的障害学級が設置されてから 60 年を超え、その間、香川県はもとより四国四県の特別支援教育の先駆的役割を果たしてきた。

（１）沿革

昭和 30 年　身体虚弱対象の養護学級を、設置後に健康学級と改称
　　31 年　肢体不自由児機能訓練学級設置
　　43 年　難聴学級設置
　　44 年　言語障害学級設置
　　48 年　情緒障害学級設置
平成　元年　肢体不自由機能訓練学級を中学校に設置（平成３年度廃止）
　　５年　肢体不自由機能訓練学級を中学校に設置
　　８年　院内学級を、県立中央病院、高松赤十字病院に開設
　　10 年　施設内学級を若竹学園に開設
　　15 年　特別支援教育推進体制モデル事業の推進地域に指定される
　　19 年　松島小学校（現高松第一小学校）に通級指導教室を設置
　　同　特別支援教育支援員の配置を開始（９月から）
　　21 年　特別支援教育サポーターの配置を開始（９月から）
　　22 年　屋島西小学校に通級指導教室を設置
　　24 年　就学指導委員会条例制定
　　25 年　一宮小学校に通級指導教室を設置
　　29 年　総合教育センターに支援係設置
　　高松第一中学校、川島小学校に通級指導教室を設置
　　30 年　サテライト教室設置
令和　元年　アシスト教室設置

２年　龍雲中学校に通級指導教室を設置
４年　香西小学校に通級指導教室を設置
６年　多肥小学校に通級指導教室を設置
７年　前田小学校に通級指導教室を設置
８年　太田小学校、弦打小学校、中央小学校、牟礼小学校、大野小学校、国分寺南部小学校、山田中学校に通級指導教室を設置

知的障害学級は、現在、小学校に 79 学級、中学校に 27 学級、また、自閉症・情緒障害学級は小学校に 143 学級、中学校に 55 学級、肢体不自由学級、難聴学級、弱視学級、病弱・身体虚弱学級を小学校に 45 学級、中学校に 20 学級設置して、障害の多様化に対応して就学の適正化と指導の充実を図ってきた。

重度の障害のある児童生徒で就学の困難な者についての訪問指導は、養護学校の義務化に伴い、54 年度から香川県立高松養護学校（現・香川県立高松支援学校）に学籍を置いて指導を受けている。

また、様々な障害のある児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援などを行う特別支援教育支援員を平成 19 年度の９月から、特別支援教育サポーターを平成 21 年度の９月から緊急性・必要性の高い小・中学校に配置している。（令和４年度より、特別支援教育支援員と特別支援教育サポーターは学校生活支援員に名称を変更している。）

なお、障害のある児童生徒の適正な就学をすすめるために、幼稚園・こども園・保育所等の協力を得て、教育相談を毎年１学期から計画的に実施している。

（２）特別支援学級の児童生徒数

（８．５．１現在）

小 学 校	学校数	学級数	児童・生徒数	中 学 校	学校数	学級数	児童・生徒数
知的障害	46	79	421	知的障害	20	27	136
肢体不自由	16	16	22	肢体不自由	5	5	7
病弱・身体虚弱	23	23	29	病弱・身体虚弱	10	10	21
弱　　視	1	1	1	弱　　視	0	0	0
難　　聴	5	5	5	難　　聴	5	5	6
自閉症・情緒障害	47	143	847	自閉症・情緒障害	22	55	288
計	(実)47	267	1,325	計	(実)22	102	458

※(実)は実学校数

（３）就学等教育相談会と教育支援委員会

障害のある児童生徒の適正な就学をすすめるために、５歳児に対して就学等教育相談会を年間 22 回実施し、就学に関する相談と児童の実態把握を行っている。保護者が希望した場合、先の相談会で得た情報等をもとに、教育支援委員会において就学判定を行い、判定結果を保護者や学校に通知し就学先を決定している。教育相談には教育支援委員会幹事である特別支援学級担任や通級指導教室担当があたっている。

在学中の児童生徒の就学指導については、校内就学指導委員会で審議のうえ、学校からの報告書に基づいて市の教育支援委員会において就学判定を行っている。

教育支援委員会は、学識経験者、医師、児童福祉施設等の職員、特別支援教育関係職員の 12 名の委員と小中学校職員の幹事で構成されている。

令和８年度入学児の就学指導の状況

特別支援学校	人数	特別支援学級	人数
視覚支援学校	1	知的障害	85
聴覚支援学校	0	肢体不自由	2
支援学校（知的）	30	病弱・身体虚弱	3
支援学校（肢体不自由）	7	弱視	0
支援学校（病弱）	0	難聴	0
		自閉症・情緒障害	131

4　生徒指導

（１）生徒指導の意義

都市化や少子化、情報化などの進展や価値観の多様化に伴い、児童生徒の問題行動等の現象は、量的な増加だけでなく、質的な変化も起こり、より複雑で多様化している。

暴力行為、いじめ、不登校などの児童生徒の問題行動等については、学校・家庭・地域及び関係機関との密接な連携を通した適切な指導が求められる。

特に、暴力行為やいじめにおいては、児童生徒の多様な行動の原因を、その現象面からだけとらえたり、その対応のみに終始したりするのではなく、児童生徒の心情面も理解し、予防・開発的な生徒指導が強く望まれる。不登校においては、早期発見と早期対応に努めるとともに、その要因に応じて、関係機関と連携・相談のもと役割分担を明確にし、組織的に対応していくことが重要である。

つまり、生徒指導とは、すべての児童生徒の人格の形成をめざし、学校生活が児童生徒一人一人にとって有意義で興味深く、充実したものにするために組織的・体系的に行っていくものである。

よって、児童生徒の理解に立った心の触れあう生徒指導を基盤に、関係機関及び校種間の密接な連携を図りながら、児童生徒の健全育成に努力していかなければならない。

（２）課題

近年、問題行動等は、複雑多様化し、より深刻なものとなっている。学校・家庭・地域及び関係機関が連携し、これらの未然防止及び早期解消に取り組む必要がある。

- 小・中学校が連携しての問題解決
- 学校の教育活動全体を通しての児童生徒の自己指導能力の育成
- 学校における教育相談体制の確立
- 不登校児童生徒の学校生活への復帰や社会的自立を促進する教育支援センターの充実
- 関係機関との連携強化
- 児童生徒の自己実現に向けての支援や指導

・　児童生徒の自律的な生活態度の育成
・　心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成
・　児童生徒の基本的な生活習慣の形成を図るための学校と家庭の密接な連携
・　開発的・予防的な生徒指導の推進
・　機能的な校内の指導体制の構築、学校生活への適応や自己実現に向けて、不登校児童生徒に対する支援や指導のあり方

（３）推進

ア　暴力行為、いじめなどの問題行動等の対策事業

（ア）児童生徒指導推進事業

社会福祉士等の資格又は、福祉と教育の両面に専門的な知識・技術を有する者を、スクールソーシャルワーカーとして中学校に配置して、計画的に小学校及び高松第一高等学校にも派遣することで、児童生徒が置かれた様々な環境に働きかけたり、関係機関等のネットワークを活用したりして、問題解決を図る。

（イ）「高松市児童生徒問題行動等対応マニュアル」の活用

問題行動等の対応における教職員の指導力向上のための研修資料として活用するとともに、各学校独自のマニュアルづくりの参考とし、問題行動等の未然防止と解消に取り組む。

（ウ）いじめ等対策事業（スクールカウンセラー配置）

「心の専門家」であるスクールカウンセラーを学校に配置し、暴力行為、いじめなどの問題行動等の未然防止や早期発見・早期解決を図る。

（エ）いじめ・不登校相談員配置事業

いじめ・不登校相談員を２名配置し、電話相談・来庁相談に応じ、指導主事と連携を取り、いじめや不登校の早期発見・早期対応などの防止対策の強化に努める。

（オ）学校訪問時の指導主事による生徒指導に関わる指導・援助

（カ）暴力行為、いじめ、不登校の防止に関わる教員研修の開催

（キ）「強めよう絆」月間

児童会や生徒会を中心に、友だち・家族・地域等との「絆を強める」活動を行い、児童生徒のよりよい人間関係づくりを促進するとともに、家庭や地域にも取組を発信し、学校への信頼を高める。

（ク）強めよう絆推進事業

学校相談員（退職教員）を派遣し、暴力行為、いじめ等の生徒指導上の諸問題の解決や未然防止を図る。

イ　不登校対策事業

（ア）教育相談体制の充実

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用するととも

に、教育支援センターでの教育相談など、相談体制の充実を図る。

（イ）社会的自立に向けた支援の充実

・　教育支援センターを始め、ＩＣＴを活用した学習支援システム、ビデオ会議システムやＡＩ型学習ドリル等のＩＣＴを活用した支援など、多様な学びの場を提供する。

・　フレンドシップ事業など、体験的な交流活動の機会を設け、社会性の育成に努める。

（ウ）不登校・子ども理解に係る教員研修の推進

「高松市不登校Ｑ＆Ａ　―児童生徒の社会的自立に向けて―」を活用し、学校や教員が不登校支援に適切に取り組めるよう研修を実施する。

（エ）不登校に関する援助推進委員会の設置

不登校への理解を深め、その解決をめざし、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図りながら、各種の施策について審議する。

ウ　児童生徒指導推進事業

（ア）児童生徒問題行動対策連絡会

学校、児童相談所、法務局、警察その他の関係機関等に所属する職員及び学識経験者により組織し、本市における、児童生徒のいじめ問題、暴力行為等問題行動の対策を総合的かつ効果的に推進する。

（イ）「高松市学校・警察相互連絡制度」に関する協定の締結

児童生徒を健全に育成するため、非行や被害の未然防止、効果的な立ち直り支援等を実施していくことを目的とした協定を高松市教育委員会、高松北警察署・高松南警察署・高松東警察署・高松西警察署が締結し、児童生徒の非行等の問題について連絡を行い、当該児童生徒の問題の所在を相互に理解し合うなど、自らの役割を果たしつつ緊密な連携を図っていく。

エ　生徒指導研修事業

生徒指導における教員の指導力向上を目的にした研修会を実施する。

・　「生徒指導上の基礎・基本」講話・演習
　（初任者研修指定）

・　「問題行動等に関する課題解決研修会」
　（中堅教諭等資質向上研修指定、保・こ・幼・小・中・一高教員希望者）

オ　香小研・香中研の生徒指導部会との連携

生徒指導部会と連携をとり、研究・調査の指導・助言にあたる。

カ　高松市少年育成センター運営協議会の開催

市内の青少年の健全育成を図るため、学校・ＰＴＡ・関係団体などの代表者の出席のもとで、意見発表や意見交換を行う。

キ　地域の健全育成団体との連携

各小学校区（地区）の健全育成連絡協議会等と定期的に情報交換を行い、連絡を密にしながら、各地区・校区における健全育成活動の推進を図る。

ク　家庭への啓発

家庭における望ましい人間関係をはぐくみ、自律心をもった児童生徒を育てるために、ＰＴＡ活動、保護者との懇談会等を通じて啓発していく。また、問題行動等の対応における学校や家庭、地域、関係機関の役割について情報提供を行う。

５　教職員の研修

主催	目的	内容	対象	期間
各学校・幼稚園・こども園	各学校・幼稚園・こども園等における日常の教育活動に立脚した実践的な研修を指導する。	(現職教育) 全教職員で学校の課題の研究実践を行う。	全教職員	通年
		(若年経験教員研修) 初任者研修との連携を図りながら、若年経験教員の指導力の向上を図る。	各校園所新採・若年経験教職員	通年
		(人権・同和教育研修) 偏見や不合理な差別を解消しようとする意欲や実践力を持った子どもを育成するための研修を行う。	全教職員	通年
教育委員会	(学校・幼稚園訪問) 高松市教育委員会の指導方針に則り、学校等の実情を把握するとともに、学校課題の解決に向けた取組みを支援する。	学校等における教育活動等、全般にわたる指導・助言を行う。	全教職員	5～11月
	(研修会・研修講座)教職員の資質や指導力の向上を図る。	管理職研修、教育方法研修、初任者研修等基本研修、生徒指導関係研修、体育・保健関係研修、幼稚園・こども園・保育所関係研修、給食関係研修等	各該当者、受講希望者	通年
	(自主研修会)「放課後ちょいスクール、ちょいカフェ@高松」等教職員を対象とした自主研修会を開催する。	学習指導、生徒指導、学級経営等	小中学校教職員希望者	通年
教育研修団体	幼稚園・こども園、小・中学校の教職員の学校教育に関する自主的・自発的な研究・実践を共催・後援する。	市幼こ研が行う研修会 香幼研、香小研、香中研の各高松支部が行う研修会	各部会員	通年

６　高等学校教育

（１）学校名及び所在地

高松第一高等学校

高松市桜町二丁目５番 10 号

（２）沿革

昭和３年創立の高松市立第一中学校と昭和15年創立の高松市立高等女学校（前身は高松市立実科高等女学校、昭和23年高松第二高等学校）が、昭和24年に統合されて高松第一高等学校となり、県下唯一の市立高校として今日に至っている。

普通科と音楽科の２学科が設置されており、令和８年度は学級21、生徒数777人。卒業生は、旧制も含めて44,834人にのぼり、社会の各界各層で活躍している。

（３）教育目標と特色

国際社会や国家、地域で活躍し、人類の福祉や文化の向上に貢献できる創造的な知性や豊かな人間性、社会性を身につけるとともに、生涯にわたって自己実現を図ることができる、心身ともにたくましく、自主と自律に拠る自由の精神を備えた人間の育成をめざすことを教育目標として掲げている。

また、高松第一高等学校では、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動及び部活動、校外行事の面に次のような特色がある。

ア　学習指導

普通科では、１年で各教科を全員共通で学習し、２年・３年と進むにつれて、進路目的に合わせて設定した文科系・理科系・美術の諸コースの中から選択して学習する。

また、特色あるコースとして、国際文科コースと特別理科コースを設けている。国際文科コースは、姉妹都市から派遣される米国人講師の指導のほか、１年時の３月にホームステイの体験を中心とする海外研修を行うなど、語学力と国際感覚を広く身につけさせ、質的に高い文科系の大学進学に実績をあげている。

特別理科コースは、理工系・医学系大学への進学をめざす生徒に対し、個々の適性能力に応じたきめ細かい指導はもとより、高度な実験実習や出張講義等を通じて関心を深めるとともに、資質の向上に努め、期する効果をあげている。さらに、平成22年度の同コース入学者から、スーパーサイエンスハイスクールの指定に伴い、学校設定科目を開設し、課題研究、探究活動、各種講演会、国内外の研修旅行を実施している。

音楽科では、将来、優れた音楽家及び音楽教育者として活躍できるよう、音楽関係の大学への進学を目標に、個人レッスンを中心とする専門技能と一般教養の調和のとれた学習指導を展開し、きわめて優れた実績をあげている。

イ　進路指導

ほとんどの生徒が国公立大学進学希望であるため、平常授業はもとより課外授業や個別指導による学力の向上を図り、講演会や先輩との懇談会等を通じ意識の確立にも努めている。また、近年の複雑化した入試制度に対応できるよう、実力の客観的診断や進路情報の収集と伝達にも留意している。

ウ　生活指導

基本的生活習慣の確立と、けじめある集団生活を送らせるために、学校・家庭・地域との緊密な連携を図り、家庭学習の習慣づけ、校内外の生活・身体・交通の安全等、広く日常指導を展開している。また、不登校やいじめ等の問題を抱える生徒の予防と早期発見及びその対応についても、ＨＲ担任や教育相談担当を中心に面接や家庭訪問等を通じてきめ細かく実施している。

エ　特別活動及び部活動

ＨＲ活動、生徒会活動や体育祭・文化祭等の諸行事を通じて、生徒の自主的活動や態度の育成に努めている。

伝統ある合唱部・吹奏楽部・野球部・剣道部など文化部と運動部で合計33部と２つの同好会が、より高い水準をめざして活発に活動を続けている。特に音楽関係の実績は目覚ましいものがあり、毎年全国大会に出場して活躍している。

オ　校外行事

本校の特色ある学校行事として、画一的な修学旅行に代わる校外研修の実施があげられる。

研修先は、学科及びコース毎に異なっており、いずれの場合も事前にその意義を確認させ、指導と学習を積ませている。

7　奨学制度

（１）高松市奨学金

成績優秀で向学心おう盛な生徒であって、家庭の経済的理由のため高等学校等への修学が困難な者に対して、奨学金を支給することにより、修学の機会を与え、有為な人材を育成することを目的とする。

選考は、中学校・高等学校などの校長が推薦した者から学業、人物、健康、家計などを総合的に判断し、教育委員会が高松市奨学生等選考委員会に諮り選定する。

（７年度実績）

奨学金支給対象	１人当たり支給月額（円）	支給人員（人）	支給総額（円）
高等学校、養護学校高等部、高等専門学校の生徒	9,000	236	24,138,000

（２）高等学校等入学準備金貸付

高等学校等に入学を希望する者の保護者で入学準備金の調達が困難な者に対して、入学準備金を貸し付けることにより、教育の機会を均等に与える。

貸付けについては、高松市奨学生等選考委員会に諮り、教育委員会が決定する。

（７年度実績）

学校種別	貸付人数（人）	１人当たり貸付額（円）	貸付総額（円）
国・公立	1	100,000	100,000
私立	2	250,000	500,000
計	3	－	600,000

【貸付額】　（国・公立）10 万円以内（無利息）
（私立）　25 万円以内（無利息）

【返還方法】　６か月据え置き後、国・公立学校の場合は 25 か月以内の割賦弁済
６か月据え置き後、私立学校の場合は 50 か月以内の割賦弁済

（３）大学等教育資金融資制度利用者利子補給

大学等へ進学した者の保護者が入学資金として借りた教育ローンの利子補給を行い、経済的負担を軽減することを目的とする。

利子補給額は、借入金に係る約定利子（子の年間支払額）のうち年利１％相当額。（限度額２万円）

（４）高等学校等入学準備助成金

家庭の経済的な理由のため就学困難な、進学に意欲のある者の保護者に対し、高松市就学等支援基金を財源とした給付型奨学金として、当助成金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り就学を支援することを目的とする。　（７年度実績）

１人当たり支給金額（円）	支給人員（人）	支給総額（円）
35,000	174	6,090,000

（５）要保護及び準要保護児童生徒就学援助

児童生徒の小学校及び中学校への就学に際し、経済的な支援を必要とする保護者に対して、就学に必要な経費の援助を行う。　（７年度実績）

区分 ＼ 費目	小学校			中学校		
	支給人数（総数2,542人）（人）	支給額（円）	１人当たり（年平均）（円）	支給人数（総数1,555人）（人）	支給額（円）	１人当たり（年平均）（円）
学用品費	2,542	27,468,495	10,806	1,555	33,203,020	21,352
通学用品費	2,187	4,613,535	2,110	1,077	2,290,760	2,127
新入学児童生徒学用品費等	114	6,504,840	57,060	34	2,142,000	63,000
新入学児童生徒学用品費等（前倒し支給分）	204	11,640,240	57,060	468	29,484,000	63,000
修学旅行費	480	16,965,113	35,344	523	41,121,375	78,626
校外活動費	2,062	3,114,642	1,510	1,127	2,290,296	2,032
通学費	7	208,545	29,792	20	1,829,365	91,468
学校給食費	2,295	87,284,576	38,032	1,362	52,859,542	38,810
医療費	0	0	0	1	2,090	2,090
集団宿泊学習費	443	1,622,366	3,662	449	3,102,004	6,909
ＰＴＡ会費	1,735	4,186,680	2,413	1,052	2,859,915	2,719
生徒会費	－	－	－	1,543	2,651,645	1,718
クラブ活動費	－	－	－	1,122	5,613,485	5,003
計	－	163,609,032	－	－	179,449,497	－

（６）特別支援教育就学奨励

小学校及び中学校の特別支援学級等に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減

し、その就学を奨励するため、保護者に就学奨励費を支給している。

（７年度実績）

区分 / 費目	小学校			中学校		
	支給人数（総数766人）（人）	支給額（円）	１人当たり（年平均）（円）	支給人数（総数231人）（人）	支給額（円）	１人当たり（年平均）（円）
学用品等購入費	766	4,275,479	5,582	231	2,433,566	10,535
新入学児童生徒学用品費等	104	2,789,393	26,821	84	2,432,516	28,959
修学旅行費	105	1,847,679	17,597	41	1,585,979	38,682
校外活動費	678	531,248	784	151	158,075	1,047
通学費	20	116,762	5,838	5	105,531	21,106
学校給食費	686	12,295,735	17,924	209	3,837,526	18,187
計	－	21,856,296	－	－	10,553,193	－

８　学校（園）備品等の充実

（１）学校図書館用図書充実事業

幼児、児童生徒の健全な教養を培い、教育課程の展開に寄与するため、重要な教育的機能を持った学校図書館の充実をめざし、その整備拡充を行う。

（２）教育用コンピュータ整備事業

小学校 2,426 台、中学校 1,261 台の教育用コンピュータを配備しており、令和７年度に小学校 170 台、中学校 62 台を更新した。

（３）教員（校務）用コンピュータ整備事業

小学校 1573 台、中学校 937 台の校務用コンピュータを整備しており、令和７年度に小学校 395 台、中学校 175 台を更新した。

（４）ＩＣＴ整備・活用推進事業

国のＧＩＧＡスクール構想に伴って、令和２年度に整備した一人一台端末を、７年度末に全台（小学校 22,903 台、中学校 11,579 台、予備機 1,219 台）更新した。

（５）児童生徒副読本支給事業

学校教育における補助教材としての副読本を支給し、保護者負担の軽減と教育効果の向上に努める。

９　学校体育の概要

児童生徒の体力・運動能力の向上と同時に、相互の友情を深め、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図るために各種競技会、記録会等を開催している。また、部活動指導員・運動部活動講師の派遣事業を行っている。

（１）令和７年度主要事業実施状況

事　業　名	開 催 場 所	参加数（人）
第 17 回高松地区中学校総合体育大会	高松市総合体育館　他	3,750
第 62 回高松市小学校陸上記録会	屋島レクザムフィールド	1,112
第 17 回高松地区中学校新人体育大会	高松市総合体育館　他	3,110

（２）部活動指導員・運動部活動講師派遣事業

運動部活動のうち、技術習得過程において段階的指導が必要とされる武道等の競技において、令和７年度は要請のあった中学校に対し４名の講師の派遣を行うとともに、部活動指導員として 24 名の派遣を行った。

１０　学校保健の概要

（１）令和７年度主要事業実施状況

園児・児童生徒に心臓・腎臓検診を含む健康診断を実施するとともに、教職員に結核検診を含む健康診断を実施し、疾病の早期発見と事後措置に努めている。

また、市立小学校の４年生の希望者及び市立中学校１年生の抽出者のうち希望者を対象として、小児生活習慣病予防検診を実施し、概要と結果をホームページで公表し啓発に努めている。

さらに、飲料水の水質検査及び空気検査等を実施し、学校環境衛生の維持管理に努めている。

事　業　名	人　数　等	事　業　名	人　数　等
園児・児童生徒定期健康診断	1 回 31,832 人	小児生活習慣病予防検診	3,029 人
就学時健康診断	3,058 人	学校飲料水水質検査	61 校 17 園
腎臓検診（検尿）（再検査含む）	31,995 人	学校等プール水質検査	62 校 17 園
心臓検診（心電・心音図, 血圧測定）（小１・４、中１・２、高１年生）	13,620 人	簡易専用水道管理状況調査	1 回　54 校
よい歯の児童生徒審査会	117 人	日本スポーツ振興センター災害共済給付	3,335 件
ストレスチェック	2,057 人	高松市健康教育研究大会	84 人
日本スポーツ振興センター加入	32,163 人		

（２）令和７年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師配置状況

（単位　人）

区　分	学校医			学　校歯科医	学　校薬剤師	計
	内　科	眼　科	耳鼻科			
幼　稚　園	17	17	17	17	17	85
小　学　校	60	49	49	64	49	271
中　学　校	28	24	24	33	24	133
高 等 学 校	2	1	1	2	1	7
計	107	91	91	116	91	496

※配置基準は各校１人。ただし、内科医、歯科医については、教育委員会が特別な理由があると認めた場合は２人を配置している。

（３）独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校管理下において発生した園児・児童生徒の負傷、疾病に対して、独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度により、医療費等を給付している。この共済制度には本市の園児・児童生徒のほぼ全員が加入している。

ア　負担区分(市負担額は免責の特約に係る掛金を含む。)　　（単位　円）

区分 / 校種	共済掛金	負担区分	
		市	保護者
小・中学校	935	475	460
高等学校	2,165	305	1,860
幼稚園	285	75	210

イ　給付状況　　（７年度実績）

区分	加入者数	災害医療費		障害見舞金		死亡見舞金		供花料		合計		事故件数
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
小学校	20,579	1,562	7,805,111	0	0	0	0	0	0	1,562	7,805,111	1,069
中学校	10,405	1,596	11,107,724	0	0	0	0	0	0	1,596	11,107,724	722
高校	784	158	2,265,879	0	0	0	0	0	0	158	2,265,879	61
幼稚園	395	19	125,043	0	0	0	0	0	0	19	125,043	14
計	32,163	3,335	21,303,757	0	0	0	0	0	0	3,335	21,303,757	1,866

１１　学校給食の概要

戦後開始された学校給食は、教育活動の一環として、児童生徒の心身の健全な発達に資するものとして定着しており、給食内容の充実を図るとともに、効率的な運用に努めている。

(公財)高松市学校給食会による適正な給食物資の購入、統一献立等、効果的な運用に努めており、さらに、近年の食生活の変化や食育の重要性の高まりに対応するため、小児生活習慣病予防や地産地消の推進など、一層の充実を図っている。

（１）学校給食の実施状況

（８．５．１現在）

区分		完全給食		合計
		単独方式	共同調理場方式	
小学校	学校数	16	31	47
	児童数	7,419	12,479	19,898
中学校	学校数	1	21	22
	生徒数	598	9,854	10,452

（休校は除く）

（２）学校給食（完全給食）の状況

（８年度）

区　分	一食当たり給食費（円）		年間平均 実施回数（予定）
		左のうち 保護者負担額	
小学校低学年	298	0	188
小学校中学年	340	0	188
小学校高学年	375	0	188
中学校	404	304	168

（３）米飯給食

学校給食の多様化を図るとともに、児童生徒が伝統的な日本の食文化を身につけるため、昭和 51 年４月から米飯給食を委託炊飯で開始し、53 年９月から月４回の米飯給食のうち、１回の自校炊飯を開始した。

その後、逐次実施回数の増加に努め、平成 16 年９月から週３回の米飯給食を実施している。

（４）栄養摂取基準量

本市では、国の学校給食実施基準に基づき給食を実施していたが、本市の児童生徒の成長に応じた給食の提供のため、市独自の基準策定について検討し、令和元年度に「高松市学校給食摂取基準」を策定し、令和２年４月分の給食から新基準に基づき給食を実施している。

小児生活習慣病予防を推進するため、脂肪エネルギー比率を基準値以内に抑え、味つけは薄味とし、食物繊維の摂取量の増加を図っている。

ア　平均栄養量（令和６年度栄養週報による。小学校は４年生、中学校は２年生。）

【小学校】

区　分		エネルギー (kcal)	たんぱく質 (%)	脂肪 (%)	カルシウム (mg)	ビタミン				鉄 (g)	食塩相当量 (g)	食物繊維 (g)
						A (μgRE)	B１ (mg)	B２ (mg)	C (mg)			
前期	学校給食摂取基準	620	13～20	20～30	350	200	0.40	0.40	25	3.0	2.0未満	4.5以上
	平均摂取量	612	15.4	27.3	388	245	0.89	0.59	31	3.7	2.1	6.0
後期	学校給食摂取基準	650	13～20	20～30	350	200	0.40	0.40	25	3.0	2.0未満	4.5以上
	平均摂取量	619	16.8	29.2	372	319	0.94	0.60	27	4.2	2.2	7.1

【中学校】

区　分		エネルギー (kcal)	たんぱく質 (%)	脂肪 (%)	カルシウム (mg)	ビタミン				鉄 (g)	食塩相当量 (g)	食物繊維 (g)
						A (μgRE)	B１ (mg)	B２ (mg)	C (mg)			
前期	学校給食摂取基準	800	13～20	20～30	450	300	0.50	0.60	30	4.0	2.5未満	6.5
	平均摂取量	744	16.9	27.0	417	298	1.10	0.73	40	4.2	2.8	7.9
後期	学校給食摂取基準	800	13～20	20～30	450	300	0.50	0.60		4.5	2.5未満	6.5
	平均摂取量	751	17.3	27.0	380	263	1.08	0.62	32	4.1	2.7	7.6

イ　食品構成表　　（単位　g）

区　分		肉･魚介卵類	豆類	芋類	野菜類	果実類	油脂類	砂糖類	乳類
小学校	平均食品分類別摂取量	38	22	22	103	19	3	2	16
中学校	平均食品分類別摂取量	62	18	21	117	11	4	4	11

（令和６年度栄養週報による。小学校は４年生、中学校は２年生。）

（５）衛生管理

学校給食は、発育途上の児童生徒を対象として大量調理を行うことから、衛生管理には万全を期する必要がある。

このため、関係指導機関（保健所、学校薬剤師等）と連携をとり、衛生管理の徹底を図っている。

- 衛生管理状況調査　　年１回
- 学校給食施設等定期検査　　年３回
- 栄養士による巡回指導　　随　時
- 調理員等給食従事職員の検便検査　　月２回
- 調理員研修　　年３回

Ⅳ　生　涯　学　習

市民一人一人が、生涯の各時期に直面する新しい課題に対処できるよう学習の機会を提供し、人間性・社会性の向上を図り、生きがいのある市民生活を確保するため、生涯学習を推進する。

＜令和８年度の生涯学習事業計画＞

１　生涯学習推進体制の整備

（１）生涯学習推進体制整備事業

「第３期高松市教育振興基本計画」及び「生涯学習の今後の推進方針」に基づき、生涯学習施策を総合的かつ体系的、効果的に推進する。

２　少年教育の推進

（１）子ども会の育成

子ども会活動を充実発展させるため、高松市子ども会育成連絡協議会を支援するとともに、子ども会育成会指導者講習会や子ども会リーダー研修会などを行う。

（２）子ども会フットベースボール大会

開催期日	場　　所	内　　容
R8.9.27	高松市西部運動センター	校区対抗フットベースボール大会

（３）新春子どもフェスティバル

開催期日	場　　所	内　　容
R9.2.7	アイパル香川 四番丁スクエア 市役所　　（予定）	ドッジボール大会、すもう大会、カルタとり大会、遊び名人コーナーほか

３　青年教育の推進

（１）知的障がい者青年教室（愛称　スキップクラブ）

知的障がいのある青年が、余暇時間の充実を図りながら、集団活動を通して、人とふれあう喜びづくりや社会人としての知識・技能の習得を図るとともに、知的障がい者を支援するボランティアが、知的障がい者の特性等について学び、理解を深めるための場として教室を開設する。（定員 45 名）

（２）二十歳のつどい（令和３年度までは成人式として実施）

開催期日	内　　容	場　　所
R9.1.10	式　典	香川県立アリーナ　メインアリーナ

４　家庭・地域の教育の推進

（１）家庭教育応援講座等

項　　目	講座数等	事業内容等
家庭教育応援講座	191 講座	子育てにおける課題や子どもの成長､子どもの生活リズム等について、就学時健康診断等を活用した家庭教育応援講座の開設
家庭教育情報発信事業	家庭教育コラム 年 5 回	高松市ホームページ等に家庭教育に関するコラムの掲載

（２）「早寝早起き朝ごはん」運動普及・啓発事業

子どもたちの基本的生活習慣を育成し、生活リズムの向上を図ることにより、学習やスポーツ、読書など様々な活動にいきいきと取り組めるよう、就学時健康診断を活用した家庭教育応援講座の開催等、保護者が集まる機会をとらえて「早寝早起き朝ごはん」運動の普及・啓発を行うとともに、生活リズムチェックシートを小・中学生に配布し、子どもたち自らの生活習慣を見直すきっかけづくりを行う。

（３）地域学校協働活動

社会全体で子どもの学びや成長を支えるため、学校と地域それぞれの実情を理解し、双方をつなぐことができるコーディネーターを配置するなど、学校と地域が連携して行う活動の効果的・効率的な展開の促進に取り組み、家庭と地域の教育力の向上を図る。

令和８年度モデル校及びモデル事業協力校（小学校）・・・８校

５　社会教育関係団体への支援

高松市ＰＴＡ連絡協議会、高松市子ども会育成連絡協議会等の社会教育団体に対し、運営補助等の支援を行う。

６　学び直しの支援

義務教育を終了しないまま学齢期を経過した人などを対象に、生涯学習の一環として、夜間教室を開室し、学び直しを支援する。（定員 15 人程度、全 16 回）

７　ふれあい創作館

市民に陶芸活動やその他の生涯学習などの諸活動、集会、レクリエーション等の場を提供し、市民福祉の増進に寄与するための拠点として、幅広い世代の市民が快適に利用できるよう、施設の維持管理に努める。

施設名	構造	延床面積（㎡）	敷地面積（㎡）	設置年	所在地
ふれあい創作館	木造	338.5	1,043.32	S46	香川町川内原 2146-1

8　学校体育施設開放事業

市民の体力づくりや健康増進に寄与するため、学校体育施設を、身近で有益なスポーツ施設として学校教育活動に支障のない範囲で開放する。

令和７年度の開放状況は、小学校 56 校(小学校跡を含む)中 55 体育館、54 運動場（夜間照明施設 45 校(46 基)設置)、市立中学校 22 校中 15 体育館、12 運動場（夜間照明施設 13 校設置)、１卓球室となっている。

（１）高松市立学校運動場の夜間照明施設設置状況　（８．４．１現在）

学校別	学校数	設置内容	
		設置数	設置率（%）
小学校	49(56)	38(45)	77.6(80.4)
中学校	22	13	59
計	71(78)	51(58)	71.8(74.3)

※(　)内は、小学校の統廃合に伴う小学校跡を含む数値。

※高松第一小・中学校及び塩江小・中学校、香南小・中学校においては、小学校と中学校が併設され、運動場を共用で使用しているため、夜間照明施設設置状況については小・中学校それぞれを含んでいる。

（２）令和７年度中学校体育施設夜間開放利用状況　（単位　人）

種目／学校名	ソフトボール	サッカー	軟式野球	バレーボール	バスケットボール	ソフトバレー	バドミントン	フォークダンス	卓球	その他	計
玉　藻	－	－	288	186	2,751	－	806	526	－	507	5,064
桜　町	－	－	－	1,622	2,188	1,015	60	－	－	－	4,885
紫　雲	－	－	－	1,621	574	171	1,901	－	8	－	4,275
協　和	－	－	－	3,539	416	7	196	－	－	－	4,158
龍　雲	92	35	－	－	－	－	－	－	－	－	127
香　東	－	－	－	715	2,848	－	247	－	－	－	3,810
勝　賀	139	595	－	－	－	－	－	－	－	－	734
山　田	－	118	－	－	－	－	－	－	－	－	118
牟　礼	－	－	－	76	2,439	－	－	－	－	－	2,515

種目／学校名	ソフトボール	サッカー	軟式野球	バレーボール	バスケットボール	ソフトバレー	バドミントン	フォークダンス	卓球	その他	計
庵　　治	－	－	－	－	471	806	－	－	－	－	1,277
香川第一	－	－	－	1083	4,887	－	165	－	－	－	6,135
国 分 寺	－	－	－	234	1,075	834	－	－	－	－	2,143
下 笠 居	－	－	－	－	566	72	－	－	－	－	638
太　　田	－	－	－	2,451	2,009	－	555	－	－	－	5,015
木　　太	－	－	－	1,257	2,558	162	948	－	－	－	4,925
計	231	748	288	12,784	22,782	3,067	4,878	526	8	507	45,819

V　人　権　教　育

高松市人権教育・啓発に関する基本指針、高松市教育振興基本計画を踏まえ、人権尊重の精神に徹し、同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に積極的に取り組む意欲と実践力をもった人間を育成するため、人権教育を推進する。

1　学校人権教育の推進

（1）研究と研修の充実

ア　現職教育推進支援事業

各園・学校での授業や取組、教職員の幼児児童生徒、保護者等への関わりなどについて、指導主事等が訪問し、指導・助言を行う。

各種人権・同和教育研究大会の報告原稿についての指導・助言を行う。

部落問題学習等の公開授業や、放課後ちょいスクール（自主研修会）などを行い、差別解消のための教育や取組が広がるようにしていく。

イ　人権教育教職員研修会の開催

こども園、幼稚園、小・中学校・高等学校の教職員の人権尊重意識の向上を図り、人権に関する正しい知的理解と豊かな人権感覚を身につけ、幼児児童生徒への関わりを振り返るとともに、意欲的に人権教育に取り組み、差別解消への実践力を養うために、研修会を行う。

ウ　人権・同和教育主任研修会の開催

小・中・高等学校の人権・同和教育主任の職務を進めるにあたって必要な知識や技能、実践力を養うとともに、豊かな人権感覚を身につけ、各校における人権・同和教育の取組を見直し、さらなる推進を図るために、研修会を行う。

エ　「スマイルフェスティバル in たかまつ２０２６」の開催

広く市民の人権意識の高揚を図るため、児童生徒による人権に関する発表、人権劇、作文朗読、講師を招いての講演などを内容とする「スマイルフェスティバル in たかまつ２０２６」をサンポートホール高松にて開催する。

オ　「強めよう絆」月間の実施

いじめのない学校づくりを行うことを目的に、幼児児童生徒のよりよい人間関係づくりを促進するとともに、保護者や地域にも取組を発信し、学校への信頼を高めるために、高松市立の全小・中学校共通の取組として、「強めよう絆」月間を各学校の実情に応じて設定する。

カ　人権・同和教育研究会等への助成

教職員の人権意識の高揚と実践への意欲向上を目的として、学校（園）における人権・同和教育研究会組織の活動に対して補助する。

キ　全国人権・同和教育研究大会等への参加助成

各地域や学校（園）の実践報告から、参加教職員の人権意識を高め、実践に生かすことを目的として、各種人権・同和教育研究大会への参加に対して補助する。

（2）人権教育の深化・拡充のための指導資料等の作成

ア　人権問題学習資料の作成と活用

人権教育・啓発の充実のために、市民のための人権問題学習資料「たかまつ人権ナビ」を作成し、高松市内小・中学校保護者に配布するとともに、市民講座等の各種研修会で活用する。

イ　「超入門 先生のための LGBT（リーフレット）」「先生のための LGBT（DVD）」

「生徒のための LGBT（DVD)」の活用

教職員一人ひとりが多様な性について正しく理解したうえで、幼児児童生徒の不安や悩みをしっかり受け止め、きめ細やかに対応していくことができるように「超入門先生のための LGBT」「先生のための LGBT」「生徒のための LGBT」を、各種教職員研修会で活用する。

ウ　人権学習パネル展の開催

園・学校での人権学習の成果を紹介することで、市民の人権意識の高揚と様々な人権問題の解決に向けて実践する意欲を高めることを目的として、人権学習パネル展を人権作品展や各種人権イベント等において開催する。

エ　指導資料の充実

各小・中学校が実践した人権学習の指導案やワークシートのデータを市内の小・中学校が自校の授業づくりの参考にできるようにしたり、個別人権課題の学習の際に役立つリンク集を作成したりして、TENSＰＣの提供情報フォルダにて共有する。また人権啓発ＤＶＤや、書籍・資料等をＨＰ等で紹介し、貸出しする。

（３）　地域における教育活動の充実

ア　子ども学級の開設

文化センターにおいて、子ども会の申請により小・中学校教職員を指導者として、基礎学力の定着を図るための子ども学級を実施する。

イ　教育相談事業の実施

文化センターにおいて、児童生徒及びその保護者を対象に進路・進学等の相談を実施する。

ウ　社会教育指導員の配置

幼児児童生徒の学習及び生活支援を行うために、各文化センターに、社会教育指導員（会計年度任用職員）を１名ずつ（田村文化センターのみ２名）計７名配置する。

エ　学習支援ボランティア事業

大学生のボランティアによる学習支援により学力向上及び進学・学習意欲の高揚を図ることを目的として実施する。

２　社会人権教育の推進

（１）人権教育活動の積極的推進

ア　人権教育市民講座の開催

コミュニティセンター等での人権に関する講座を開催し、社会教育指導員（会計年度任用職員）の派遣、講師の選定・協力等を行う。

イ　人権教育研修事業の開催

子どもに対する人権教育をより効果あるものとするために、保護者啓発として、市立こども園・幼稚園・小学校・中学校、高松第一高等学校において単位ＰＴＡ会員、保護者等を対象に人権に関する講演会等を開催する。

ウ　社会教育関係団体等における人権教育の促進

集団活動を通じて自主性、協調性を養い、人権尊重の精神を身につけ、心身ともに健全な子どもを育成することを目的として、子ども会に交付する。

エ　各種人権・同和教育研究大会等への参加助成

人権問題への理解を深め、問題の解決を図るため、社会教育団体等に対し、全国人

権・同和教育研究大会等の参加に必要な経費を補助する。

オ　社会教育指導員の配置

人権課題解決のための各種研修の充実を図るため、社会教育指導員（会計年度任用職員）を本課に１名配置する。

（２）人権教育推進組織（人権尊重都市たかまつ市民会議）への協力

ア　「人権だより」の発行

イ　「人権・同和教育研修会」の開催

ウ　「人権作品展」の開催

エ　「スマイルフェスティバル in たかまつ」の開催

（３）人権教育資料の作成

ア　「広報高松」に人権についての内容を掲載

イ　市民のための人権問題学習資料「たかまつ人権ナビ」の作成と活用

（４）人権教育図書・視聴覚教材の購入・整備と活用

ア　人権教育関係資料及び図書の購入・整備と活用

イ　人権教育ＤＶＤの購入・整備と活用

（５）地域における教育活動の充実

地域住民の文化的営みを促進するとともに、家庭及び地域社会における人間関係の円滑化を図ることを目的に、各文化センターで実施する。

ア　社会教育学級の実施

地域住民の教養を高め、技能の習得等も可能な各種講座を実施する。

イ　ふれあい教室の実施

ボランティア活動、三世代交流、地域交流（行事）を主とした様々な体験・交流の機会を提供する教室等を実施する。

Ⅵ　図　　書　　館

本市図書館は、中央図書館（瓦町サテライト含む）と地域館(夢みらい・牟礼・香川・国分寺図書館)の計5館でネットワークを構築するとともに、移動図書館車3台の巡回及び46図書館分室の運用により、全市域的な図書館サービスの提供に努めている。また、インターネットなどによる蔵書予約システムやレファレンスデータベースを有する図書館情報システムを稼動するとともに、地域の課題解決支援策の一環として、「子育て支援コーナー」などを設置しているほか、予約図書等館外取次サービスやコープかがわにおける図書等の返却受付サービスを実施するなど、利用者の利便性の向上に取り組んでいる。そして、令和4年3月からは、電子図書館サービスを開始するなど、非来館型サービスの充実を図っている。

さらに、中央図書館が設置されているサンクリスタル高松は、平成4年の開館から30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、令和7年6月に、大規模改修工事に着手した。中央図書館は令和9年秋頃のリニューアルオープンを予定している。

1　施設等の概要

名　　称	所 在 地	延床面積(㎡)	開館時間	開館日
中央図書館	昭和町一丁目 2 番 20 号 (サンクリスタル高松内)	8,718.00	平日 午前 9 時 30 分 ～午後 7 時 土・日・祝 午前 9 時 30 分 ～午後 5 時 (瓦町サテライト) 午前 10 時～午後 9 時	H4. 11. 3
(瓦町サテライト)	常磐町一丁目 3 番地 1 (瓦町ＦＬＡＧ 8F)	216.97		H27. 10. 21
夢みらい図書館	松島町一丁目 15 番 1 号 (たかまつミライエ 2F)	791.06		H28. 11. 23
牟礼図書館	牟礼町牟礼 130 番地 2	2,059.86		S56. 6. 2
香川図書館	香川町川東上 1865 番地 13 (香川総合センター隣)	3,055.21		H19. 4. 28
国分寺図書館	国分寺町新居 1298 番地 (国分寺総合センター隣)	800.30		H 元. 4. 4

2　運営機構

中央図書館　館長１名、主幹１名、館長補佐１名、管理係４名、資料係６名(含会計年度任用職員４名)、館内サービス係 10 名(含会計年度任用職員８名)、業務係２名、移動図書館係７名(含会計年度任用職員２名)

瓦町サテライト　館員６名(含会計年度任用職員４名)

夢みらい図書館　館長１名、館員 11 名(含会計年度任用職員７名)

牟礼図書館　館長１名、館員６名(含会計年度任用職員５名)

香川図書館　館長１名、館員８名(含会計年度任用職員６名)

国分寺図書館　館長１名、館員６名(含会計年度任用職員５名)

3　事業概要

（1）資料の整備

ア　図　　書　　（単位　冊）

配置＼区分		6年度末	受入		除籍等	7年度末
			購入	寄贈等		
中　央図書館(サテライト含む)	一　　般	425,331	592	707	9,269	417,361
	児　　童	146,563	1,293	87	20,738	127,205
	郷 土 資 料	24,025	29	418	6	24,466
	郷土人文庫	5,744	2	28	20	5,754
	小　　計	601,663	1,916	1,240	30,033	574,786
夢みらい図書館	一　　般	61,013	2,014	2,083	2,094	63,016
	児　　童	50,859	1,532	814	1,606	51,599
	郷 土 資 料	1,035	16	45	1	1,095
	郷土人文庫	77		3		80
	小　　計	112,984	3,562	2,945	3,701	115,790
牟　礼図書館	一　　般	39,304	1,388	2,080	1,667	41,105
	児　　童	26,089	980	37	2,151	24,955
	郷 土 資 料	2,141	9	60	200	2,010
	郷土人文庫	87	1	4		92
	小　　計	67,621	2,378	2,181	4,018	68,162
香　川図書館	一　　般	117,733	4,352	16,409	5,401	133,093
	児　　童	47,812	1,378	1,570	2,452	48,308
	郷 土 資 料	2,288	9	162	1	2,458
	郷土人文庫	230	4	17		251
	小　　計	168,063	5,743	18,158	7,854	184,110
国分寺図書館	一　　般	48,103	1,453	2,254	1,608	50,202
	児　　童	32,346	901	35	3,025	30,257
	郷 土 資 料	2,872	5	83	155	2,805
	郷土人文庫	268	1	3		272
	小　　計	83,589	2,360	2,375	4,788	83,536
移　動図書館分　室	一　　般	57,145	1,566	195	2,016	56,890
	児　　童	75,616	1,565	880	4,760	73,301
	郷 土 資 料	1,420	3	124	6	1,541
	郷土人文庫	48			2	46
	小　　計	134,229	3,134	1,199	6,784	131,778
総　　計		1,168,149	19,093	28,098	57,178	1,158,162

※瓦町サテライト令和7年度末：24,315 冊（一般：14,859 冊、児童：9,373 冊、郷土資料：66 冊、郷土人文庫 17 冊　中央図書館に含む。）

※7年度から児童の資料に絵本・紙芝居・コミックを含めた。

イ　視聴覚資料　　（単位　点）

配置＼区分		6年度末	受入		除籍等	7年度末
			購入	寄贈等		
中央図書館	CD	25,327	43	13	6,756	18,627
	ビデオテープ	7,385			1,204	6,181
	レーザーディスク	1,591			1,587	4
	カセットテープ	2,478				2,478
	DVD	5,411	7	8	3,195	2,231
	マイクロフィルム	1,372			2	1,370
	CD－ROM等	71	3	310		384
	小計	43,635	53	331	12,744	31,275
夢みらい図書館	CD	687			10	677
	DVD	383	34	15	12	420
	CD－ROM等			2		2
	小計	1,070	34	17	22	1,099
牟礼図書館	CD	2,869	66	11	23	2,923
	DVD	44			6	38
	CD－ROM等	11		6		17
	小計	2,924	66	17	29	2,978
香川図書館	CD	3,318	359	6,537	43	10,171
	ビデオテープ	1		4		5
	カセットテープ	136				136
	DVD	89	115	3,131	1	3,334
	CD－ROM等			48		48
	小計	3,544	474	9,720	44	13,694
国分寺図書館	CD	5,055	45	1	16	5,085
	ビデオテープ	1				1
	DVD	83				83
	CD－ROM等			55	2	53
	小計	5,139	45	56	18	5,222
総計		56,312	672	10,141	12,857	54,268

4　資料利用状況

（1）館外貸出

（単位　冊・点）

区分 / 館別	一般書	児童書	ＡＶ	計	備　考
中央図書館	67,000	32,036	8,999	108,035	開館日数 250 日（一日平均 432 冊）
瓦町サテライト	99,485	31,225	2,484	133,194	開館日数 357 日（一日平均 373 冊）
夢みらい図書館	231,997	272,025	11,653	515,675	開館日数 303 日（一日平均 1,702 冊）
牟礼図書館	112,816	85,280	8,069	206,165	開館日数 298 日（一日平均 692 冊）
香川図書館	161,141	110,941	11,174	283,256	開館日数 299 日（一日平均 947 冊）
国分寺図書館	136,416	113,214	9,532	259,162	開館日数 297 日（一日平均 873 冊）
移動図書館	36,275	34,570	－	70,845	90 ｽﾃｰｼｮﾝ（直島町 2 ｽﾃｰｼｮﾝを含む）
分室	10,698	23,209	－	33,907	46 分室
小計	855,828	702,500	51,911	1,610,239	
電子図書館	11,980	1,863	137	13,980	開館日数 365 日（一日平均 38 冊）
合計	867,808	704,363	52,048	1,624,219	

（2）貸出し冊数の推移

（単位　冊・点）

年度 / 館別	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
中央図書館	985,961	889,501	836,619	780,661	108,035
瓦町サテライト	103,341	94,862	94,547	90,285	133,194
夢みらい図書館	339,833	426,148	427,973	398,163	515,675
牟礼図書館	272,463	246,405	231,683	216,891	206,165
香川図書館	361,814	327,697	311,332	281,773	283,256
国分寺図書館	309,729	289,779	277,319	246,593	259,162
移動図書館	107,039	99,657	91,339	69,172	70,845
分室	24,932	31,661	31,465	32,227	33,907
小計	2,505,112	2,405,710	2,302,277	2,115,765	1,610,239
電子図書館	1,111	10,688	9,517	8,641	13,980
計	2,506,223	2,416,398	2,311,794	2,124,406	1,624,219

（電子図書館の３年度の数字は、４．３．24～４．３．31 分）

（3）利用者登録（令和７年度末累計）　328,920 人

（4）視覚障がい者サービス

郵送貸出		対面朗読
件数（件）	貸出点数（点）	件数（件）
173	324	0

（５）予約数

（単位　件）

区分／館別	一般		児童		計
	所蔵分	購入分	所蔵分	購入分	
中央図書館	38,591	211	9,306	23	48,131
夢みらい図書館	62,338	142	21,885	4	84,369
牟礼図書館	24,790	67	4,825	5	29,687
香川図書館	25,871	157	5,646	2	31,676
国分寺図書館	27,331	64	7,029	2	34,426
瓦町サテライト	44,036	124	7,573	0	51,733
移動図書館	2,776	64	447	4	3,291
電子図書館	3,026		167		3,193
計	228,759	829	56,878	40	286,506

（６）相互貸借件数

（単位　件）

貸出	借受			
	国立国会図書館	県立図書館	その他	計
763	0	369	652	1,021

（７）レファレンス

（単位　件）

区分／館別	資料の所蔵調査	事実調査	読書相談	計
中央図書館	460	4	0	464
夢みらい図書館	3,260	19	15	3,294
牟礼図書館	540	0	76	616
香川図書館	1,851	14	141	2,006
国分寺図書館	1,229	105	133	1,467
瓦町サテライト	384	3	26	413
計	7,724	145	391	8,260

（８）コピーサービス

（単位　枚）

種別／館別	電子コピー（含むカラーコピー）	マイクロフィルムコピー
中央図書館	1,467	51
夢みらい図書館	1,859	－
牟礼図書館	309	－
香川図書館	735	－
国分寺図書館	343	－
瓦町サテライト	286	－
計	4,999	51

５　広報紙の発行

（１）中央図書館一般向け広報紙　　中央図書館休館に伴い、休刊
（２）中央図書館児童向け広報紙　　中央図書館休館に伴い、休刊
（３）夢みらい図書館広報紙　　「ゆめみ通信」　　「こども司書通信」
（４）牟礼図書館広報紙　　「ほんのくに」
（５）香川図書館広報紙　　「ぶくぶくぶっく」
（６）国分寺図書館広報紙　　「図書館だより」　「本だいすき（一般・児童用)」

６　視聴覚ホール貸出状況

７回

７　その他事業

（１）視察・施設見学

ア　サンクリスタル学習　　中央図書館休館に伴い、受入れなし

イ　こども未来館学習

２校（こども未来館学習を実施し、図書館学習を選択した小学校数）
児童 67 人　引率８人　合計 75 人（花園小　豊島小）

ウ　施設見学

（ア）　中央図書館　　休館に伴い、受入れなし
（イ）　夢みらい図書館　　川岡幼　川添幼　中部支援学校　屋島西小
（ウ）　牟礼図書館　　牟礼小
（エ）　香川図書館　　川東小
（オ）　国分寺図書館　　国分寺南部小　国分寺北部小

（２）体験学習受入

ア　中央図書館　　休館に伴い、受入れなし
イ　夢みらい図書館　　玉藻中　太田中　木太中
ウ　牟礼図書館　　古高松中
エ　香川図書館　　香南中　香川第一中　山田中
オ　国分寺図書館　　国分寺中 香東中

（３）ブックスタート事業

健康づくり推進課が実施する４か月児相談時にブックスタートパック（絵本・ブックリスト等）を手渡し、絵本の読み聞かせを行うことにより、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる。

絵本パック渡し数　　2,597 冊（４カ月児相談対象者の 90.9%）

（４）子ども読書まつり

項　　目	開催時期	参加人数	内　　容	場　　所
第２０回子ども読書まつり	R7.11.2	839人	絵本作家講演会・サイン会、おはなし会、点字体験コーナー、ワークショップ（しまっぷをつくろう！、伝承手づくりおもちゃあそび)、読書感想画及び調べる学習コンクール作品展、段ボールであそぼう！等	高松国分寺ホール

（５）ビブリオバトル

項　　目	開催時期	参加人数	内　　容	場　　所
小学生ミニ・ビブリオバトル	R7.12.7	8人	読書離れが進む傾向にある小学生の読書活動を推進するため、対象を小学4年生から小学6年生も加えた知的書評合戦「ミニ・ビブリオバトル2025　高松の陣」を開催	ミライエ1階多目的室
中学生ビブリオバトル	R7.12.7	5人	読書離れが進む傾向にある中学生の読書活動を推進するための中学生による知的書評合戦	ミライエ1階多目的室

Ⅶ　総合教育センター

高松市総合教育センターは、優れた個性と風格を持つ学習文化都市高松の基盤づくりに寄与するため、教育に関する専門的、技術的事項について調査研究や教職員研修等を行い、本市の教育の充実及び振興を図る。

1　概要

名　称：高松市総合教育センター
所在地：高松市末広町５番地
設置年月日：平成 23 年４月１日

2　運営機構

所長１名、所長補佐２名、研修係長１名、特別支援係長１名、不登校支援係長１名、幼児教育係長１名、指導主事６名、主任保育教育士（再任用職員）１名、研修指導員（会計年度任用職員）６名、事務員（会計年度任用職員）３名、事務補助員（会計年度任用職員）１名、特別支援教育指導員（会計年度任用職員）１名、いじめ・不登校相談員（会計年度任用職員）２名

（ＩＣＴ教育推進室）室長１名、室長補佐１名、主査２名、指導主事１名、研修指導員（会計年度任用職員）２名、情報支援員（会計年度任用職員）１名

（教育支援センター）主任指導員（会計年度任用職員）３名、指導員（会計年度任用職員）10 名

3　事業概要

（１）調査研究事業

事　業　名	研　　究　　内　　容
令和の日本型学校教育創造（デジタル学習基盤による授業改善）事業	「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」を踏まえ、ＧＩＧＡ端末等のデジタル基盤の活用を前提とした「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を研究の趣旨とし、大学教員や指導主事及び研修指導員等を指定校に派遣して指定校の実態とニーズに合わせた「伴走型」の支援を行う。その上で、得られた成果について、市内小・中学校への横展開を図る。
幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業	「子どもの学びをつなぐ、持続可能な保こ幼小連携・接続」を本市の研究テーマとし、令和４年度から令和６年度の取組をまとめた冊子「高松っ子の学びをつなぐ Step Guide　Book」を活用しながら、全校区での取組を推進する。
教育の今日的課題に対応するためのスクールリーダー養成研修事業	社会的変化や学校現場の様々な課題に対応するために、教員には、より高い専門性を身に付けることが求められている。令和８年度は、「不登校児童生徒への理解と支援」に係るスクールリーダーの養成に重点を置き、各学校において中核的な役割を担う人材の資質向上を図る。

※　調査研究の成果をホームページ等によって広く紹介し、普及と発展を図る。

（２）教職員研修事業

ア　研修講座・研修会の開催

・教員のキャリアステージに応じて、専門性を高めるための体系的、効果的な研修の実施

・現場の実態やニーズに沿って、必要とされる知識・技能や実践的能力を身に付ける研修

・教員の学びをつなげるための自主研修（放課後ちょいスクール・ちょこっとオンライン）

イ　教員研修受講履歴記録システムPlantの円滑な運用

ウ　教育に関する指導・相談

・初任・１年経験者・新任講師への学校の要請に応じた指導及び相談

・各校の現職教育への指導及び助言

エ　保こ幼教職員研修事業

- 保育所・こども園・幼稚園の教職員のキャリアステージに応じた研修の実施
- 要請訪問等の実施及び指導
- 専門的な知識や技能を身に付け実践に生かす専門研修の実施

（３）教育の情報化推進事業

ア　高松市教育情報通信ネットワークシステム（ＴＥＮＳ）等の運用と維持管理

- センターサーバ及びＴＥＮＳネットワーク整備によるクラウド環境の運用
- 学校におけるＩＣＴ環境の計画的な整備・更新
- フィルタリング機能の充実と安定的なネットワーク運営
- 市内各学校のホームページ更新の支援
- 高松市立学校情報セキュリティ対策基準の遵守と教職員の意識啓発
- 学校用パソコンの運用管理ソフトウェアによるＴＥＮＳパソコンのセキュリティ保持
- ＧＩＧＡスクール構想で整備した一人一台端末の活用支援

イ　教育用コンピュータ整備事業

- 令和７年度に、小学校 170 台、中学校 62 台の教育用コンピュータを更新

ウ　教員（校務）用コンピュータ整備事業

- 令和７年度に、小学校 395 台、中学校 175 台を更新

エ　中学校の特別教室への電子黒板整備事業

- 令和７年度に、中学校の特別教室に電子黒板 132 台を導入

オ　ＩＣＴの積極的な活用支援

- ＩＣＴ支援員派遣による現場支援
- 校務支援システム・グループウェアの運用による教職員の負担軽減
- 研修におけるＴＥＮＳ取扱責任者の基礎スキルの向上や授業でのＩＣＴ活用事例の紹介
- ＩＣＴ活用研修会（訪問型・集合型・オンライン型）等の実施により、日常的なＩＣＴ活用を促進

カ　情報教育の推進支援事業

・　情報活用の実践力を育成するため、授業におけるＩＣＴ機器の適切かつ積極的な活用を図る

・　「第２期高松市ＩＣＴ教育推進計画」の進行管理

キ　情報モラル等指導支援事業

・　教員を対象とした情報モラル教育研修の実施

・　関係機関と連携した啓発・広報活動

（４）不登校対策事業

ア　教育支援センター「新塩屋町　虹の部屋」「みなみ」の運営

・　不登校児童生徒の心の居場所を提供し、学校や集団生活への適応や社会的自立に向けた支援

・　「個別懇談会」や「親の会」等教育相談活動の実施

・　在籍校との連絡会及び事例検討会の実施

教 室 名	住　　所	電話番号
新塩屋町　虹の部屋 （ないろ、しずく）	高松市末広町 5 番地	087-851-2011
み な み	高松市出作町 348 番地 6	087-889-8900

イ　不登校児童生徒や保護者の支援

・　ＩＣＴを活用した学習支援システムによる不登校児童生徒の支援

・　カウンセラーによる教育相談（来所相談、電話相談、訪問相談）

ウ　各種研修会等の実施

・　教育相談及び不登校に関する研修講座の実施

・　教員、保護者、関係機関等の連携を図る「てくてくの会」（旧不登校を考える会）の開催

・　不登校児童生徒対応マニュアル「高松市不登校Ｑ＆Ａ」（教職員用）や「子どもが学校に行きたくないと言ったら」（保護者用）の発行

（５）特別支援教育推進事業

ア　就学指導

・　就学等教育相談会の開催

・　特別支援教育相談の実施

・　教育支援委員会の開催

イ　特別支援教育の推進

・　巡回相談、連携訪問、専門家チームの派遣

・　各種研修会の開催

・　高松地域連携協議会(年１回)の開催

・　幼稚園・こども園・学校訪問の実施

ウ　検査用具等の貸出し

・　検査用具の貸出し、検査用紙の配布、ボッチャ用具の貸出し

・　教科書(文部科学省著作本)展示・貸出し

エ　通級指導に係るサテライト教室の設置

・　高松第一中学校通級指導教室のサテライト教室を高松市総合教育センターに、高松市立龍雲中学校通級指導教室のサテライト教室を教育支援センター「みなみ」に設置

オ　アシスト教室の設置

・　高松市総合教育センター及び教育支援センター「みなみ」内に、短期個別指導を行うアシスト教室を設置

カ　医療的ケア児支援事業

・　医療的ケア児が在籍する学校等に訪問看護師が巡回し、必要な医療的ケアを実施

・　医療的ケアに関するガイドラインの改訂など、実施体制の整備

（６）広報事業

ア　主な刊行物

・　「総合教育センター要覧」、「教育支援センター要覧」、「総合教育センターだより」「教育支援センターだより」

イ　Ｗｅｂページの公開

・　高松市総合教育センター　　http://www.edu-tens.net/kyouikuken/

・　高松市教育支援センター　　http://www.edu-tens.net/ksc/

（７）委託事業

ア　高松教科書センターの管理と運営

・　文部科学省検定済教科書の展示会の開催

・　文部科学省検定済教科書の閲覧・貸出

Ⅷ　少年育成センター

少年非行の早期発見・早期指導を図るため、補導、相談、環境浄化、広報啓発等の活動を行うとともに、高松市青少年健全育成市民会議と連携し、地域で子どもを見守り育てる活動を推進する。また、近年、全国的な傾向として、インターネット利用の低年齢化が進みトラブルが多発していることや、不審者に関する情報も年々増加していることから、課題解決に向けて、学校、地域、警察・大学関係者等の関係機関・団体と連携・協力して子どもの安全対策に取り組む。

１　概要

名　称：高松市少年育成センター

所在地：高松市番町一丁目８番15号（高松市役所本庁舎10階）

２　運営機構

所長１名、所長補佐１名、補導係９名（うち専門指導員５名、一般事務補助員２名）

３　令和８年度の主要施策

（１）補導活動による非行の未然防止

（２）相談活動による子ども支援

（３）環境浄化活動による有害図書等の駆逐

（４）不審者対策を通した子どもの安全確保

ア　不審者情報の提供

イ　子ども安全パトロール

ウ　スクールガード・リーダー派遣

エ　学生防犯ボランティア団体と地域の健全育成団体の連携による「ながら見守り」の推進

（５）万引き防止活動を通した万引きに係る市民意識の高揚

（６）情報モラル啓発事業による情報モラルの醸成

ア　未就学児の保護者向け「安全・安心なネット利用」講座の開催

イ　スマート・メディア事業

（７）若者の社会参画推進事業

ア　学生防犯ボランティア団体と地域の連携（再掲）

イ　香川大学サイバー防犯ボランティアSETOKUによる「インターネットセキュリティ教室」

ウ　香川大学さぬき再犯防止プロジェクトＰＲＯＳ（再犯防止の取組をしているボランティア団体）との連携事業を検討

４　令和７年度活動状況

（１）補導状況（補導活動）

ア　補導回数　　延べ 1,590 回（昨年度　1,484 回）

イ　補導従事者数　　延べ 3,950 人（昨年度　3,706 人）

ウ　令和７年度補導人数（高松市少年育成委員・高松市少年育成センター）

（ア）補導集計　　（単位　件）

学職等 / 行為	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生等	有　職	無　職	不　明	合　計
道交法違反	0	4	17	7	0	0	1	0	29
窃盗	0	0	0	0	0	0	0	0	0
喫　煙	0	0	0	5	4	1	0	0	10
危険行為	0	13	5	17	0	0	0	0	35
暴走行為	0	0	0	0	0	17	0	0	17
不健全娯楽	0	0	0	1	0	0	0	0	1
怠学怠業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
校則違反	0	0	2	3	0	0	0	0	5
たむろ	0	0	3	3	0	5	0	0	11
帰宅促し	0	9	16	58	0	0	0	0	83
迷惑行為	0	0	0	11	0	0	2	0	13
その他	0	2	0	6	0	0	0	0	8
合　計	0	28	43	111	4	23	3	0	212

（２）少年相談受理状況（相談活動）

ア　相談者別相談件数　　（単位　件）

相談者	本　人	両　親	父	母	祖父母	その他	計
件　数	1	0	0	4	0	2	7

イ　学職別相談件数　　（単位　件）

相談対象者	児童・生徒等					少年（有職・無職）一般	不明	計
	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生等			
件　数	0	1	2	0	3	1	0	7

ウ　形態別相談件数　　（単位　件）

相談者	一般電話	来所	訪問	計
件　数	5	2	0	7

※　児童・生徒が悩み始めた時期の初期相談として、気軽に何でも相談ができるよう、子ども相談電話「こどもスマイルテレホン」を平成５年 11 月１日から開設していたが、令和７年３月 31 日で終了した。なお、引き続き、一般電話での相談や来所相談は実施している。

（３）環境浄化活動

悪書追放運動の一環として、市内の 13 か所に配置した白ポストによる図書の回収を実施した。

また、平成28年３月に香川支所、牟礼支所に白ポストを増設した（令和７年度回収点数2,271点）。

（４）子どもの安全確保活動

ア　不審者情報の提供

平成17年５月２日から、不審者情報メール配信を開始し、地域・校区で子どもを見守り育てる活動に当たる関係団体や関係機関を対象に、配信先の拡大を図り、情報の共有化を推進している。

また、18年11月13日からは、高松市ＰＴＡ連絡協議会のメール配信システムにも連結し、登録する保護者に提供している。さらに、19年１月12日からは、香川県警察子ども安全安心ネットワークに参画し、事務局（県警察本部生活安全部生活安全企画課）に情報を提供するとともに、各市町の情報を得ている。

なお、令和元年度からは、システムを一新し、ＰＴＡ連絡協議会メール連絡網システムである、ミッタシステムから配信している。

イ　子ども安全パトロール

青色回転灯を装着した広報車３台により、安全パトロールを計画的に実施し、子どもの安全確保に努めている。

令和６年度に青色防犯パトロールカーでの補導活動時に放送する啓発音声アナウンスを、高松第一高等学校放送部に再依頼し、更新してもらい、地域の見守り活動においても活用できるよう、データ編集して各地域の団体へ貸出できるようにした。

ウ　スクールガード・リーダー派遣

防犯の専門家である警察官ＯＢをスクールガード・リーダーとして市内の小学校等に派遣し、登下校時を中心とした巡視活動、通学路や校区における危険箇所の指摘やその改善に対する助言、不審者対応、避難訓練の指導・助言、地域の学校安全ボランティアの指導などを行い、地域社会全体で子どもを見守る活動を推進している。（令和７年度：976回、延べ2,900時間派遣）

エ　学生防犯ボランティア団体と地域の連携

学生ボランティア団体と、地域の見守り活動や巡視活動をしている市民会議の地域団体とをつないで、「ながら見守り」を全市域で展開するための連携活動を事業化し、香川大学防犯パトロール隊による「防犯アプリ活用教室」を実施する。（令和７年度：３回実施）

（５）万引き防止活動

ア　保護者への啓発

万引き防止のより効果的な啓発に取り組むため、児童・保護者啓発用リーフレットを改訂し、市立小学校の児童・保護者に配布している。

イ　地域での啓発

香川県が定める７月と８月の「夏の青少年被害・非行防止県民運動期間」に合わせ、少年育成委員及び地域の健全育成団体等の協力を得ながら、地域の量販店、スーパーマーケット、コンビニ等の店頭で万引き防止啓発用の物品を配布し、市内一斉の万引き防止キャンペーンを実施している。

（６）情報モラル教育推進事業

ア　未就学児の保護者向け「安全・安心なネット利用」講座の開催による保護者への啓発

令和２年度から、インターネット利用の低年齢化に対応すべく、市立幼稚園、こども園の保護者を対象に、安心・安全なネットの利用について講話を開催（令和７年度：４幼稚園、１こども園、14 小学校、延べ 19 回実施）。

なお、幼稚園・こども園におけるニーズの高さを受け、より多くの保護者に確実に受講してもらうための方策（小学校における就学時健康診断や入学周知会での開催を校長研修会で周知・依頼）を講じ、さらに、私立の幼稚園、こども園、市立の保育所へも案内し、事業の拡充を図っている。

イ　スマート・メディア事業

市内の小・中学生を対象に、各校・各家庭の実態に応じて、積極的な情報機器の活用を前提として、情報機器（スマートフォン、タブレット、ゲーム機など）を賢く（スマートに）利用・活用するために、「スマート・メディアデー（ウィーク）」を設定し、生活習慣の見直しや家族の時間の確保に努め、ネット依存の防止や自己管理能力の育成とともに温かい家庭づくりにつなげる。

また、７月と８月の「夏の青少年被害・非行防止県民運動期間」に合わせ、７月を中心に地域での啓発活動として、万引き防止、スマート・メディアキャンペーンを実施する。

（７）若者の社会参画推進事業

ア　学生防犯ボランティア団体と地域の連携（再掲）

イ　香川大学サイバー防犯ボランティア SETOKU による「インターネットセキュリティ教室」

情報モラルに関する「インターネットセキュリティ教室」を市立小学校３年生を対象に実施するために、学校や教育委員会と教材開発、授業実施に向けた打合せ等を行うことで、若者の社会参画を推進する。（令和７年度：４校で実施）

５　関係団体

高松市青少年健全育成市民会議、香川県少年育成センター連絡協議会

Ⅸ　生涯学習センター

生涯学習に係る機会の総合的かつ効果的な提供を促進し、市民の生涯学習の振興に努める。

1　施設等の概要

名　称	所 在 地	延床面積(㎡)	開館時間	開館日
生涯学習センター 愛称：まなびＣＡＮ	高松市片原町 11 番地 1 （むうぶ片原町ビル内）	3,186.24	午前 9 時～午後 10 時 （ただし、日曜日及び休日は午後 5 時まで）	H14.5.1

※　休 館 日：毎週月曜日（その日が休日の場合はその後の最も近い休日でない日）
　　年末年始（12 月 29 日～１月３日）

（1）館内施設の規模と用途

館内施設	面積(㎡)	定　員(人)	主な用途
多目的ホール	301	220	会議・講演・イベント・軽スポーツ等
大研修室	224	90	会議・講演・研修等
小研修室	84	42	会議・講演・研修等
和室	18 畳	24	茶華道・会議等
ＯＡ実習室	91	20	ＯＡ実習
実習室	90	32	七宝焼・絵画・パッチワーク等
音楽室	90	16	音楽練習・録音
視聴覚室	84	42	視聴覚学習等
市民ギャラリー	66	－	展示用

2　運営機構

館長１人、副館長１人、副館長補佐１人、業務係長１人、業務係３人、会計年度任用職員９人（うち２人は夜間管理人）

3　事業概要

（1）生涯学習カレッジ

ア　一般講座

少子高齢化や情報化、環境問題などの現代的課題を中心に、個人生活に役立つ講座や社会生活に役立つ講座、施設の設備・機能を利用して楽しく学べる講座を開催する。

イ　専門講座（大学公開講座）

大学等と連携して、情報化や社会経済の進展に伴う新しい知識の習得を図るほか、より高度な学習機会を提供することを目的として、専門的な学習講座を開催する。

（２）生涯学習推進事業

ア　まなびＣＡＮ・子ども教室事業

小・中学生を対象とした講座をボランティアで開催する講師を公募し、生涯学習センターの施設を有効に活用して講座を開催する。

イ　センター利用促進事業

生涯学習センターに親しんでもらうため、市民の参加しやすい講座や映画上映会等を開催する。

ウ　商店街との連携事業

中心市街地の活性化を図るため、生涯学習の分野における商店街の持つノウハウを学習する講座を開催する。

エ　学習成果発表の場事業

市民や市民グループの多様な学習活動を支援するため、市民や市民グループに学習成果を生かす場を提供する。

オ　展示事業（市民ギャラリー・エントランスホール活用事業）

市民から公募した作品等を公開展示するほか、コミュニティセンターでの各種講座・同好会活動における学習の成果（作品）の発表の場を提供する。

カ　他団体との共催事業等

関係機関等と連携した講座を開催し、その活動の活性化を図るとともに、生涯学習の総合的かつ効果的な推進に努める。

キ　企業等との連携事業（まなびＣＡＮ・ＣＳＲ教室）

地元企業や個人事業者と連携した講座を開催し、生涯学習の観点から社会貢献（ＣＳＲ）を推進する。

ク　コミュニティセンターとの連携事業

地域との連携を深めるため、コミュニティセンターで活躍する講師を招いて講座を開催し、ふるさとの魅力を学ぶ。

ケ　庁内各課との連携事業

市の各課と連携した講座を開催し、市民の市政への参画意識の高揚や魅力と活力あふれるまちづくりの推進に努める。

コ　夜間教室

義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人などを対象に、義務教育課程の学習内容に関する学び直しの機会を提供する。

サ　他施設との連携事業

市の社会教育施設などと連携して、より効果的な事業展開を図ることにより、講座への市民の参加や利用を促進する。

シ　市政まなび講座事業

庁内の各課から案件を募集し、本市の施策について学べる講座を開催し、市民が市政について気軽

に学べる機会を提供する。

ス　まなびＣＡＮインターネット塾事業

まなびＣＡＮで開催した講座の概要を、まなびＣＡＮのホームページ上で公開し、市民の多様な学習意欲に応える。

（３）市民参画促進事業

ア　生涯学習スタッフ養成講座（生涯学習コーディネーター養成講座）

地域の生涯学習を推進するコミュニティセンター職員等のスキルアップを図るとともに、各地域の生涯学習関連施設において、生涯学習を推進・援助するスタッフ（人材）の養成に努める。

（４）コミュニティセンターにおける生涯学習事業

ア　コミュニティセンター講座等

地域住民の多様化する学習要求に応えるため、コミュニティセンター講座等の各種講座を開設し、「地域の特色ある学習活動」を推進するなど、地域住民の自主活動の促進を図り、生活課題や地域課題を解決する場として学習機会の提供・充実に努める。

また、子どもたちに豊かな体験学習や地域との交流を深めるための各種講座を開催する。特に、「まなびの場づくり」事業については、当初、いわゆる５教科に係る講座に限定していたが、地域からの意見等も踏まえ、ふるさとの史跡探訪や地域の自然の調査・観察など、各コミュニティセンターで地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施する。

イ　現代的課題への対応

地域における青少年健全育成や学習活動を通して世代間交流の促進に努めるほか、環境問題を始め、人権学習、家庭教育、ボランティア等現代的課題について、各コミュニティセンターで積極的に取り組む。

ウ　ブロック学習圏での活動

コミュニティセンターに 7 つのブロック学習圏を設定し、コミュニティセンター相互の連携と職員相互のコミュニケーションを図るとともに、ブロック会を開催して生涯学習センター等との連絡やブロックごとの講座開設、施設の運営上の諸問題解決などに取り組む。

X　文　　化　　財

市内に所在する文化財の保存・管理に努める一方、必要な調査を実施し文化財指定を促進するとともに、無形民俗文化財などの伝承活動の支援を行う。

また、歴史資料館、石の民俗資料館、香南歴史民俗郷土館、讃岐国分寺跡資料館、菊池寛記念館などでの展示や、本市にゆかりのある文化財を学ぶ「市民文化財教室」や「親子文化財教室」をはじめ、「歴史資料館講座」、「文芸講座」などを通じて市民が郷土の文化財や歴史・文学に触れる機会を提供し、郷土高松についての関心と理解を深める。併せて、高松に関する情報を市内・県内はもとより、全国に発信する。

1　文化財の保護

（1）国指定史跡等の保存・整備

重要文化財披雲閣大書院耐震補強工事

鶴尾神社４号墳崖面補強工事

（2）文化財の調査

緊急調査としては、道路建設などの公共及び民間開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を行う。また、公共及び民間の開発行為に伴う埋蔵文化財試掘及び立会調査を行い、調査報告書を刊行するとともに、これら報告書を図書館や研究機関等へ配付することにより、埋蔵文化財の記録情報を広く共有化する。

（3）文化財の指定及び登録

文化財の調査を進め、重要なものについては、高松市文化財保護審議会に諮問し、市指定や市登録に努める。また、特に重要なものについては、国及び県指定を目指す。

ア　市内所在国・県・市指定及び登録文化財件数表　　（８．４．１現在）

種別		指定区分				登録区分			
		国	県	市	計	国	県	市	計
有形文化財	建造物	10	4	6	20	116	0	0	116
	絵画	3	3	2	8	0	0	0	0
	彫刻	8	6	2	16	0	0	0	0
	工芸品	8	8	12	28	0	0	0	0
	書跡・典籍	7	0	7	14	0	0	0	0
	古文書	2	0	1	3	0	0	0	0
	考古資料	0	1	8	9	0	0	0	0
	歴史資料	0	0	4	4	0	0	1	1
	小　計	38	22	42	102	116	0	1	117
無形文化財		2	4	1	7	0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗	6	5	4	15	1	0	0	1
	無形民俗	0	4	6	10	0	0	0	0
記念物	史跡（特別史跡含む）	9	3	13	25	0	0	11	11
	名勝（特別名勝含む）	2	1	0	3	1	0	0	1
	天然記念物	1	5	6	12	0	0	0	0
	小　計	12	9	19	40	1	0	11	12
合　計		58	44	72	174	118	0	12	130

※ 無形文化財数は、保持者又は保持団体の数とした。

イ　国指定文化財一覧表

（８．４．１現在）

種別		名称及び所在地
重要文化財	建造物	国分寺本堂、高松城 北之丸月見櫓・北之丸渡櫓・北之丸水手御門・旧東之丸艮櫓、屋島寺本堂、小比賀家住宅 主屋・午門・土蔵・米蔵 附土塀（御厩町）、旧河野家住宅、旧下木家住宅（2件とも四国村）、披雲閣 本館・本館付倉庫・倉庫 附裏門・井戸屋形・袖塀 2 棟・四阿 2 棟（玉藻公園）、香川県庁舎旧本館及び東館 附石灯籠 3 基・太鼓橋１基・家具 57 点・旧本館バルコニー手摺１基、瀬戸内海歴史民俗資料館 附石積擁壁四所・図面 108 枚、男木島灯台 灯台・旧吏員退息所・旧第一物置
	絵画	絹本著色十王像、絹本著色観世音功徳図屏風、紙本金地著色源氏物語図（若菜、紅葉賀）屏風（3件とも法然寺）
	彫刻	木造千手観音立像（国分寺）、木造不動明王立像（弘憲寺）、木造四天王立像（鷲峰寺）、木造毘沙門天立像（香西寺）、木造千手観音坐像（屋島寺）、木造千手観音立像（根香寺）、木造菩薩立像（正花寺）、板彫阿弥陀曼荼羅（開法寺）
	工芸品	太刀 銘 元重（県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、銅鐘（国分寺）、密教法具（弘憲寺）、田村神社古神宝類（市歴史資料館）、太刀 銘 兼氏（個人蔵）、梵鐘（屋島寺）、短刀 銘 國吉（個人蔵）、刀 折返銘 備州長船景光（個人蔵）
	書跡・典籍	藤原佐理筆詩懐紙＊国宝、紙本墨書月江正印墨蹟印可状、紙本墨書清拙正澄墨蹟平心字号、光厳院宸翰御奉納心経、法華経（5 件とも県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、万葉集巻第十五残巻 天治本（冠纓神社）、古今和歌集巻下（個人蔵）
	古文書	紙本墨書花園天皇宸翰御消息（県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、後深草天皇宸翰御消息（法然寺）
重要無形文化財(工芸技術)		蒟醤（保持者：山下義人、大谷早人）
重要有形民俗文化財		瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具、瀬戸内海の船図及び船大工用具、西日本の背負い運搬具コレクション（3 件とも瀬戸内海歴史民俗資料館）、讃岐及び周辺地域の砂糖製造用具と砂糖しめ小屋・釜屋、讃岐及び周辺地域の醤油醸造用具と醤油蔵・麹室（2 件とも四国村）、牟礼・庵治の石工用具（石の民俗資料館）
記念物	史跡	讃岐国分寺跡＊特別史跡、府中山内瓦窯跡、讃岐国分尼寺跡、石清尾山古墳群、屋島、高松城跡、讃岐遍路道－根香寺道 根香寺境内－、高松藩主松平家墓所(法然寺) 、勝賀城跡（鬼無町ほか）
	名勝	栗林公園＊特別名勝、披雲閣庭園
	天然記念物	屋島

ウ　国登録文化財一覧表

（８．４．１現在）

種別		名称及び所在地
有形文化財	建造物	旧御殿水源地 喞筒場など 6 件、四国村 異人館ワサ・ダウン住宅など 27 件、郷屋敷（旧井上家住宅）主屋など 15 件、山田屋（旧清酒源氏正宗醸造元）主屋など 8 件、村尾家住宅 主屋など 6 件、天満屋呉服店 主屋など 2 件、香龍北川家住宅 主屋など 2 件、愛染家住宅 主屋など 4 件、田中家住宅 主屋など 2 件、中村家住宅 主屋など 2 件、料亭二蝶 主屋など 4 件、間島家住宅 主屋など５件、谷本家住宅 主屋１件、滝口家住宅 主屋１件、増井家住宅 主屋など 3 件、宮處八幡宮 本殿など 4 件、真鍋家住宅 主屋など 9 件、本堯寺松平頼該霊廟、森家住宅 納屋など 2 件、漆原家住宅 主屋など 8 件、旧南原家住宅 主屋など 4 件　合計 116 件
民俗文化財	有形民俗	讃岐六条の水車及び関連用具
記念物	名勝	増井氏庭園

エ　県指定文化財一覧表

（８．４．１現在）

種別		名称及び所在地
有形文化財	建造物	旧入江家住宅（牟礼町）、旧山下家住宅、旧黒瀬家丸亀藩御用蔵、旧丸亀藩番所 附境界標柱（3件とも四国村）
	絵画	紙本著色高松城下図八曲屏風、高松松平家博物図譜、渡舟 小林萬吾筆（3 件とも県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）
	彫刻	木造地蔵菩薩立像（弘憲寺）、木造五大尊像、木造智証大師坐像（2 件とも根香寺）、金銅誕生釈迦仏立像（県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、木造阿弥陀如来坐像、木造釈迦如来坐像、木造弥勒菩薩坐像（3 躯で１件、法然寺）、木造六字明王立像（円成庵）
	工芸品	銅鐘（法泉寺）、青貝微塵塗鞘および大小拵、蒟醤料紙箱及び硯箱、堆朱鼓箱、一角印籠 玉楮象谷作 附木製箱 天保十年己亥仲秋玉楮正直謹製墨書、堆黒松ヶ浦香合　玉楮象谷作（5 件とも県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、刀 無銘 伝江義弘（市歴史資料館）、刀 銘 龍藻軒多田鷹成（個人蔵）
	考古資料	平形銅剣 高瀬町北条出土（県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）
無形文化財(工芸技術)		蒟醤（保持者：伊賀寛泰、太田勝子）、彫漆（保持者：北岡省三）、螺鈿(きゅうしつ)（保持者：竹内幸司）

有形民俗文化財		香翠座人形頭（香翠座デコ芝居保存会）、ひょうげ祭りの神具（ひょうげ祭り保存会）、冠纓神社の大獅子（香南町）、高松藩飛竜丸船明細切絵図（県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、栗島伊勢神宮奉納舟絵馬（瀬戸内海歴史民俗資料館）
種　　別		名　　称　及び　所　在　地
無形民俗文化財		祇園座（香川町農村歌舞伎保存会）、庵治締太鼓（庵治締太鼓保存会）、香翠座デコ芝居（香翠座デコ芝居保存会）、庵治の船祭り（庵治皇子神社船渡御保存会）
記念物	史跡	生駒親正夫妻墓所（弘憲寺）、今岡古墳（鬼無町）、高松市茶臼山古墳（前田西町ほか）
	名勝	小比賀家築山庭園（御厩町）
	天然記念物	船山神社のクス（仏生山町）、ソテツの岡、根上りカシ（2 件とも栗林公園）、一瀬神社社叢（中山町）、岩部八幡神社のイチョウ（塩江町）

オ　市指定文化財一覧表

（８．４．１現在）

種　　別		名　　称　及び　所　在　地
有形文化財	建造物	国分寺北部小学校校門（国分寺町）、旧中石家住宅 主屋・隠居屋・納屋、小豆島の農村歌舞伎舞台、茶堂、旧吉野家住宅（4 件とも四国村）、旧新塩屋町小学校門柱（末広町）
	絵画	生駒親正肖像画（弘憲寺）、紙本墨画淡彩玉蘭精舎祝宴図屏風（市歴史資料館）
	彫刻	金銅誕生釈迦仏立像（西方寺）、木造阿弥陀如来立像（観興寺）
	工芸品	摩尼輪塔（国分寺町）、脇差 銘 讃州住盈永、仏餉茶碗（2 件とも県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、鰐口（個人蔵）、藤尾八幡神社奉納鏡（西植田町）、本小札肩白紺糸縅具足・二方白四十八間筋兜、刀 銘 讃州住盈永 附盈永文書、剣 銘 則國（3 件とも市歴史資料館）、狭貫彫堆黒松ヶ浦香合（忘貝香合）隠し彫「松」「波」「天」、堆朱篳篥筥、讃岐彫堆朱手向山香盒、彩色蒟醤水指棚（4 件とも市美術館）
	書跡・典籍	徳川家綱安堵判物案、永井尚庸・小笠原長頼連署奉書、松平頼重筆 和歌幅、松平頼重 短冊屏風（4 件とも県立ﾐｭｰｼﾞｱﾑ）、生駒家時代讃岐高松城屋敷割図 附同引伸図、讃岐国一宮田村大社壁書（2 件とも市歴史資料館）、大般若波羅蜜多経（願成寺）
	古文書	由佐家文書（香南歴史民俗郷土館）
	考古資料	楠尾神社経塚出土遺物（楠尾神社）、石船石棺（国分寺町）、御城俊禅蒐集古瓦（洲崎寺）、大空遺跡出土弥生土器 53 点、鶴尾神社４号墳出土獣帯方格規矩四神鏡（2 件とも市歴史資料館）、天満・宮西遺跡出土銅鐸、相作馬塚古墳竪穴式石室出土品（2 件とも市埋蔵文化財センター）、伝香川町浅野出土石棺（香川町）
	歴史資料	山内村史、讃岐国絵図、高松城天守鯱（3 件とも市歴史資料館）、玉楮象谷関連資料（市美術館）
無形文化財		水任流泳法（水任流保存会）
有形民俗文化財		清水神社の甕塚と上御塩跡（由良町）、祇園座衣装（香川町）、住吉神社お船「住吉丸」（「弁才船」の模型）、才田獅子頭（2 件とも庵治町）
無形民俗文化財		庵治おどり、庵治町才田岩陰獅子舞（2 件とも庵治町）、石切り唄、田井の子供神相撲（2 件とも牟礼町）、ひょうげ祭り（香川町）、椛川たたら踊り（塩江町）
記念物	史跡	石ヶ鼻古墳（国分寺町）、久本古墳（新田町）、大井戸（瓦町）、前田城跡（前田西町）、下司廃寺塔跡（東植田町）、藤尾城跡（香西本町）、十河城跡（十川東町）、古宮古墳（鬼無町）、片山池１号窯跡（西春日町）、神内家墓地石塔群（西植田町）、東赤坂古墳、横岡山古墳（2 件とも香川町）、三谷石舟古墳（三谷町）
	天然記念物	大石さんのムクノキ（西山崎町）、男木島の柱状節理および岩海（男木町）、女木島の柱状節理（女木町）、平石井神社のクロガネモチ（今里町）、如意輪寺のヤブツバキ（国分寺町）、西方寺配水池のソメイヨシノ（西宝町）

カ　市登録文化財一覧表

（８．４．１現在）

種　　別		名　　称　及び　所　在　地
有形文化財	歴史資料	文明塾扁額（国分寺町）
記念物	史跡	城所山 2 号墳（香南町）、佐藤継信の墓、総門、射落畠、祈り岩、駒立岩、長刀泉、菜切地蔵、弁慶の投げ石、柴野栗山宅址、六萬寺 附杉の井（10 件とも牟礼町）

※長い名称は一部省略した。また、文化財の所在地は、個人情報保護の観点等から最小限の表記にとどめた。

（４）文化財の保存・管理

- 指定文化財の保存・管理
- 史跡天然記念物屋島の管理
- 特別史跡讃岐国分寺跡及び史跡讃岐国分尼寺跡の管理
- 史跡高松城跡の管理
- 文化財保存修理、管理及び保存伝承活動等に要する経費の一部助成

（５）文化財の公開・活用

- 「ふるさと探訪」（史跡等探訪行事）の実施（年４回）
- 「市民文化財教室」（文化財学習会）の実施（年１回４連載）
- 「親子文化財教室」（体験型歴史・民俗・伝統文化学習会）の実施（年２回）
- 遺跡発掘現場等における現地説明会の実施（随時）

（６）文化財関係資料、パンフレットの作成・配布

- 「むかしの高松」、「屋嶋城」、「石清尾山古墳群」、「讃岐国分寺跡」等のパンフレット
- 埋蔵文化財調査報告書
- 文化財紹介冊子「高松市の文化財」
- 図録「史跡高松城跡」
- 読本「史跡天然記念物屋島」

（７）埋蔵文化財センター事業

- 体験学習、出前講座の実施
- 市内で実施した主要な調査成果や最新の調査成果を展示
- 写真資料、報告書等の整理・保管
- 出土遺物の整理・保存

2　歴史資料館

歴史資料館は本市の歴史、考古、民俗等に関する市民の知識及び教養の向上と市民文化の発展に寄与することを目的に平成４年 11 月３日開館、各種展示・教育普及事業等を実施している。

18 年１月 10 日の近隣５町との合併により、３館が新しく加わった。石の民俗資料館は石と人間の文化との係わりの歴史に、香南歴史民俗郷土館は市南部地域の歴史や民俗に、讃岐国分寺跡資料館は特別史跡讃岐国分寺跡のガイダンス施設として歴史的意義を後世に伝えていくことなどにそれぞれ重点をおき、「４館で１館」との共通理念のもと特色を持った館運営を行っている。

なお、歴史資料館は、サンクリスタル高松のリニューアル工事に伴い、令和７年５月７日より９年秋頃まで休館中である。

（１）施設等の概要

名　称	所 在 地	延床面積（㎡）	開館時間	開館日
高 松 市 歴 史 資 料 館（令和７年５月７日より９年秋頃まで休館）	高松市昭和町一丁目２番20号（サンクリスタル高松４階）	1,925	午前９時～午後５時	H4.11.3
高 松 市 石 の 民 俗 資 料 館	高松市牟礼町牟礼 1810 番地	1,709.86		H7.3.20
高松市香南歴史民俗郷土館	高松市香南町由佐 253 番地１	1,144.30		H10.5.3
高松市讃岐国分寺跡資料館	高松市国分寺町国分2177 番地1	288	午前９時～午後４時30分	H5.9.4

※　休館日：毎週月曜日（その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日）
　　年 末 年 始（12 月 29 日から１月３日まで）

（２）運営機構

（８．４．１現在）

歴　史　資　料　館　　館長１名（再任用）、課長補佐兼業務係長１名、係員７名（含会計年度任用職員５名）

石 の 民 俗 資 料 館　　館長１名、係員５名（含会計年度任用職員４名）

香南歴史民俗郷土館　　館長１名、係員４名（含会計年度任用職員４名）

讃岐国分寺跡資料館　　館長１名、係員３名（含会計年度任用職員２名）

（３）事業概要

ア　常設展示

施　設	内　容	観覧料
歴　史　資　料　館（令和７年５月７日より９年秋頃まで休館）	展示リニューアルに向けて、原始・古代から現代に至る高松の歴史を実物資料・模型・レプリカ・グラフィック・映像等を使用した新たな展示内容の構築を進める。	一般　300 円 大学生　200 円 高校生以下無料 （20 人以上の団体は２割引）
石 の 民 俗 資 料 館	最高級石材「庵治石」の産地であり、石工たちが培ってきた知恵と技術を後世に継承することをメインテーマに、石の文化と歴史を映像とジオラマ、実物資料等により展示・解説。	一般　300 円 大学生　200 円 高校生以下無料 （20 人以上の団体は２割引）

施　　設	内　　容	観覧料
香南歴史民俗郷土館	在野の儒学者・中山城山に関する資料、由佐家文書など歴史・考古に関する資料を展示・解説。 また、水車などの民具を展示した民俗展示室も併設。	常設展・企画展は無料 （特別企画展示のみ 一般　　300 円 大学生　　200 円 高校生以下無料） （20 人以上の団体は 2 割引）
讃岐国分寺跡資料館	讃岐国分寺が造られた頃の文化・歴史を発掘調査で出土した瓦・土器を中心に、レプリカ、映像資料等により展示・解説。 国分寺金堂模型（1／20 縮尺）も展示。	一般　　200 円 大学生　　150 円 高校生以下無料 （20 人以上の団体は 2 割引）

イ　収蔵品展及び企画展

施　　設	展覧会名	内　　容	開催期間
歴史資料館	出張！パネル展示 「写真でみる　ちょっとむかしの高松」	高松市生涯学習センターまなびＣＡＮにて、昭和時代の高松の景観のパネルを展示する。	R8.8.5 ～R8.8.16
		高松市立みんなの病院にて、昭和時代の高松の景観のパネルを展示する。	R8.11.10 ～R8.11.26
		高松市生涯学習センターまなびＣＡＮにて、昭和時代の高松の景観のパネルを展示する。	R8.12.2 ～R8.12.13
		市民交流プラザＩＫＯＤＥ瓦町にて、昭和時代の高松の景観のパネルを展示する。	R9.1.9 ～R9.1.13
		高松市美術館にて、昭和時代の高松の景観のパネルを展示する。	R9.2.20 ～R9.3.7
	出張！パネル展示 「しりたい！いきたい！高松と古墳」	高松市生涯学習センターまなびＣＡＮにて、高松市の古墳を紹介するパネル展示を行う。	R8.11.11 ～R8.11.23
		高松市生涯学習センターまなびＣＡＮにて、高松市の古墳を紹介するパネル展示を行う。	R9.2.3 ～R9.2.14
		市民交流プラザＩＫＯＤＥ瓦町にて、高松市の古墳を紹介するパネル展示を行う。	R9.3.6 ～R9.3.10
		香川県立図書館にて、高松市の古墳を紹介するパネル展示を行う。	R9.3.16 ～R9.4.11

施　　設	展覧会名	内　　容	開催期間
石の民俗資料館	書家　安部杏邨－書と功績－展	安部杏邨氏の作品と関連資料を展示し、書を通した幅広い活躍による功績を紹介する。	R8.4.25 ～R8.5.24
	石とともに歩んだ時代―旧石器時代から現代まで―	石の歴史への関心を高めてもらうため、各時代の石の多彩な姿や役割、加工技術の変遷を紹介する。	R8.7.18 ～R8.8.23
	香川県民の日創設記念　石の里の匠たち Vol.4 テーマ「海」 （同時開催）西巻一彦石彫展「海の仲間たち」	最高級石材「庵治石」の産地として知られる牟礼町・庵治町に在住する、石工 12 名による石彫作品を展示・紹介する。 あわせて、石を素材に制作している神奈川県在住の石彫家、西巻一彦氏を招き作品を展示・紹介する。	R8.10.3 ～R8.11.8
	さぬきアートプロジェクト	県内在住のアーティストによる作品を展示･紹介する。	R9.1.9 ～R9.2.14
	(仮称) 埋蔵文化財展	高松市埋蔵文化財センターが所蔵する発掘調査で得られた出土品を展示・紹介する。	R9.2.27 ～R9.3.21
香南歴史民俗郷土館	企画展 「高松の土人形～戦前期の嫁入人形からつまみ人形まで」	戦前期の高松には、嫁入りのときに「嫁入人形」と呼ぶ手のひらサイズの土人形を婚家の近所の子どもたちに配る風習があった。これら「嫁入人形」に代表される郷土高松の伝統的な人形を、讃岐郷土玩具館のコレクションから展示紹介する。	R8.6.2 ～R8.7.20
	巡回展 「出張！菊池記念館　菊池寛と郷土」	菊池寛記念館の巡回パネル展を開催する。	R8.8.15 ～8.10.4
	特別企画展 「日本刀展～伝来の今を観る」	日本美術刀剣保存協会 香川県支部・岡山県立博物館の協力で、日本刀を展示・紹介する。	R8.10.27 ～R8.12.19
	企画展 「第 26 回 篆刻（てんこく）展」	郷土館講座「篆刻教室」の受講生の作品を展示する。	R9.1.22 ～R9.3.3
	企画展 「第 26 回 郷土の文化拓本展」	郷土館講座「拓本と表装を楽しむ」の受講生の作品を展示する。	R9.3.7 ～R9.3.28

施　　設	展覧会名	内　　容	開催期間
讃岐国分寺跡資料館	埋蔵文化財展 「Mission 原産地を推定せよ」	高松市埋蔵文化財センターが令和7年度に開催した展覧会と同資料を展示する。	R8.4.25 ～R8.7.5
	企画展 「讃岐国分寺史跡まつり開催25回記念展」〈前期〉」	讃岐国分寺史跡まつりが令和8年度25回を迎えることから、これまでの開催の内容について振り返るほか、実施されている力餅や獅子舞などの歴史的背景などを前期・後期にわけて紹介する。	R8.7.14 ～R8.9.27
	企画展 「讃岐国分寺史跡まつり開催25回記念展」〈後期〉」		R8.9.29 ～R8.12.20
	巡回展 「昭和時代の将棋・麻雀・競馬」	令和8年度の「出張！菊池寛記念館」。菊池寛の趣味の中でも特に好きだった将棋・麻雀・競馬を紹介する。	R8.12.21 ～R9.2.7
	企画展 「折形いろいろ」	『さぬき国分寺町誌』編纂時に収集された資料を中心に展示する。	R9.2.16 ～R9.4.18

※ 上記のほか、ロビー展・ホール展など、年間を通して開催する。

ウ　資料の収集・調査・研究

本市の歴史、考古、民俗等に関する資料の収集に努めるとともに調査・研究を行う。

（ア）　収蔵資料点数　　（7年度末現在）

	歴史資料	民俗資料	美術資料	考古資料	玩具資料	その他	合　　計
歴史資料館	30,052	12,791	3,708	5,536	4,863	199	57,149
石の民俗資料館	19	6,503		3		726	7,251
香南歴史民俗郷土館	4,285	416	9	120	126	365	5,321
讃岐国分寺跡資料館	1	1		96		79	177

エ　教育普及

市内小学生を対象に屋島・美術館・水族館学習（サンクリスタル学習の代替プログラム）を開催するほか、各種講座の開催、市民グループ（友の会など）との共催事業を実施する。また、博物館実習や職場体験学習の受入れなど教育普及活動の充実に努める。

施　　設	内　　容
歴　史　資　料　館	・屋島・美術館・水族館学習の実施 ・近隣大学との連携による事業の実施 ・古文書解読ボランティアなど市民との協働（令和７年５月７日まで） ・各種講座の開催（古文書講座、讃岐村塾など）
石の民俗資料館	・各種講座の開催（工作教室、古文書講座など） ・コンサート・落語会等の実施（友の会との共催） ・博物館実習生や職場体験学習の受入れ
香南歴史民俗郷土館	・各種講座の開催(篆刻教室、拓本と表装講座、夏休み子ども講座など) ・図書室の運用 ・出前資料館の実施 ・博物館実習生や職場体験学習の受入れ
讃岐国分寺跡資料館	・各種講座の開催（歴史講座、古代文化体験講座、伝統文化こども箏教室） ・友の会、天平文化倶楽部との共催事業の実施（講座・コンサートなど） ・讃岐国分寺史跡まつり ・博物館実習生の受入れ

オ　収蔵品情報システムの整備・充実

歴史資料館等の収蔵品データを整備し、「収蔵品情報システム」により公開可能な情報をインターネットで広く市民に公開する。

３　菊池寛記念館

高松市が生んだ偉大な文化人で、現在の文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を末永く顕彰するとともに、市民の教養の向上と市民文化の発展に寄与する。

なお、菊池寛記念館は、サンクリスタル高松のリニューアル工事に伴い、令和７年５月７日より９年秋頃まで休館中である。

（１）施設等の概要

名　称	所 在 地	延床面積(㎡)	開館時間	開館日
菊 池 寛 記 念 館	高松市昭和町一丁目２番 20 号 (サンクリスタル高松３階)	687	午前９時 ～午後５時	H4.11.3

※　休 館 日：毎週月曜日（その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日）
年末年始（12 月 29 日から１月３日まで）

（２）運営機構

館長１名（再任用）、業務係長１名、係員５名（再任用１名、会計年度任用職員４名）

（３）事業概要

ア　常設展示

- 菊池寛の生涯と業績を、遺品、生原稿、著書、写真等で編年的に展示するとともに、解説映像でも紹介
- 菊池寛の生家、上演戯曲舞台を模型により再現、東京の雑司ヶ谷の旧宅内の書斎を原寸復元により展示
- 「芥川賞」、「直木賞」、「菊池寛賞」の受賞者及び受賞作品等の紹介
- 高松にゆかりのある文学者・作家の著書等の展示をする郷土作家コーナーの設置
- 菊池寛の著書や芥川・直木賞受賞作品等が閲覧できる研究・閲覧室の設置

観覧料　一般　300 円、大学生　200 円、高校生以下無料、20 人以上の団体は２割引

イ　企画展等の開催

（ア）　菊池寛記念館出張展示（菊池寛顕彰事業実行委員会共催）

- 休館中においても菊池寛や文学の魅力を伝えるため「出張！菊池寛記念館」として、市内小・中学校、高校のほか、市内の公共施設、県内の図書館等で、パネル展示を行う。要望があれば、併せて学芸員による講演、ワークショップなどを行う。

（イ）菊池寛記念館特別講演会（菊池寛顕彰事業実行委員会主催、高松市・菊池寛顕彰会共催）

- 郷土が生んだ文豪菊池寛の業績をたたえるとともに、広く市民の方々に文学に対する理解と関心を深めていただくため、菊池寛が創設した芥川賞・直木賞ゆかりの作家等による特別講演会を開催する。
- 神田 愛山（講談師）令和８年 10 月 31 日「敵討母子連れ」（サンポートホール高松第１小ホール）

ウ　資料収集

関係資料、関係図書等の収集及び適切な整理保管

エ　菊池寛顕彰事業

（ア）第 62 回香川菊池寛賞の贈呈（菊池寛顕彰事業実行委員会主催、高松市・高松市教育委員会・

菊池寛顕彰会共催）

文学作品（小説・随筆・戯曲（脚本））を県内等から募集・選奨し、賞を贈呈

（イ）第 35 回菊池寛ジュニア賞の贈呈（菊池寛顕彰会主催、高松市・高松市教育委員会共催）

生活作文・読書感想文（「寛学」事業で配布した菊池寛文学作品集をはじめ菊池寛の著作物を推奨）・創作作品を高松市内の小中学校に在籍する児童・生徒から募集・選奨し、賞（最優秀賞、優秀賞、寛学賞、優良賞）を贈呈

オ　文化活動事業

（ア）文芸講座（高松市・菊池寛顕彰会の共催）

地元文化の振興を図るため、郷土において活躍している方々等を講師に文芸講座を開催

令和８年６月～９年３月までの間（全 10 回開催）

（イ）「文藝もず」第 27 号発行

第 61 回香川菊池寛賞受賞作品の全文掲載を始め、多彩な方からの寄稿を掲載

（ウ）菊池寛ジュニア賞受賞作品集発行

第 34 回菊池寛ジュニア賞の全入賞作品を掲載

XI　美　　術　　館

魅力あふれる地域文化の向上を図り、市民の生涯教育に寄与するため特別展及び収蔵品を展示する常設展を開催し、市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、各種講座・芸術的催し物を開催し、美術に関する教育普及活動を推進して本市の芸術文化の振興に努める。

また、美術品・美術図書・映像資料などの美術資料を収集し、充実を図る一方、市民が作品発表の場として気軽に利用できる市民ギャラリーを設けて開かれた美術館を目指す。

1　施設等の概要

名称	所在地	延床面積（㎡）	開館時間	開館日
高 松 市 美 術 館	高松市紺屋町 10 番地 4	9,875.80	午前 9 時 30 分～午後 5 時 ただし、特別展開催期間中の金・土は午後 7 時まで	S63.8.6
高松市塩江美術館	高松市塩江町安原上 602 番地	829.32	午前 9 時～午後 5 時	H6.4.25

※休館日：毎週月曜日（その日が国民の休日の場合はその後の最も近い休日でない日）
年末年始（12 月 29 日～１月３日）

2　運営機構

美術館長１名（兼務）、課長１名、主幹１名、課長補佐２名（兼務）、業務第一係９名（うち、会計年度任用職員４名）、業務第二係５名（うち、会計年度任用職員３名）、塩江美術館長１名（兼務）、塩江美術館業務係４名（うち、会計年度任用職員２名）、アート・アドバイザー１名（非常勤嘱託職員）

3　高松市美術館事業概要

（１）令和７年度事業報告

高松市美術館の利用者数　　246,795 人（ 開館日数　309 日 ）

ア　展覧会の開催

・展 覧 会 数　年間 58 展

【内訳】

特別展４展、コレクション展４展、日本伝統漆芸展、貸館 49 展（一般・企画展示室 15 展、市民ギャラリー34 展）

・入 場 者 数　131,052 人

（ア） 特別展

開催展数：４展　　開催日数：190 日間　　入場者数：42,682 人（１日平均 224.6 人）

展覧会名	会期	日数（日）	入場者数（人）	展覧会の内容
エドワード・ゴーリーを巡る旅	4/12（土）～6/8（日）	50	10,665	不思議な世界観とモノトーンの緻密な線描で世界中に熱狂的なファンをもつ絵本作家エドワード・ゴーリー(Edward Gorey, 1925-2000)。絵本以外にも、挿絵、舞台と衣装のデザイン、演劇やバレエのポスターなどに多彩な才能を発揮した。 本展は、「子ども」「不思議な生き物」「舞台芸術」などをテーマに約 250 点の作品・資料を紹介し、米国東海岸の半島に残る古い邸宅へと旅をするように、達観したクールな死生観を持つ謎めいた作品を楽しんでいただいた。
石田尚志 絵と窓の間	8/8（金）～10/5（日）	51	8,728	画家／映像作家の石田尚志(1972 年東京生まれ)は、自らが描いた絵画を連続的に撮影する手法(ドローイング・アニメーション)で制作した映像作品により、1990 年代から国内外で評価されてきた。 2015 年以来の大規模な個展となる本展では、映像と立体を組み合わせた近年の主要なインスタレーションをはじめ、10 代から最新作の「絵画」に至るまで約 80 点の作品を展観し、石田の仕事を概観した。
蒟醤 山下義人展	10/11（土）～11/24（月・振休）	39	4,937	山下義人は 1951 年に高松市に生まれ、香川県立高松工芸高校を卒業後、磯井正美に師事、1976 年に上京した後は田口善国に師事した。2013 年には蒟醤(きんま)の技法で重要無形文化財保持者に認定された。 本展では、第 58 回日本伝統工芸展で日本工芸会保持者賞を受賞した《くれない蒟醤箱》をはじめ、巧みな技によって生み出された作品を公私のコレクションから多数紹介し、公立美術館で初めて開催する山下の回顧展となった。
アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	1/31（土）～3/29（日）	50	18,352	『天空の城ラピュタ』、『火垂るの墓』、『もののけ姫』、『時をかける少女』など誰もが知る国民的アニメーション映画で美術監督を務めた山本二三(1953-2023)。 本展では、山本がこれまで手がけてきた初期から晩年までの手描き背景画に加え、制作の過程で生み出された、未公開の美術設定やイメージボード、制作用具など約 220 点を紹介し、その詩情溢れる背景美術の世界に迫った。
合計		190	42,682	

（イ） コレクション展

開催展数：５展　　開催日数：295 日間　　入場者数：35,472 人（１日平均　120.2 人）

展覧会名	会期	日数（日）	入場者数（人）	展覧会の内容
第１期	4/5（土）～ 6/29（日）	74	7,923	展示室 1 Welcome to Takamatsu Art Museum!! ―2023、24 年度新収蔵作品を中心に 展示室 2 香川の工芸―2024 年度新収蔵作品を中心に
第２期	7/5（土）～ 9/28（月）	75	10,053	展示室 1 1960 年代の美術―菊畑茂久馬を中心に 展示室 2 いきもの図鑑―香川の漆芸と金工
第３期	10/1（水）～ 12/27（土）	76	8,297	展示室 1 コレクションに見る「瀬戸内国際芸術祭 2025」の作家たち 展示室 2 讃岐漆芸に見る抽象―「蒟醤」を中心に
第４期	1/6（火）～ 3/29（日）	70	9,199	展示室1 未来をひらく「美術」―戦後香川と高松市美術館 展示室2 讃岐漆芸の美 ※3/14(土)～29(日)の期間は、常設展展示室 1 において「第 43 回日本伝統漆芸展」を開催。［＊3,140 人］
合計		295	35,472	

（ウ）貸館

・一般展示室・企画展示室

開催展数：15 展　　開催日数：　67 日間　入場者数：29,927 人（１日平均 446.7 人）

・市民ギャラリー

開催展数：34 展　　開催日数：177 日間　入場者数：22,971 人（１日平均 129.8 人）

イ　講演会・講座等

（ア）記念講演会等

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やギャラリートークなどイベントを開催した。

開催回数：29 回　　参加者数：1,438 人（展覧会の内数 463 人を含む）

ａ　記念講演会等　　場所：講堂／対象：一般／無料

開催日	講師・出演者	内容	参加者数（人）
4/12(土)	三浦篤(東京大学名誉教授・大原美術館館長)	記念講演会 「西洋美術史からみたエドワード・ゴーリー」	138

開催日	講師・出演者	内容	参加者数（人）
5/3(土)	柿木原政広(グラフィックデザイナー・絵本作家)	記念講演会 「エドワード・ゴーリーのグラフィックデザイン」	76
6/7(土)	小川信治(美術家)	出品作家トーク 「小川信治、自作を語る」	41
8/9(土)	石田尚志(出品作家)	アーティストトーク	57
10/5(日)	石田尚志(出品作家) 三本松倫代(神奈川県立近代美術館主任学芸員) サイトウマド(漫画家)	クロージングトーク 一部「駒場寮から絵と窓の間へ」 二部「異境を巡る絵画と漫画」	68
10/19(日)	唐澤昌宏(国立工芸館館長) 山下義人(出品作家)	記念対談 「蒟醤 山下義人のわざ」	53
1/31(土)	山本鷹生（絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長）	記念講演会1 「山本二三 絵にかけた人生と情熱」	92
2/11(水・祝)	usaginingen(平井伸一、平井絵美) 金島隆弘(金沢美術工芸大学芸術学専攻SCAPe准教授) 柴田悠基(香川大学創造工学部講師)	アーティストトーク*	45
2/28(土)	久慈達也（本展監修者、DESIGN MUSEUM LAB 代表京都芸術大学准教授）	記念講演会2 「記憶色の背景 山本二三の美術」	112
3/1(日)	石田尚志(美術家) 毛利義嗣(インディペンデント・キュレーター)	映像講座「大木裕之 都市と映像」	47
合計			729

b　アートアドバイザー講座

開催日	講師	内容	参加者数（人）
5/17(土)	原　久子 (当館アートアドバイザー)	vol.9 鴻池朋子さんに「行動展示」について聞く	67
8/2(土)		vol.10 やんツーさんに聞く―源内的創造力に挑む⁉	46
9/28(土)		vol.11 香川、3つの現代アート展をめぐって	61
10/26(土)		vol.12 建築のお話―数寄屋造りから香川の近代建築まで	42
3/21(土)		vol.13 香川で創作を続けること	30
合計			246

c　ギャラリートーク（当館学芸員等による）

（a）特別展　　開催回数７回、参加延べ人数 290 人（展覧会入場者数と重複）

（b）コレクション展　　開催回数７回、参加延べ人数 173 人（展覧会入場者数と重複）

（イ）教育普及活動等

a　ワークショップ

美術作家等によるワークショップを開催し、未就学児を始め様々な年代層に表現の可能性や楽しさを体験してもらった。

開催回数：23 回　　参加者数：338 人

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数（人）
4/19(土)	当館学芸員	指人形一座と船で行く大島ツアー (コレクション展 1 関連)	小学生から大人まで	大島	13
4/27(日) 5/5(月・祝) 5/11(日)	当館学芸員	《指人形》と遊んでみよう！(第 1 期コレクション展関連)	子どもから大人まで	常設展示室	63
5/18(日)	当館学芸員	《指人形》と遊んでみよう！(英語バージョン)(第 1 期コレクション展関連)	子どもから大人まで	常設展示室	23
6/1(日)	当館学芸員	指人形一座とバスで行く塩江美術館ツアー(第 1 期コレクション展関連)	小学生から大人まで	高松市塩江美術館	17
7/20(日) 午前／午後	竹森 滉(漆芸作家)	漆の研ぎ出しキーホルダーをつくろう	小学生	講座室	34
8/3(日) 午前／午後	矢野恵利子 (美術家)	立体まんがをつくろう	小学生	講座室	36
10/4(土) 午前／午後	小松ちか(芸術士・版画家)	ハロウィンお菓子な紙版画を刷ろう！	5 歳以上	講座室	39
10/26(日) 午前／午後	当館学芸員	モンスターキャップをつくろう！	子どもから大人まで	こども+	26
2/1(日)	山本鷹生(絵映舎プロデューサー、山本二三美術館副館長)	ゾートロープを作ろう	小学3年生以上	講堂	16
2/11(水・祝) ・2/23(月・祝))	当館学芸員	大人のためのアートで遊ぼう	一般	講座室他	20
3/7(日)	平井絵美 (usagiringen)	見えないものをカタチにしよう！	小学生から大人まで	講座室	10
3/20(金・祝) 午前／午後	金沢健一(彫刻家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「音とあそぼう！」	子どもから大人まで	エントランスホール	13

開催日	講師	内容	対象	場所	参加者数（人）
3/21(土)	柴田早穂 (鋳金作家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「たのしいメタルオブジェづくり！」	子どもから大人まで	講座室	13
3/22(日) 午前／午後	Yuka Mizuhara (写真家)	もうすぐ春！ワークショップまつり 「サイアノタイプでオリジナル写真を作ろう！」	子どもから大人まで	講座室	15
合計					338

b　出前講座等

館外でのアウトリーチ活動として、市内各地で出前講座等を開催した。

開催回数：８回　　参加延べ人数：189 人

開催日	講師	内　　容	開催場所	参加者数（人）
9/13(土)	当館 学芸員	アートで遊ぼう！	岡本荘老人介護支援センター	23
9/17(水)			栗林老人クラブ連合会	50
10/16(木)			就労移行支援センターヒトトコ	20
11/23(日)			高松市知的障がい者青年教室 (通称：スキップクラブ)	55
1/15(水)			クローバーシニアクラブ(老人会)	9
1/18(日)			認可地緑団体 石ヶ鼻グリーンライフ国分台自治会	14
2/7(土)			高松市生涯学習センターまなびCAN	3
11/16(日)	当館 学芸員	出張美術館 「江戸の浮世絵入門編」	男女共同参画センター	15
合計				189

c　ふらっとアート

子どもを始め、来館者が気軽にアートを楽しむことのできる空間として、「こども＋（こどもアートスペース)」において、アートプログラムを開催し、8,321 人（対象：小学生以下、参加費：無料）が参加した。

開催期間	プログラム内容	参加者数（人）
4/1(火)～4/11(金)	春のお出かけバックをつくろう	200
4/1(火)～6/8(日)	ふらっとゴーリー	1,235

開催期間	プログラム内容	参加者数（人）
4/1(火)～6/8(日)	みんなで描こう！ゴーリー・ワールド	1,178
6/10(火)～8/17(日)	夏のつめた～いドリンクをつくろう	821
8/8(金)～10/5(日)	色と形と時間を重ねよう	1,293
9/30(火)～10/31(金)	へんしん★モンスターキャップ	432
10/11(土)～11/24(月・祝)	お天気モビールをつくろう	289
11/26(水)～1/25(日)	グリーティングカードをつくろう	1,776
1/31(土)～3/29(日)	チャレンジ！セルアニメ	1,097
合計		8,321

（ウ）美術館学習

屋島・美術館学習等と連携させた美術館での鑑賞・施設学習を実施した。

屋島・美術館学習参加校のうち、引き続き美術館での学習を希望する小学校を受け入れ、展覧会の団体鑑賞や施設見学を行った。

9月25日から1月30日まで、参加校17小学校　延べ987人（引率者含む）。

また、屋島・美術館学習以外の美術館学習は、参加校43校、延べ1,216人であった。

（エ）博物館実習・インターンシップ・職場体験等

博物館実習の実施については、京都女子大学ほか７大学から博物館実習生９名を受け入れた(８/18～８/24)。また、せとうち観光専門職短期大学「臨地実務実習」として１名、職場体験学習として中学校７校計21名、その他インターンシップ等２件46名を受け入れた。

（オ）学校との連携事業

実施日	内容	参加者	開催場所	参加者数(人)
4/10(木) ～7/17(木)	前期授業「芸術文化」 (全15回)	高松短期大学ビジネスデザイン学科履修生	高松大学・市美術館	21
制作：7/18(金) ～9/26(金) 設置：9/27(土)	ハロウィン・フォトスポットの制作及び展示	高松市立一宮・木太・香東・紫雲・下笠居・玉藻中学校美術部員	各学校・市美術館	148
3/4(水)	お出かけ美術館	鶴尾小学校3年生	学校	25
合計				194

（カ）美術館の日

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、また、高松市美術館が昭和63年８月６日（土）に開館したことに由来し、平成21年度から８月の第１土曜日を「美術館の日」と定め、観覧料を無料とするほか、多くの市民が集い、楽しんでいただくための各種プログラムを実施した。

特別展観覧者1,679人、ふらっとアート参加者361人など4,813人の来館者（参加者数は展覧会入場者数と重複）があった。

（キ）イベント（特別企画展示・公開制作・パフォーマンスなど）

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数（人）
4/1(火) ～3/31(火)		作品展示(鴻池朋子、飯川雄大)	エントランスホール	11,706
4/12(土) ～6/8(日)		特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連Instagramストーリーズ投稿キャンペーン		57
5/17(土)	協力:英会話ジェムスクール	特別展「エドワード・ゴーリーを巡る旅」関連英語で読み聞かせ会	2階展示室	36
3/29(土) ～5/25(日)	主催：高松市美術館 協力：日本デザインセンター、株式会社アートフロントギャラリー、NPO法人瀬戸内こえびネットワーク、瀬戸内国際芸術祭実行委員会	特別企画「デザインでたどる瀬戸内国際芸術祭15年の歩み」	中2階ロビー	6,892
8/8(金)・ 9(土)・ 11(月・祝)・ 15(金)・ 16(土)・ 17(日)・ 22(金)・ 23(土)・ 24(日)		特別展「石田尚志 絵と窓の間」関連イベント美術館外壁映像プロジェクション	荷受前外壁	619
8/24（日）	石田尚志（美術家） O JUN（美術家）	特別展「石田尚志 絵と窓の間」 記念パフォーマンス 「O JUN／ISHIDA Takashi：『交戦／光線』」	エントランスホール	120
9/30(火) ～10/31(金)	協力:高松市内中学校美術部(6校)	ハロウィン・フォトスポット	中2階ロビー	－
10/11(土) 午前／午後	岡野弘幹(音楽家・サウンドアーティスト)	特別展「山下義人展」オープニング記念イベント 岡野弘幹コンサート「音霊の刻～蒟醤に捧ぐ～」	エントランスホール	183
11/7(金) ～11/30(日)	（展示協力）さざなみ漆器、さぬきうるしSinra、大川原染色本舗、AJI PROJECT、うるしの漆原	「高松市伝統的ものづくり」紹介展示	中2階ロビー	3,204

開催日	出演・講師等	内容	場所	参加者数（人）
12/17(水) ～1/12(月・祝)	主催：香川県、東京藝術大学、香川大学 共催：高松市美術館	香川県・東京藝術大学・香川大学 瀬戸内海分校プロジェクト かがわアートスタディーズU18 「第4回 海は人を愛する」	中2階ロビー	4,927
1/29(木) ～2/23(月・祝)	主催：香川大学附属高松小学校 共催：高松市美術館	展示「わたしたち赤2組は考える展」	中2階ロビー	3,883
2/10(火) ～3/8(日)	usaginingen	usaginingen 「トンビとウサギ、賑わいのとなりで／Beside bustle, Sky and Earth #1」	エントランスホール	2,375
3/5(木)	内橋和久(ミュージシャン)、平井絵美(usaginingen)	ライブペインティング	エントランスホール	100
3/7(土)	usaginingen（平井伸一、平井絵美、平井海凪）	usaginingenパフォーマンス公演 「トンビ 魂の鼓動／Black Kite Pulsation of Souls」	エントランスホール	174
3/20(金)	金沢健一(彫刻家)	金沢健一パフォーマンス 「音とあそぼう！」	エントランスホール	114
3/21(土) ～4/12(日)	主催：東京藝術大学、香川大学、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会 共催：高松市美術館	東京藝術大学×香川大学 せとうち ART&SCIENCE ジオアート/GEOART 「沈降と隆起 ―大地を泳ぐために」	中2階ロビー	―
合計				34,390

（ク）エントランス・ミニコンサート等

特別展会期中に、県内演奏家等によるミニコンサート等をエントランスホールで開催した。

内容	開催日	行事名	監修・出演等	関連する展覧会	入場者数（人）
ミニコンサート	5/31(土)	絵本の中から生まれた音楽	佐竹朝子（ソプラノ）、西浦弘美（ヴァイオリン）、大山まゆみ（ピアノ）、コレギウム・ムクジム高松女声アンサンブル	エドワード・ゴーリーを巡る旅	94

	8/16(土)	石田尚志－創作を紡ぐ音－（Ⅰ部、Ⅱ部）	香川大学ウィンド･アンサンブル、青山夕夏(監修)、協力：香川大学	石田尚志 絵と窓の間	83
	11/9(日)	山下義人－光と風のあわい－	北野あゆな・金岡夏希(クラリネット）、安友孝宣(サクソフォーン)、長岡佐和・渡辺真生・中村日瑶里(ピアノ)、青山夕夏(監修)、協力：香川大学	蒟醤 山下義人展	78
	3/14(土)	アニメを彩る歌	大山晃(バリトン)、森美由紀(ソプラノ)、藤田哲史(フルート)、大山まゆみ(ピアノ)	アニメーション美術の創造者 新・山本二三展	230
合計					485

（ケ） エントランスホール活用事業（公募企画）

エントランスホールの活用を図り、来館者に気軽に文化芸術に触れてもらうため、コンサートやダンス公演等で同ホールを利用する団体を募集した。

内容	開催日	行事名	主催団体	入場者数（人）
コンサート	6/14(土)	美術館のNOODLE CRAZY MONKEY	GARGANTUA（藤原清登）	126
コンサート	6/21(土)	音楽のおくりもの	M.A.コンサート実行委員会	91
コンサート	6/28(土)	お箏で美術館めぐり～演奏と共にお出かけ気分に～	豊千会合奏団	152
コンサート	7/5(土)	美術館コンサート－星空へのいざないー	邦楽アンサンブル煌	177
コンサート	7/6(日)	和んさんぶる・ド・ミュゼ～美術館de舞う～	愛歌会	108
コンサート	7/12(土)	クラシック名曲コンサート	高松交響楽団	211
ダンス公演	11/29(土)	踊り場2025『美術館パフォーマンスDANCEミテミテヨ』(2回公演)	踊り場実行委員会(みゆきバレエスクール)	357
コンサート	12/27(土)	オルタナティブ第7回演奏会	混声合唱団 オルタナティブ	392
合計				1,614

ウ 施設の提供

美術館の講堂を講演会・コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供した。また、美術図書コーナー、こども＋(こどもアートスペース)を一般利用者に開放した。

施設名	利用回数等	利用人数
講堂	43回	2,991人
講座室	526回	6,385人
美術図書コーナー	309日	10,424人
合　計		19,800人

エ　美術資料の収集

美術品の収集方針に基づき、当館に収蔵する美術品を計画的・系統的に購入したほか、寄贈による美術品の収集に努めた。また、二次資料として美術図書及び映像資料を継続的に収集した。

オ　美術館ボランティアの活動

市民の美術活動の支援と展覧会観覧者の利便を図るため、美術館ボランティアｃｉｖｉ（シヴィ）を設置し、平成11年度から活動を行っている。香川県令和７年度ボランティア大賞を受賞。（令和７年度登録者数23人）

カ　高松市美術館サポートショップ事業

会期中の特別展チケットの半券、又は有効期間中の定期観覧券（年間パスポート）を提示することにより、参加店舗で割引などの特典を受けることができる高松市美術館サポートショップ事業を実施した。

また、各サポートショップに「高松市美術館サポートショップ利用者割引券」を設置し、サポートショップ利用者が割引券を美術館に持参することにより特別展観覧料が割引になる相互割引を行った。

キ　ブランチギャラリー

高松丸亀町商店街に移転オープンした「しごとプラザ高松」のショーウィンドーにおいて、同商店街との連携事業として、高松市美術館の新しい展示空間「ブランチギャラリー」を令和３年３月 13 日に開設した。令和７年度は７展の展示を行った。

ク　ＩＣＴの活用

ＳＮＳのフォロワー数　令和８年３月 31 日現在

Facebook	1,455 人
X(旧Twitter)	2,652 人
YouTube	710 人
Instagram	9,755 人

ケ　キャッシュレス化

利用者サービスの向上及び新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和４年３月１日からキャッシュレス決済システムを導入した。観覧料や図録代金等の支払の際に、クレジットカー

ドや電子マネーの利用が可能となっている。

コ　博物館再登録について

高松市美術館は、昭和 27 年４月に「登録博物館」（香川県第１号）となっていたが、令和５年４月１日に「博物館法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、令和 10 年３月３１日までに新制度に基づく再審査及び再登録が必要となった。

このため、「博物館法」第１２条の規定に基づき、香川県教育委員会へ再申請を行い、令和７年３月 13 日付けで再度登録された。

サ　「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

瀬戸内国際芸術祭２０２５の広域連携事業として開催される「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト（2023 年度～2025 年度）で、令和５年度に実行委員会(事務局：公益財団法人 福武財団)が発足し、高松市美術館は香川・岡山・兵庫にある７つの美術館とともに参加した。

同プロジェクトは国内外の来場者を瀬戸内に誘引し、瀬戸芸会期中に瀬戸内の主たる美術館で日本の現代アートの展覧会を開催するなど、瀬戸内が現代アートを通じてメッセージを発信すること等を目的としている。

令和７年度は、特別展「石田尚志 絵と窓の間」において、美術館外壁に石田氏がこれまでに制作した映像作品などを重ねて投影する「映像プロジェクション」を開催した。

（２）令和８年度の事業計画

ア　展覧会の開催

（ア）特別展

展覧会名	会期	日数（日）	展覧会の内容
宇野亞喜良展 AQUIRAX UNO	4/18(土) ～6/14(日)	50	日本を代表するイラストレーター、グラフィックデザイナーとして活躍し続ける宇野亞喜良（うのあきら／1934～）。 その創作は、イラストレーションのほかにも多岐におよび、1950年代初めのデビュー以来、活動の範囲は限りなく広がっている。 本展では、1950 年代の企業広告を始め、1960 年代のアングラ演劇ポスターや絵本･児童書、近年の俳句と少女をテーマとした絵画など、貴重な原画や資料等を紹介する。
ハッチポッチ 藤枝リュウジの世界	7/18(土) ～9/23(水・祝)	59	イラストレーター&アートディレクターとして半世紀以上のキャリアを持ち、今なお精力的に制作を続ける藤枝リュウジ（1943-）。 本展は、絵本や装幀、個展作品などのイラストレーション作品と、パペット番組「ハッチポッチステーション」を始めとしたテレビ・広告などのアートディレクション作品から500点以上を紹介する、

展覧会名	会期	日数（日）	展覧会の内容
続き			初めての大規模展覧会。愉しげな音色が聞こえてくるような、藤枝リュウジの「ハッチポッチ」な世界を楽しむもの。※ハッチポッチ＝hotch potch＝ごった煮
動く！展 ―光と音と運動の芸術	10/10(土) ～11/29(日)	44	第二次世界大戦後の日本で、それまでの絵画や彫刻という枠を超えた新しいメディアを使った美術作品が登場し、その後現在まで様々な素材・技術を取り入れながら日本の現代アートは多様に発展した。本展では、1988年の開館当初から収集を続け、国内外から高い評価を得ている「戦後日本の現代美術」コレクションを中心に、日本の「動く」アートの展開を紹介する。
高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol.13	1/30(土) ～3/14(日)	38	本展覧会シリーズではこれまで、独創性や創造性のある現代美術作家をグループ展形式で紹介し、新しい芸術表現を高松から発信してきた。14回目となる今回は、高松を拠点に活動する大川原暢人や京都を拠点に国内外で活動する宮田彩加を始め多彩な作品を生み出す作家たちを紹介する。また、アーティストトークなどのイベントも開催予定。
４展覧会		191	

（イ）コレクション展

展覧会名	会期	日数（日）	展覧会の内容
第１期	4/4(土) ～6/28(日)	74	展示室1 描いて、つくる―2025年度新収蔵作品を中心に展示 展示室２ 香川における工芸の系譜―2025年度新収蔵作品を中心に展示
第２期	7/4(土) ～9/27(日)	74	展示室1［現代の美術］私たちの生きる時代を感じさせる戦後日本の美術、また、これに関連のある20世紀以降の世界の美術を順次展示。 展示室2［讃岐漆芸と金工］ 玉楮象谷に始まる讃岐漆芸、北原千鹿を中心とする金工の流れを中心に展示。 ※3/13～3/28の期間は、常設展示室1において「第44回日本伝統漆芸展」を開催。
第３期	9/30(水) ～12/27(日)	77	
第４期	1/5(火) ～3/28(日)	70	
４期		295	

（ウ）貸館

美術団体、個人や小グループ等の作品発表の場として、一般展示室・企画展示室及び市民ギャラリー・講堂を提供する。

イ　教育普及活動

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やミニコンサートなどを開催するほか、教育普及活動を行う。

（ア）講演会等の開催

主催特別展の開催に併せて、展示のテーマに沿った記念講演会やトーク等を開催する。

（イ）アートアドバイザー講座

当館アートアドバイザーによる講座を数回実施する。

（ウ）ギャラリートーク

（エ）ワークショップ

地元講師や県外講師によるワークショップを随時開催する。

（オ）ふらっとアート

リニューアルオープンにより新設された「こども+(こどもアートスペース)」を活用し、誰もが気軽にアートを楽しむことができるプログラムを提供する。

（カ）出前講座等

当館学芸員が施設や学校等に出向き、「アートで遊ぼう」や「出張美術館」等を実施する。

（キ）　美術館学習

展覧会の鑑賞教育等学校活動分野の積極的な活用を図るために、屋島・美術館・水族館学習参加校のうち、希望校を美術館でも受け入れる美術館学習を実施する。

（ク）　美術館の日（８月第１土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう定める「美術館の日」において、多くの市民が集い、楽しみにぎわう美術館となるよう、観覧料の免除や親子で楽しめるイベントなどを開催する。

ウ　施設の提供

美術館の講堂を講演会、コンサート等の会場に、講座室を創作活動の場として利用に供するほか、エントランスホールを作品展示やコンサート等に活用する。

エ　ＤＸの推進

美術館独自のＳＮＳ(Facebook、X(旧 Twitter)、Instagram)及び YouTube による動画配信等の積極的な活用により効果的な情報発信を行う。

また収蔵作品を電子アーカイブ化し、公開する。オンラインシステムの導入を令和８年度中に実施する。

オ「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

「瀬戸芸美術館連携」プロジェクトに引き続き参加し、瀬戸内国際芸術祭 2028 における各種事業の準備等を行う。

4　高松市塩江美術館事業概要

（1）　令和７年度事業報告

塩江美術館の利用者数　　15,882 人　　（開館日数 308 日）

ア　展覧会の開催

・開 催 展 数　９展　（内訳　企画展６展・常設展３展）

・入 場 者 数　13,151人

（ア）企画展

開催展数：６展　　開催日数：264日間　　入場者数：6,465人（１日平均24.5人）

展覧会名	会期	日数（日）	入場者数（人）	展覧会の内容
reiko.matsuno みんなひかり	4/8(火) ～6/1(日)	48	1,307	アーティスト reiko.matsuno（香川県在住）が、「光」をテーマに制作した 100 点を超えるイラスト原画と、陶芸、張り子作品などを紹介した。
第39回 思可牟展	6/10(火) ～8/3(日)	48	1,360	京都市立芸術大学を修了した香川県出身または在住の美術グループ「思可牟」による絵画、漆芸、陶芸、染色、立体、映像など表現の様々な作品を一堂に紹介した。
オスカー・ロベラス展 Résonances - 共鳴 -	8/16(土) ～10/5（日）	44	1,069	フランス人芸術家・オスカー・ロベラスが、「Résonances - 共鳴 - 」をテーマに空間と色彩、素材に焦点を当て制作したインスタレーション作品を紹介した。
武内優記展 「星屑のケイショウ」	10/18(土) ～12/７(日)	44	1,319	徳島県在住のアーティスト・武内優記による宇宙空間での地球の誕生をテーマにしたアート装置や、物質の根源を想起する立体作品を紹介した。
松村武夫 里山・里浜の快感	12/16(火) ～2/8(日)	43	675	香川県在住の美術家･松村武夫が、里山・里浜を歩く時に得られる小さな発見や心地よい感覚を表現した絵画作品などを紹介した。
高松市合併 20 周年記念 高松市塩江美術館コレクション＋（プラス）「塩江中学校＋中井弘二郎『feel with words』」	2/17(火) ～3/31(火)	37	735	塩江町出身の儒学者・藤澤東畡や藤澤南岳の書と併せて、塩江町出身の彫刻家・中井弘二郎と高松市塩江中学校の全校生徒が交流し、「美しいことば」をテーマに制作したモニュメントを展示した。
合計		264	6,465	

（イ）常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間３回の入れ替えで展示した。

開催展数３展、開催日290日間、入場者数6,686人（１日平均23.1人）

展覧会名	会期	日数（日）	入場者数（人）	展覧会の内容
※高松市塩江美術館開館30周年記念 第Ⅲ期常設展 はじまりを新しむⅢ 「日々是好日」	4/1(火) ～4/13(日) ＊会期は令和7年1/4(土)から	12	247	開館30周年の新たなはじまりを記念して、日常の何気ない風景やそこにいる人々、穏やかなひと時を切り取った作品を、熊野俊一を中心に、香川出身の画家・伊東義久と江戸健の作品も併せて33点を紹介した。
第Ⅰ期常設展 「色と光の表現-天窓のある美術館で-」	4/19(土) ～8/24(日)	110	2,868	「色と光」をテーマに、丸亀市出身の洋画家・江戸健の作品を中心に21点を紹介した。
第Ⅱ期常設展 「高松市合併20周年記念 塩江の人々と風景と」	8/30(土) ～12/27(土)	103	2,311	高松市合併20周年を記念して、塩江で行われてきた芸術活動や、塩江の人々と風景にまつわる作品を紹介した。
第Ⅲ期常設展 「川島猛 ＤＲＥＡＭＳ」	1/10(土) ～3/26(木)	65	1,260	現代美術家・川島猛（1930～）の作品と、かつて川島の助言から塩江町で開催された『日米ヤング・アーティスト・フェスティバル』で制作された共同作品を併せて紹介した。
合計		290	6,686	

※年度をまたいでの開催(年度毎の実績)

イ　美術講座等

（ア）美術講座

企画展に合わせたワークショップや、陶芸教室等15講座を開講した。(延べ606人参加)

（イ）美術館の日（11月第２土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、高松市美術館の開館記念日にちなみ８月に高松市美術館と同日開催していた「美術館の日」について、令和７年度から、「塩江美術館の日」として、地域の豊かな自然に触れられる 11 月第２土曜日に変更して開催し、多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、ワークショップ等を実施した。(令和７年度は 11 月８日に開催)

また、高松中心部から塩江町までの公共バスの減便により利便性が悪くなっていたことから、高松市美術館と塩江美術館を往復する公用バスを運行した。(往復バス利用者 14 人)

・常設展、企画展観覧者 338 人 ※展覧会入場者数と重複

・ワークショップ参加者 390 人

（ウ）芸術的催し物

タイトル	開催日	出　演	入場者数（人）
第6回高松国際ピアノコンクール 交流演奏会	2/21（土）	高松国際ピアノコンクール出場者2名	30

（エ）博物館実習等

美術館見学として、５校、延べ208人を受け入れた。

ウ　公有財産目的外使用（貸出）

カフェ主催のフリーマーケットを実施するため、デッキの貸出を行った。

エ　キャッシュレス化

令和７年４月より、観覧料のキャッシュレス決済を導入した。

（２）令和８年度の事業計画

ア　展覧会の開催

（ア）企画展

展覧会名	会期	日数（日）	展覧会の内容
三村則子回顧展 －夫・昌哲と二人三脚で育てた世界－	4/18(土) ～5/24(日)	32	型絵染師・三村則子（1936-2018）が、自宅の庭など、ごく身近にある草花が持つ生命の美しさを描いた作品35点を紹介する。
長谷川隆子「刻の方舟」	6/13(土) ～8/2(日)	44	切り絵作家・長谷川隆子（1981 年愛媛県生まれ）が生み出す大胆かつ繊細な切り絵作品を暗所でライトアップしてみせることで、幻想的な空間を展示する。
あそびにおいでよ！2 ～2026夏休み 大島よしふみ彫刻展～	8/11(火・祝) ～9/23（水・祝）	39	常に新たな作品に挑戦する彫刻家・大島よしふみ（1954年高松市生まれ）による展覧会。夏休みをテーマに自然の迷路や昆虫などの作品を展示する。
辻野榮一＋辻野由樹 2人 「いきものばかり」	10/10(土) ～11/29(日)	44	いきものをテーマとした彫刻家・辻野榮一が作る有機的なフォルムの木彫と焼き絵、イラストレーター・辻野由樹が描く鮮やかなイラストを紹介する。
orm展(仮)	12/12(土) ～2/7(日)	44	美術作家・藤井智也と高橋ちかやによるアーティストユニット orm が、身近な事象や社会的なアイデンティティに対する問題に焦点を当てた作品を、様々なメディアを横断しながら展開する。
コレクション展(仮)	2/20(土) ～3/31（水）	34	2 人の洋画家・小林正六（1917-2006）と江戸健（1927-2017）の作品を中心に当館収蔵品を展示する。
６展覧会		237	

（イ）常設展

美術館の所蔵品のうち、テーマを設定して年間３回入れ替えで展示する。

展覧会名	会期	日数（日）	展覧会の内容
第Ⅰ期常設展 自然の中の時間 Time in Nature	4/1(水) ～8/16(日)	119	香川県多度津町出身の画家・西澤智子の日本画作品と高松市出身の画家･木村景泉の屏風作品、合わせて6点を紹介する。
第Ⅱ期常設展 版画で辿る讃岐の名所	8/22(土) ～12/27(日)	110	初代・歌川広重（1797-1858）や川瀬巴水（1883-1957)らが描いた讃岐の名所絵を中心に約40点の版画作品を紹介する。
第Ⅲ期常設展	1/9(土) ～3/28(日)	68	当館収蔵品の中からテーマを設けて作品を紹介する。
３期		297	

イ　美術講座等

（ア）ギャラリートーク、ワークショップ

a　ギャラリートーク

b　ワークショップ

企画展に関連したワークショップの開催やデッキを活用した「ちょこっとアート」を実施し、来館者が気軽にアートを楽しむことができるプログラムを提供する。

（イ）出張美術館

地元施設の文化祭等で「出張美術館」を実施する。

（ウ）塩江美術館の日（11 月第２土曜日）

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育めるよう、地域の豊かな自然に触れられる 11 月第２土曜日に「塩江美術館の日」を開催する。多くの市民が集い、楽しみ、にぎわう美術館となるよう観覧料の免除や、ワークショップ等を実施する。高松市美術館と塩江美術館を往復する公用バスも運行する。（令和８年度は 11 月 14 日）

ウ　施設の提供

喫茶室の営業、美術館のデッキ等の貸出

エ　ＤＸの推進

創造都市推進局のＳＮＳや美術館の YouTube による動画配信を積極的に活用し、効果的な情報発信を行う。

また、インターネットが無料で接続できる Wi-Fi スポットを令和８年度中に展示室等に整備する。